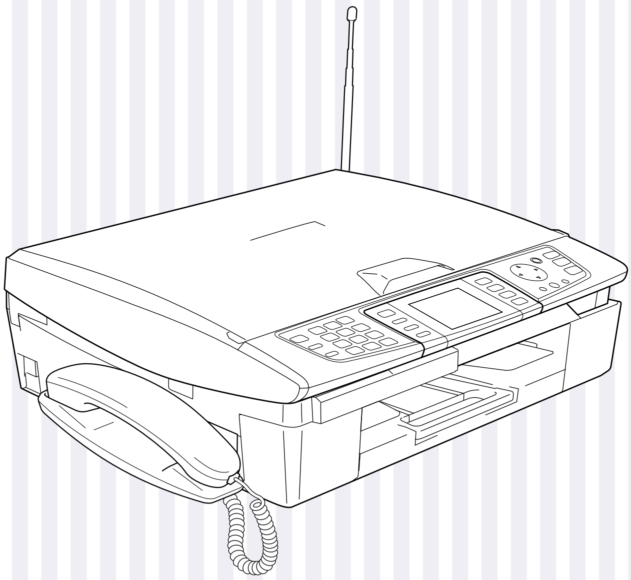
brother

MFC-840CLN
MFC-830CLN/CLWN
ユーザーズガイド



- ご使用の前に
- 電話
- ファクス
- 電話帳
- 留守番機能
- コピー
- フォトメディアキャプチャ
- こんなときは

やりたいこと目次

やりたいこと別の一覧があります。
13ページをご覧ください。

プリンタ・スキャナ

プリンタ機能、スキャナ機能や、ネットワークプリンタ機能についてはユーザーズガイド（HTML版）をご覧ください。

この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、下記お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）にお気軽にお問い合わせください。

お客様相談窓口　NTTコミュニケーションズ ナビダイヤル®

※電話番号はおかけ間違いのないようご注意ください。

0570−031523

全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。

ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。

受付時間：月～金　9：00 ～ 20：00
　　　　　土　　　9：00 ～ 17：00

※上記番号がつながりにくいときは、「**052−824−5149**」にご連絡ください。

日・祝日および当社（ブラザー販売(株)）休日は休みとさせていただきます。

サービス＆サポートページ（ブラザーソリューションセンター）：http://solutions.brother.co.jp

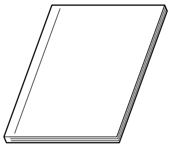
本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

Version B

ユーザーズガイドの構成

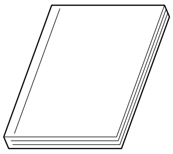
本機には、以下のユーザーズガイドが同梱されています。

かんたん設置ガイド



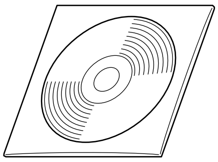
本機をお使いいただくための準備について記載しています。

ユーザーズガイド（本書）



電話、ファクス、コピー、フォトメディアキャプチャ、本機のお手入れ、
困ったとき、などについて記載しています。

CD-ROM



付属の CD-ROM には、本書の内容も含めたユーザーズガイドが HTML 版で収録されています。また、ネットワークプリンタ、ネットワークスキャンなどネットワーク環境で使う機能についても説明しています。

Windows® をお使いの場合、パソコンにドライバをインストールすると、Windows® のスタートメニューからユーザーズガイド（HTML 版）を閲覧できます。
［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［（モデル名）］－［ユーザーズガイド］を選んでください。

最新のユーザーズガイドは、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）からダウンロードできます。

本書のみかた

■ 本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

注意	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	本書内での参照先を記載しています。
	ユーザーズガイド（HTML 版）への参照先を記載しています。

■ 本書で使用されているイラスト

本書では本機や操作パネルの説明に、MFC-830CLN のイラストを使用しています。
- MFC-830CLN と MFC-830CLWN の違いは、同梱される子機の台数のみです。
- MFC-830CLN と MFC-840CLN の違いは、主に ADF（自動原稿送り装置）の有無、本機の色などです。
- MFC-840CLN の操作パネルのボタン位置や名称は、MFC-830CLN と同じです。

ユーザーズガイド（HTML 版）の表示画面と操作

ユーザーズガイド（HTML 版）の表示画面と操作を簡潔に説明します。



※ この画面は説明のために作成したもので、実際の画面はご使用のモデルによって異なります。

①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	各機能のページ（章）に移動します。
③	「ご使用の前に」 ご使用の前に知っておいていただきたい内容を説明しています。
	「こんなときは」 日常のお手入れや困ったときの解決方法などを説明しています。
	「付録」 文字入力／機能一覧／仕様／用語集／索引／ご注文シート／アフターサービスのご案内などについて説明しています。
	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「ネットワーク設定」 ネットワーク接続でご利用になる場合の内容を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」 ユーザーズガイド（HTML 版）の印刷方法を説明しています。
④	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑤	ブラザーソリューションセンターのホームページに移動します。



①	本ガイドの文書内で単語や単語の一部（文字列）を検索することができます。
②	各機能のページ（章）に移動します。
③	現在のページを印刷します。
④	操作内容を表示します。
⑤	次のページに移動します。
⑥	現在のページの最上部に移動します。
⑦	ブラザー工業株式会社のホームページに移動します。
⑧	「安全にお使いいただくために」 本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を説明しています。
	「ネットワーク設定」 ネットワーク接続でご利用になる場合の内容を説明しています。
	「本ガイドを印刷するには」 ユーザーズガイド（HTML 版）の印刷方法を説明しています。
⑨	大見出しです。
⑩	中見出し・小見出しです。
⑪	トップページに移動します。

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この「安全にお使いいただくために」では、お客さまや第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される内容を示します。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

	「してはいけないこと」を示しています。		「しなければいけないこと」を示しています。
	「さわってはいけないこと」を示しています。		「電源プラグを抜くこと」を示しています。
	「分解してはいけないこと」を示しています。		「火気に近づいてはいけないこと」を示しています。
	「水ぬれ禁止」を示しています。		

注意

- 本機は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく、クラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0570-031523」までご連絡ください。
- お客さまや第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。
- 電話帳に登録した内容、メモリーに受信したファクスなどで重要な情報は、必ず印刷して保管してください（⇒ 108ページ「電話帳リストを印刷する」⇒ 99ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」）。本製品は、静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、誤って使用したとき、または故障・修理・使用中に電源が切れたときに、メモリーに記憶した内容が変化・消失することがあります。これらの要因により本機のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害について、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ユーザーズガイドなど、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店にてご購入いただくか、ダイレクトクラブ（裏表紙）へご注文ください。

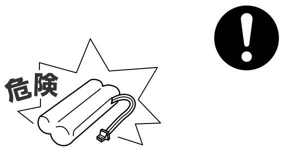
使用についてのご注意

⚠ 危険

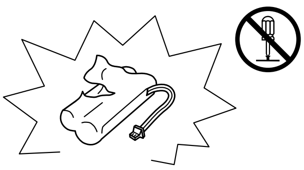
バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や感電、けがの原因になります。

- 液漏れしたときは、液が皮膚や衣服に付着したり、目に入らないようにしてください。

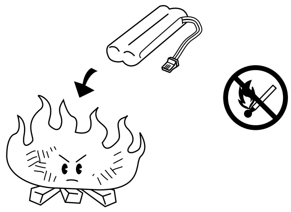
  液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。



- 分解、改造をしないでください。
- バッテリー端子をショートさせないでください。やけどをする可能性があります。
- コードの被覆やビニールカバーをはがしたり、傷をつけたりしないでください。



- バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。



- バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
- 温度の高いところでは充電しないでください。
- 金属製品と一緒に保管しないでください。
- バッテリーの極性（赤／黒）を間違えないように入れてください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。

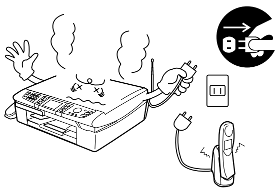
⚠ 警告

故障、火災、感電、やけど、けがの原因になります。

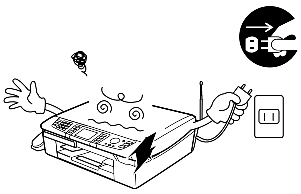
- 分解、改造をしないでください。修理などは販売店にご相談ください。分解、改造した場合は保障の対象外になります。



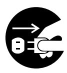
- 煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源プラグや AC アダプタをコンセントから外し、コールセンターにご相談ください。



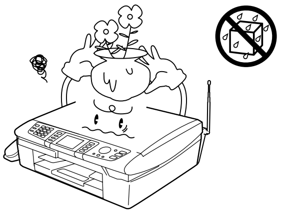
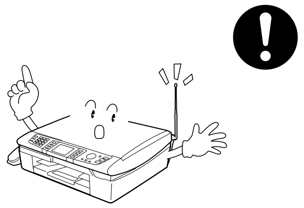
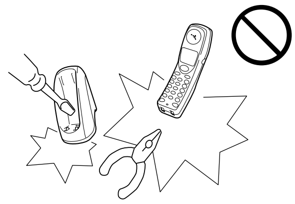
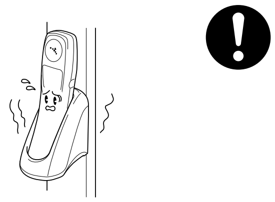
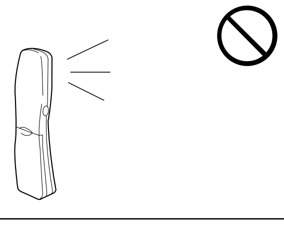
- 本機を落としたり、破損したときは、電源プラグをコンセントから外し、コールセンターにご相談ください。



- 内部に異物が入ったときは、電源プラグやバッテリーをはずして、コールセンターにご相談ください。



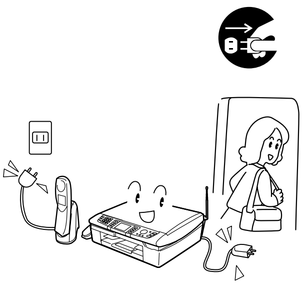
警告

● 本機に水や薬品、ペットの尿などの液体が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。 万一、液体が入ったときは、電源コードをコンセントから抜いて、コールセンターにご相談ください。 	● 火気を近づけないでください。 	● 本機を移動するときは、アンテナを短くたたんでください。誤ってアンテナが目にあたって、ケガや事故の原因となることがあります。 	● 充電端子を金属でショートさせたり、金属の異物を入れないでください。 
● 子機を壁掛けにするときは、落下のおそれがあり、ケガの原因となることがあるので、確実に取り付け･設置してください。(「かんたん設置ガイド」) 	● 待機中は子機のスピーカーには絶対に耳を近づけないでください。突然ベルが鳴って、事故やケガ、聴覚障害の原因となることがあります。 	● 電源コードのホコリなどは定期的にとってください。湿気などで絶縁不良の原因となります。 電源コードをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。 	

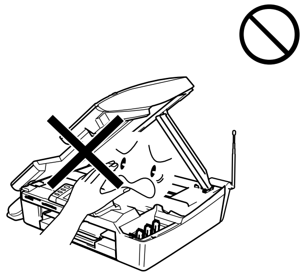
注意

火災、感電、やけど、けがの原因になります。

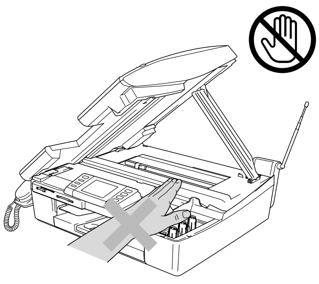
● 長期不在するときは、安全のため電源プラグをコンセントから外してください。



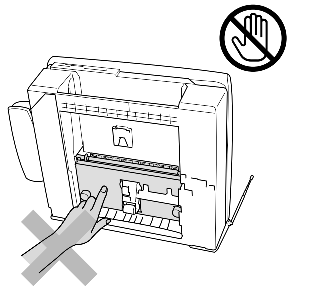
● 本体カバーを閉めるときに、指などをはさまないでください。



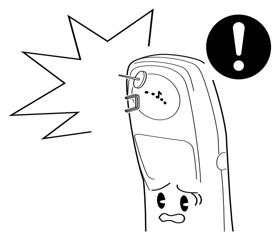
● インク挿入口に手や異物を入れないでください。



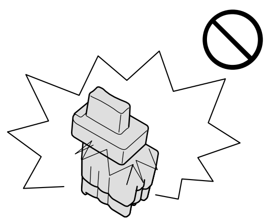
● 本機底面の　部分に手を触れないでください。



● 子機のスピーカーには磁石が使われています。金属片などを吸いつける可能性がありますので、金属片（ホチキス® の針、がびょう、針など）がついていたら取り除いてご使用ください。



● インクカートリッジを交換するときは、インクが目に入らないように注意してください。
● インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。
● 誤ってインクを飲まないでください。
● インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクカートリッジからインクが漏れることがあります。

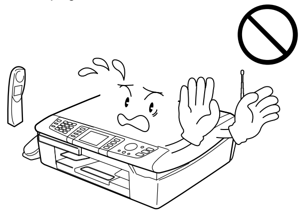


● 本機の液晶ディスプレイを持って移動したり、引っ張ったりしないでください。

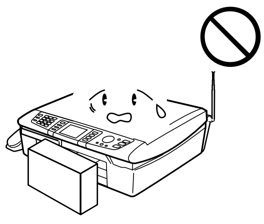
正しくお使いいただくために

本機（親機）の使用について

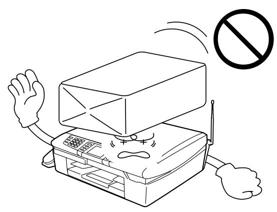
● **動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。**
誤動作の原因となります。



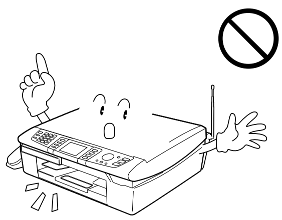
● **本機の前方には物を置かないでください。**
記録紙の排出の妨げになります。



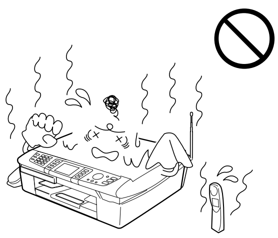
● **本機の上に重い物を置いたり、強く押さえたりしないでください。誤動作の原因となります。**



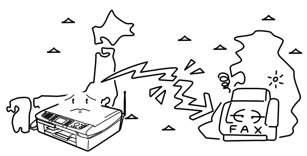
● **指定以外の部品は使用しないでください。**
誤動作の原因となります。



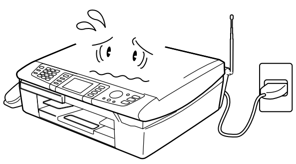
● **室内温度を急激に変えないでください。**
装置内部が結露するおそれがあります。



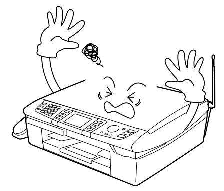
● **海外通信をご利用になるとき、回線の状況により正常な通信ができないときがあります。**



● **ご利用の電話会社の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがあります。ご利用の電話会社の支店、営業所へご相談ください。**



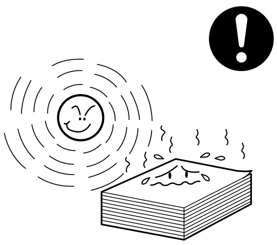
● **停電中は使用できません。**
本機は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話（AC 電源を必要としない電話機）をご用意いただくことをおすすめします。



● **しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。**



● **記録紙は直射日光、高温、高湿を避けて保管してください。**



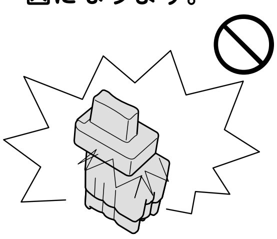
● **本機をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。**
温度：10 ～ 35 ℃
湿度：20 ～ 80%
（結露なし）

● **記録部にはさわらないでください。**



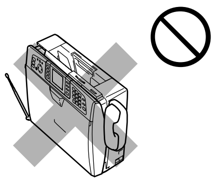
● **本機を持ち上げるときは、本機の底面を持ってください。本体カバーを持つと、本機が傾いてしまいます。**

● **インクカートリッジを分解しないでください。インクが漏れる原因になります。**



● **インクの補充はできません。必ず弊社指定のインクカートリッジをお使いください。指定以外のインクを使用すると、プリントヘッドなどを損傷する原因になります。**

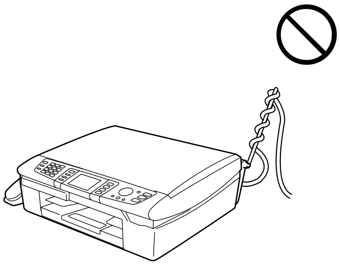
● **本機を立てて放置しないでください。インクが漏れる場合があります。**



子機の使用について

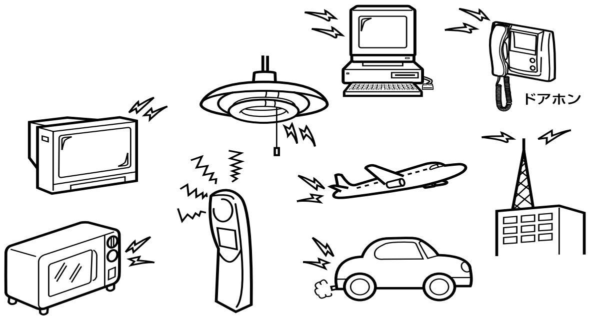
■ 通話の途切れや、雑音について

● 電源コード、電話機コード、充電器の AC アダプタコードを、アンテナに巻きつけたり引っ掛けたりしているときは、子機の着信音が鳴らなかったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。



● 以下のような場合は雑音が入ったり、子機の着信音が鳴らなくなることがあります。

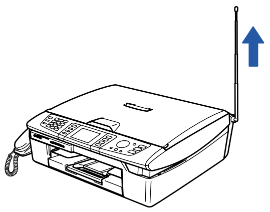
- ・電気製品（テレビ、OA 機器、電子レンジ、ドアホン（ドアホンアダプタ）、携帯電話や PHS の充電器や AC アダプタなど）の近くに設置しているとき
- ・放送局、高圧線などが近くにあるとき
- ・自動車、オートバイ、飛行機が近くを通ったとき
- ・蛍光灯のスイッチを「入」「切」したとき
- ・携帯電話や PHS、水槽のポンプ、無線 LAN 機器など の AC アダプタを、子機の AC アダプタや親機の電源プラグと同じコンセントに接続しているとき



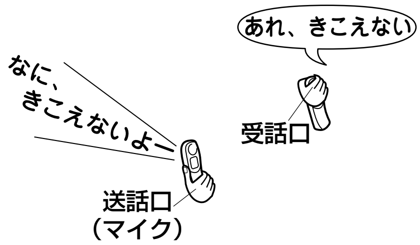
● 移動しながら子機を使用している

● ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用しているときは、雑音が入ることがあります。一時的に親機をご使用ください。

● 親機のアンテナを完全に伸ばしてください。アンテナが伸びていないと電波の届く距離が短くなったり、雑音が入ることがあります。



● 受話口や送話口（マイク）を手でふさぐと、相手の声が聞こえにくくなったり、自分の声が相手に聞こえにくくなります。



■ 着信音の遅れについて

● 電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の着信音が鳴り、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。これは故障ではありません。そのままお使いください。

■ “傍受” にご注意ください

● この製品には、盗聴防止スクランブル機能を搭載しておりません。コードレス子機を使っての通話は電波を使っているので、第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。大切な通話は、親機のご使用をおすすめします。

「傍受」とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

目　次

ユーザーズガイドの構成 1
本書のみかた 1
ユーザーズガイド（HTML 版）の表示画面と操作 2
安全にお使いいただくために 4
　使用についてのご注意 5
正しくお使いいただくために 8
　本機（親機）の使用について 8
　子機の使用について 9
目　次 10
やりたいこと目次 13

第１章　ご使用の前に 17

かならずお読みください

各部の名称とはたらき 18
　各部の名称とはたらき（子機） 23
　モードについて 25
　電源ボタンについて 26
はじめに設定する 27
　回線種別を設定する 27
　日付と時刻を設定する 27
　名前とファクス番号を設定する 28
　現在の曜日・時刻を設定する（子機） 28
記録紙のセット 29
　専用紙 ・推奨紙 29
　セットできる記録紙 29
　記録紙の印刷範囲 30
　記録紙のセットのしかた 31
　記録紙の種類を設定する（コピー、ファクスのみ） 34
原稿のセット 35
　ADF にセットできる原稿（MFC-840CLN のみ） 35
　原稿の読み取り範囲 35
　原稿をセットする 35
電話とファクスの受信設定 37
　電話・ファクスの受けかた（お買い上げ時） 37
　電話・ファクスの受けかたを変更する 38
　呼出回数を設定する 39
　再呼出の設定をする 40

お好みで設定してください

音量を設定する 41
　親機の音量を設定する 41
　子機の音量を調整する 42
着信音と保留音を設定する 43
　親機の着信音・保留音を選ぶ 43
　子機の着信音を選ぶ 44
　子機にメロディを転送する 45
　モーニングアラームを設定する（子機） 46
液晶ディスプレイの設定を変更する 48
　親機の液晶ディスプレイの設定を変更する 48
　子機の液晶ディスプレイのコントラストを設定する 48
　子機のライトを設定する 48

第２章　電話 49

基本

親機で電話をかける 50
　ダイヤルボタンでかける 50
　最後にかけた相手にかける 50
　最近かけた相手にかける 50
　受話器を置いたまま電話をかける 51
　最近かかってきた相手にかける 51
　電話帳からかける 52
子機で電話をかける 53
　ダイヤルボタンでかける 53
　最後にかけた相手にかける 53
　最近かけた相手にかける 53
　子機を置いたままかける 54
　最近かかってきた相手にかける 54
　電話帳からかける 54
電話を受ける 55
　親機で電話を受ける 55
　子機で電話を受ける 55
保留にする 56
　親機の通話を保留にする 56
　子機の通話を保留にする 56

応用

内線通話をする 57
　親機から子機へかける 57
　子機から親機へかける 57
　子機から子機へかける 58
　親機から子機へ呼びかける 59
通話中にできること 60
　親機から子機へ電話を取り次ぐ 60
　子機から親機へ電話を取り次ぐ 61
　子機から子機へ電話を取り次ぐ 61
　用件を伝えずに電話を取り次ぐ 62
　子機でスピーカーホン通話に切り替える 63
　通話を録音する 63
　プッシュホンサービスを利用する 63

オプションサービス

キャッチホンサービスを利用する 64
　キャッチホンで電話を受けた場合 64
　キャッチホンでファクスを受けた場合 65
ナンバー・ディスプレイサービスを利用する 66
　ナンバー・ディスプレイサービスとは 66
　ナンバー・ディスプレイサービスを設定する 67
　相手によって着信音を変える 69
　迷惑電話を防止する 70
　番号非通知の電話や、公衆電話からの着信を拒否する 70
　着信拒否モニターを設定する 71
　親機の着信履歴を利用する 72
　子機の着信履歴を利用する 73
ネーム・ディスプレイサービスを利用する 74
キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する 75

第３章　ファクス 77

基本

ファクスを送る 78
ファクスを送る（１枚のとき） 78
ファクスを送る（２枚以上のとき） 79
ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る
（MFC-840CLN のみ） 80
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る 81
電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る 82
話をしてから送る 83

ファクスを受ける 84
自動的に受ける 84
子機で受ける 84
電話に出てから受ける 84
受信したファクスをディスプレイで見る 85
みるだけ受信を設定する 86

応用

ファクスの便利な送りかた 87
設定を変えてファクスするには 87
画質や濃度を変更する 87
時間を指定して送る 88
同じ相手への原稿をまとめて送る 89
原稿をすぐに送る 90
相手の操作で原稿を送る 91
海外へ送る 92
複数の相手先に同じ原稿を送る 93

ファクスの便利な受けかた 95
電話に出ると自動的に受ける 95
自動的に縮小して受ける 95
本機の操作で相手の原稿を受ける 96
ファクスを転送する 97
受信したファクスをパソコンに送る 98
ファクスをメモリーで受信する 99
メモリー受信したファクスを印刷する 99
ファクスメッセージをメモリーから消去する 99

通信管理

通信状態を確かめる 100
通信管理レポートを印刷する 100
送信レポートを印刷する 101
送信待ちファクスを確認・解除する 102

第４章　電話帳 103

電話帳

親機の電話帳を利用する 104
電話帳に登録する 104
発信履歴から電話帳に登録する 105
着信履歴から電話帳に登録する 106
グループダイヤルを登録する 107
電話帳リストを印刷する 108

子機の電話帳を利用する 109
電話帳に登録する 109
着信履歴から電話帳に登録する 110

電話帳を転送する 111
親機の電話帳を子機に転送する 111
子機の電話帳を親機に転送する 111

リモートセットアップ

パソコンで電話帳を作る 112

第５章　留守番機能 113

留守番機能

留守番機能を設定する 114
留守番機能で設定できること 114
メッセージの録音時間を設定する 114
応答メッセージを設定する 115
留守録モニターを設定する 115

出かけるとき 116
留守番機能をセットする 116
留守応答メッセージを選ぶ 116

帰ってきたとき 117
音声メッセージがあるとき 117
ファクスが届いているとき 117

外出先での機能

外出先で留守番機能を使う 118
暗証番号を設定する 118
外出先から本機を操作する 119

外出先に転送する 120
留守録転送を設定する 120

第６章　コピー 121

基本

コピーに関するご注意 122
コピーする 123
１部コピーする 123
複数部コピーする 123
複数の原稿を一度にコピーする
（MFC-840CLN のみ） 124

応用

いろいろなコピー 125
設定を変えてコピーするには 125
例）L 判の写真をハガキ（光沢紙）にコピーする 127
2 in 1 コピー /4 in 1 コピー / ポスターコピーする 128

第７章　フォトメディアキャプチャ 129

デジカメプリント

写真を印刷する前に 130
使用できるメモリーカード 130
メモリーカードをセットする 131

写真を見る・プリントする 132
メモリーカードの写真を見る・プリントする 132
インデックスプリントを印刷する 133
番号を指定して写真をプリントする 134
メモリーカード内の写真をすべて印刷する 135

いろいろなプリント方法 136
設定を変えて写真をプリントするには 136
例）L 判、2L 判、ハガキに写真を印刷する 138

スキャン TO カード

スキャンしたデータを保存する 139
スキャンしたデータをメモリーカードに保存する 139

第８章　こんなときは 141

日常のお手入れ

本機が汚れたら 142
- 親機の外側を清掃する 142
- 原稿台ガラスを清掃する 142
- キャビネット内部を清掃する 143
- 子機を清掃する 143
- 給紙ローラーを清掃する 143

紙がつまったときは 144
- 記録部につまった記録紙を取り除く 144
- 記録紙挿入口につまった記録紙を取り除く 145
- ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは（MFC-840CLN のみ） 146

受話器を取り外してお使いになるときは 147

インクがなくなったときは 148
- インクカートリッジを交換する 148
- インク残量を確認する 150

印刷が汚いときは 151
- 定期メンテナンスについて 151
- プリントヘッドをクリーニングする 151
- 印刷品質をチェックする 152
- 印刷位置のズレをチェックする 153

困ったときは

子機のバッテリーを交換するときは 154

消耗品を注文したいときは 155
- ご注文シートを印刷する 155

設定内容や機能を知りたいときは 156
- 設定内容リストを印刷する 156
- 機能案内リストを印刷する 156

エラーメッセージ 157

故障かな？と思ったときは 160
- 特別な回線に合わせて設定する 170
- 回線状況に応じて設定する 170
- 安心通信モードに設定する 170
- ダイヤルトーン検出の設定をする 171

初期状態に戻す 172
- 個人情報を消去する 172
- 機能設定を元に戻す 173
- 本機を強制リセットする（修理を依頼される前に） 173

通話がうまくいかないときは 174
- 通話や子機の使用に影響をおよぼす可能性のある環境 174

停電になったときは 176

本機を輸送するときは 177

廃棄

本機を廃棄するときは 178

付　録 181

親機での文字の入れかた 182
- 入力できる文字と入力制限 182
- 文字の入力方法 183
- 文字の入れかた（変更のしかた） 183

子機での文字の入れかた 184
- 子機で入力できる文字 184
- 文字の入れかた（変更のしかた） 184
- 入力例 184

機能一覧 185
- 親　機 185
- 子　機 193

仕様 194
- 親　機 194
- 子　機 195

使用環境 196
- Windows® の場合 196
- Macintosh® の場合 196

用語解説 197

索　引 199

リモコンアクセスカード 203

特許、規制 205
- 国際エネルギースタープログラム 205
- VCCI 規格 205

商標について 205

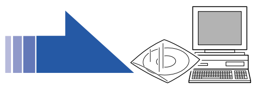
関連製品のご案内 206
- 消耗品 206
- 専用紙・推奨紙 206

ご注文シート

アフターサービスのご案内

プリンタ、スキャナ、PC-FAX、フォトメディアキャプチャなど、パソコンを接続して使用する機能

ユーザーズガイド（HTML 版）



やりたいこと目次

■ 電話&ファクス

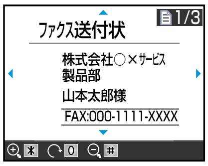
- **ファクスを自動で受ける**
- **着信音を鳴らさずにファクスを受ける［受信モード・着信音の設定］**

電話に出ずにファクスを受けたり、着信音を鳴らさずに受けたりできます。

ユーザーズガイド（本書） 37 ページ

- **受信したファクスを液晶ディスプレイで確認する［みるだけ受信］**

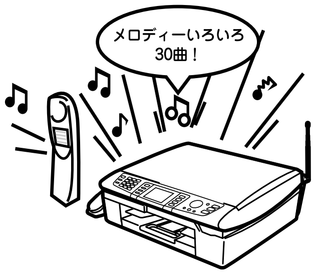
受信したファクスの内容を確認してから、印刷できます。見るだけですませることもできます。



ユーザーズガイド（本書） 85 ページ

- **着信音・保留音を選ぶ**

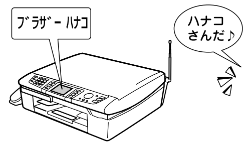
30 種類の着信メロディから、好きなメロディを選べます。



ユーザーズガイド（本書） 43 ページ

- **ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン・ディスプレイを利用する**

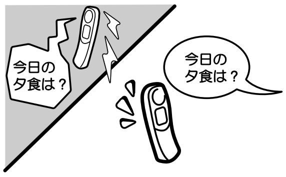
かけてきた相手の番号、名前、日付を液晶ディスプレイで確認できます。また、迷惑電話の着信を拒否したり、着信先（親機／子機）を指定したりできます。



ユーザーズガイド（本書） 66 ページ

- **親機と子機で通話する、子機同士で通話する**

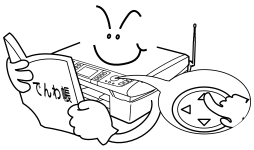
親機と子機の間で通話できます。また、MFC-830CLWN をお使いの場合や、子機を増設しているときは、子機同士で通話（トランシーバー方式）ができます。



ユーザーズガイド（本書） 57 ページ

- **短縮ダイヤルを使って電話をかける［電話帳&短縮ダイヤル］**

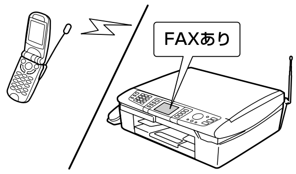
本機の電話帳に電話番号を登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。パソコンと接続している場合は、パソコン上で電話帳を作成・変更できます。



ユーザーズガイド（本書） 104 ページ

- **外出先から音声メッセージを聞く［リモコンアクセス］**

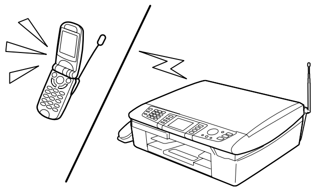
外出先から本機を操作して、留守中にメッセージやファクスが届いているかを確認できます。



ユーザーズガイド（本書） 119 ページ

- **音声メッセージを外出先の電話に転送する［留守録転送］**

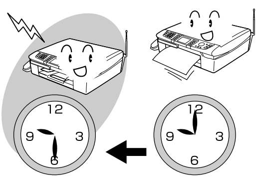
留守中に音声メッセージが録音された場合、指定した電話に転送できます。



ユーザーズガイド（本書） 120 ページ

- **指定した時間にファクスを送る［タイマー送信］**

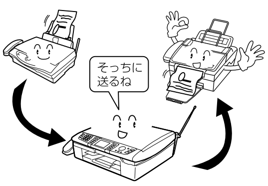
指定した時間に自動的にファクスを送ることができます。同じ相手に同時刻に送るファクスが複数ある場合は、1 回の通信でまとめて送ることもできます。



ユーザーズガイド（本書） 88 ページ

- **他のファクシミリにファクスを転送する［ファクス転送］**

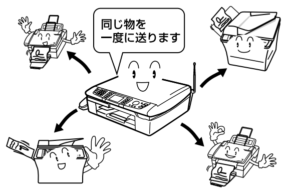
本機が受信したファクスを指定したファクシミリに転送できます。



ユーザーズガイド（本書） 97 ページ

- **複数の相手に同じ文書を送る［同報送信］**

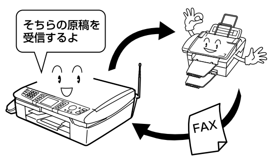
相手先をグループとして登録しておくと、簡単な操作で同じファクスを複数の人に送ることができます。



ユーザーズガイド（本書） 93 ページ

- **受信側ファクシミリから操作してファクスを受け取る［ポーリング送信・受信］**

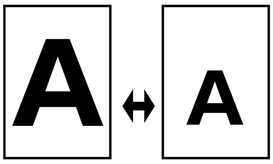
受信側からの操作で、送信側の原稿を受け取るポーリング受信・送信が行えます。FAX サービスなどで使われています。



ユーザーズガイド（本書） 91 ページ
96 ページ

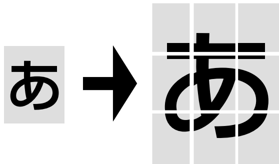
■ コピー

● **拡大・縮小コピーする**
25%〜 400%まで、倍率を指定してコピーできます。



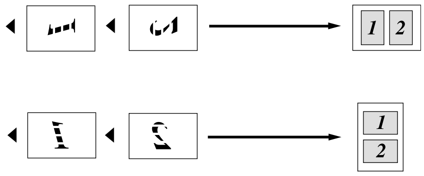
ユーザーズガイド（本書）
125 ページ

● **ポスターを作る**
A4 サイズの紙面を 9 倍に拡大してコピーできます。



ユーザーズガイド（本書）
128 ページ

● **複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする**
［2 in 1 & 4 in 1］
2 枚、または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙にコピーできます。



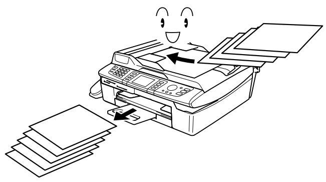
ユーザーズガイド（本書）
128 ページ

● **画質を調整する**
高速、標準、高画質の 3 つのモードが用意されています。原稿のタイプや用途に合わせて画質を選んでコピーできます。



ユーザーズガイド（本書）
125 ページ

● **複数の原稿を連続してコピーする［ADF（自動原稿送り装置）］**
複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）を使ってコピーできます。（MFC-840CLN のみ）



ユーザーズガイド（本書）
124 ページ

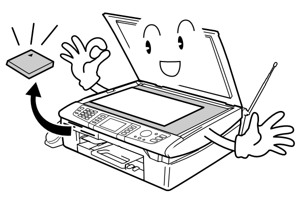
■ フォトメディアキャプチャ

● **メモリーカードにある写真を印刷する［デジカメプリント］**
パソコンがなくても、コンパクトフラッシュ®、スマートメディア®などデジタルカメラのメモリーカードから直接、写真を印刷できます。



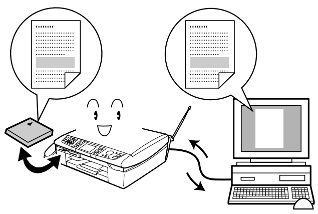
ユーザーズガイド（本書）
132 ページ

● **スキャンした画像をメモリーカードに保存する［スキャン TOカード］**
スキャンした原稿をパソコンを使用せずに直接メモリーカードに保存できます。



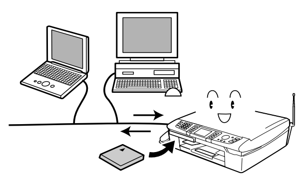
ユーザーズガイド（本書）
139 ページ

● **メモリーカードをリムーバブルディスクとして利用する**
カードスロットにセットしたメモリーカードは、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使用できます。



ユーザーズガイド（HTML 版）

● **ネットワークでメモリーカードを利用する［ネットワークメディアカードアクセス］**
ネットワークで接続された複数のパソコンから、本機のカードスロットにセットしたメモリーカードにアクセスできます。



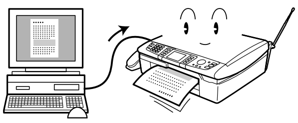
ユーザーズガイド（HTML 版）

ユーザーズガイド（HTML 版）は、付属の CD-ROM に収録されています。Windows® のパソコンにドライバをインストールした後は、Windows® の［スタート］メニューからも閲覧できます。⇒ 1 ページ「ユーザーズガイドの構成」

■ プリンタ

● プリンタとして使う

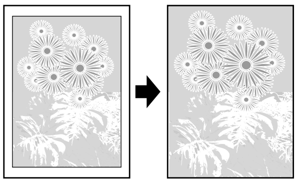
本機とパソコンを接続して、プリンタとして利用できます。



ユーザーズガイド（HTML 版）

● 記録紙いっぱいに印刷する ［ふちなし印刷］

余白が出ないように、記録紙いっぱいに印刷できます。写真やハガキを印刷するときに便利です。



ユーザーズガイド（HTML 版）

● 設定を選んで印刷する ［おまかせ印刷］

あらかじめ登録されている設定を選ぶだけで、簡単に印刷できます。

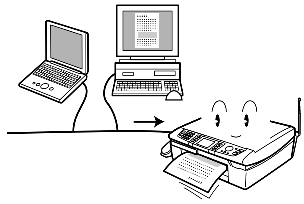
（Windows® のみ）



ユーザーズガイド（HTML 版）

● ネットワークプリンタとして使う

本機をネットワーク環境で使用します。ネットワーク上の複数のパソコンから印刷できます。

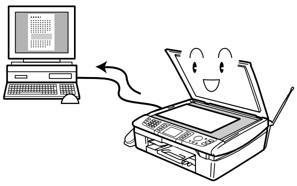


ユーザーズガイド（HTML 版）

■ スキャナ

● 原稿をスキャンしてパソコンに保存する

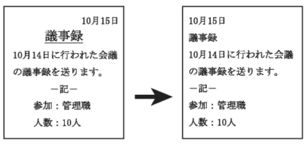
本機とパソコンを接続して、スキャナとして利用できます。



ユーザーズガイド（HTML 版）

● 文字を修正できるようにスキャンする ［Brother 日本語 OCR］

スキャンした画像データを解析して、文書（テキスト）データに変換できます。

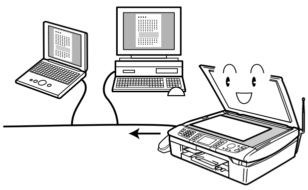


ユーザーズガイド（HTML 版）

● ネットワークスキャナとして使用する

本機をネットワーク上で共有できるスキャナとして利用できます。

（パソコンにスキャンキーの登録が必要です。）



ユーザーズガイド（HTML 版）

● 決まった設定でスキャンする ［Control Center2］

あらかじめ、よく使う設定を登録しておくと、ボタンをクリックするだけで設定した内容でスキャンができます。（Mac OS 9.1～9.2を除く）



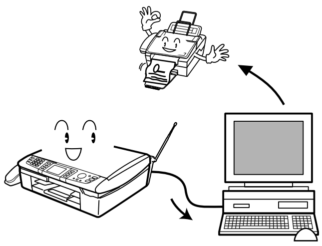
ユーザーズガイド（HTML 版）

ユーザーズガイド（HTML 版）は、付属の CD-ROM に収録されています。Windows® のパソコンにドライバをインストールした後は、Windows® の［スタート］メニューからも閲覧できます。⇒ 1 ページ「ユーザーズガイドの構成」

■ PC-FAX

● パソコンからファクスを送る [PC-FAX 送信]

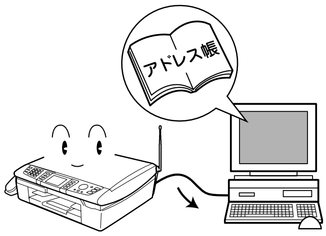
パソコンで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。わざわざ印刷する必要はありません。



ユーザーズガイド（HTML 版）

● アドレス帳を利用する [PC-FAX アドレス帳]

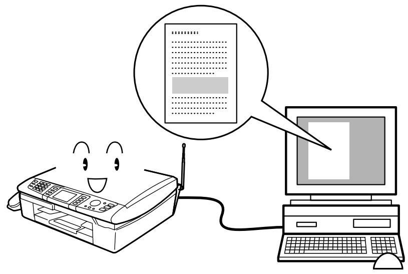
PC-FAX を送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Windows® の場合は、Outlook Express のアドレス帳データを使用することもできます。



ユーザーズガイド（HTML 版）

● 受信したファクスをパソコンで確認する [PC-FAX 受信]

受信したファクスを本機と接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。（Windows® のみ）

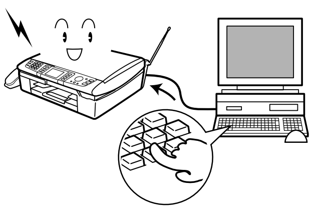


ユーザーズガイド（本書）
98 ページ

■ その他

● 本機の設定をパソコンから変更する [リモートセットアップ]

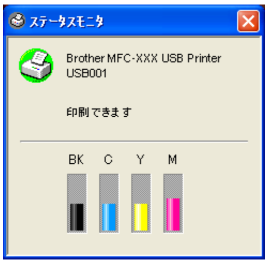
パソコンを使って電話帳を作成したり、本機の設定を変更したりできます。（Mac OS 9.1 〜 9.2 を除く）



ユーザーズガイド（本書）
112 ページ

● パソコンからインク残量を確認する [ステータスモニタ]

現在のインク残量を確認できます。



ユーザーズガイド（HTML 版）

● スキャナ、PC-FAX などをかんたんに起動する [Control Center2]

スキャナや PC-FAX、リモートセットアップ機能などをかんたんに起動できるソフトウェア「Control Center2」を使用できます。（Mac OS 9.1 〜 9.2 を除く）



ユーザーズガイド（HTML 版）

ユーザーズガイド（HTML 版）は、付属の CD-ROM に収録されています。Windows® のパソコンにドライバをインストールした後は、Windows® の［スタート］メニューからも閲覧できます。⇒ 1 ページ「ユーザーズガイドの構成」

第１章

ご使用の前に

かならずお読みください

各部の名称とはたらき 18
- ■ 正面図（MFC-830CLN）.. 18
- ■ 正面図（MFC-840CLN）.. 18
- ■ 内面図 19
- ■ 操作パネル 20
- ■ 液晶ディスプレイ（待ち受け画面）.. 21
- ■ メニュー画面 21
- ■ メニュー画面の操作 22

各部の名称とはたらき（子機）.. 23
- ■ 正面図 23
- ■ ディスプレイ 23
- ■ 操作パネル 24

モードについて 25
- ■ モードタイマーを設定する 25

電源ボタンについて 26
- ■ 電源を オフにする 26
- ■ 電源を オンにする 26
- ■ 電源 オフ時の動作を設定する 26

はじめに設定する 27

回線種別を設定する 27
日付と時刻を設定する 27
名前とファクス番号を設定する 28
現在の曜日・時刻を設定する（子機）.. 28

記録紙のセット 29

専用紙 ・ 推奨紙 29
セットできる記録紙 29
記録紙の印刷範囲 30
記録紙のセットのしかた 31
- ■ 普通紙をセットする場合 31
- ■ 封筒をセットする場合 32
- ■ ハガキ、L 判サイズの記録紙をセットする場合 33
- ■ 光沢紙をセットする場合 33

記録紙の種類を設定する（コピー、ファクスのみ）.. 34

原稿のセット 35

ADF にセットできる原稿（MFC-840CLN のみ）.. 35
原稿の読み取り範囲 35
原稿をセットする 35
- ■ 原稿台ガラスに原稿をセットする 35
- ■ ADF に原稿をセットする（MFC-840CLN のみ）.. 36

電話とファクスの受信設定 37

電話・ファクスの受けかた（お買い上げ時）.. 37
- ■ 家にいるとき（在宅モード：が消灯しているとき）.. 37
- ■ 留守にするとき（留守モード：が点灯しているとき）.. 37

電話・ファクスの受けかたを変更する 38
呼出回数を設定する 39
再呼出の設定をする 40

お好みで設定してください

音量を設定する 41

親機の音量を設定する 41
子機の音量を調整する 42
- ■ 着信音量を設定する 42
- ■ ボタン確認音量を設定する 42
- ■ スピーカー音量を設定する 42
- ■ 受話音量を設定する 42

着信音と保留音を設定する 43

親機の着信音・保留音を選ぶ 43
- ■ メロディ一覧 43

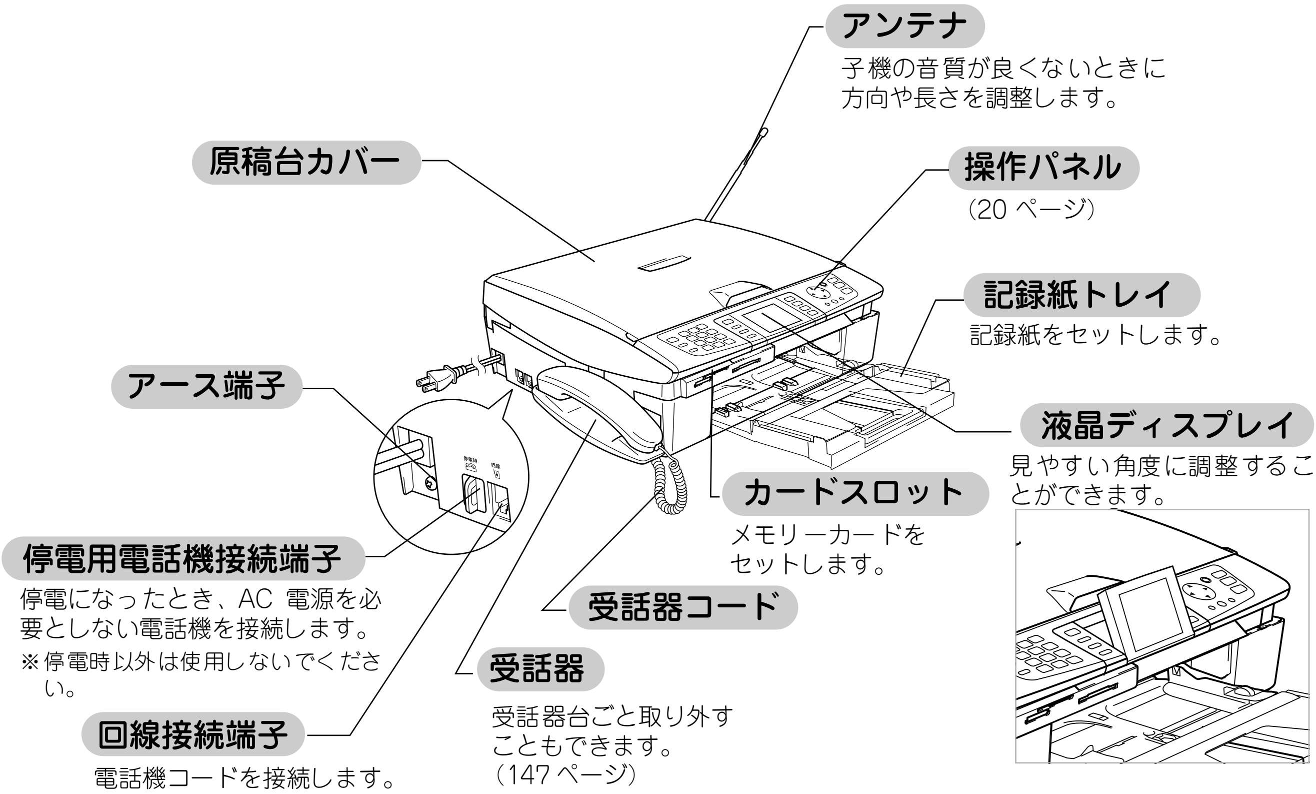
子機の着信音を選ぶ 44
子機にメロディを転送する 45
モーニングアラームを設定する（子機）.. 46
- ■ 設定する 46
- ■ 解除する 47

液晶ディスプレイの設定を変更する 48

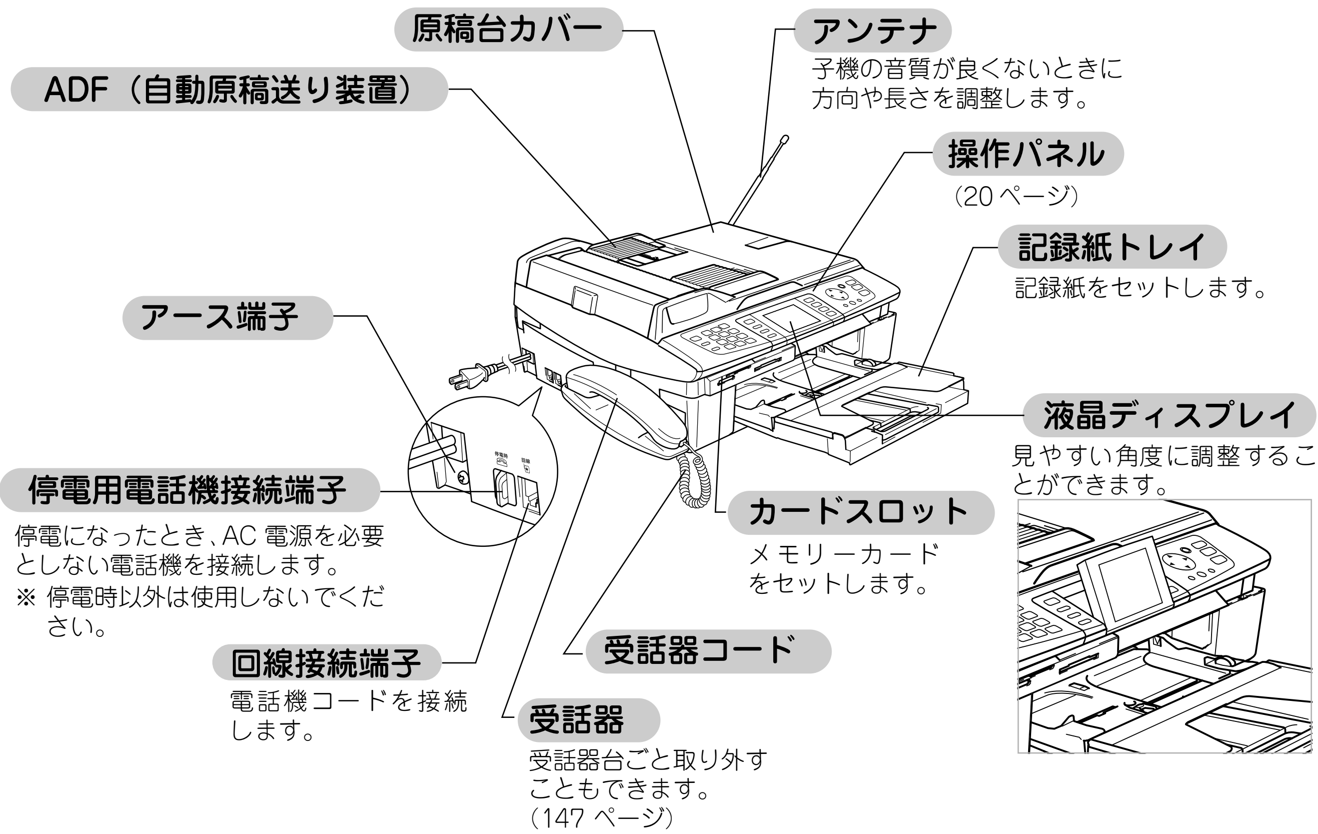
親機の液晶ディスプレイの設定を変更する 48
子機の液晶ディスプレイのコントラストを設定する 48
子機のライトを設定する 48

各部の名称とはたらき　かならずお読みください

■　正面図（MFC-830CLN）



■　正面図（MFC-840CLN）

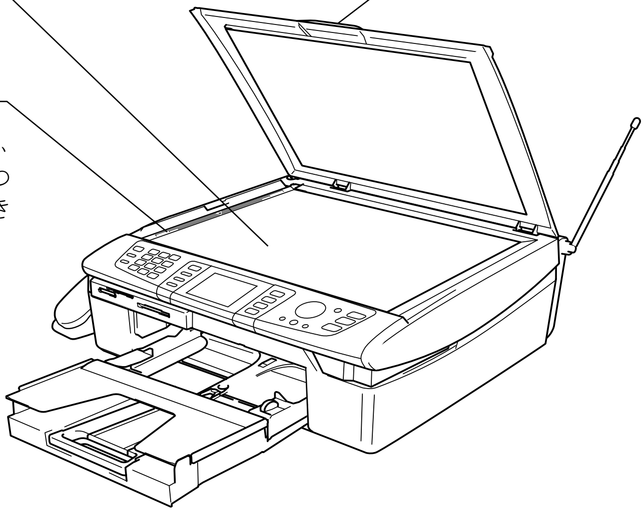


■ 内面図

原稿台カバー

原稿台ガラス
原稿をセットします。

原稿ガイド
原稿をセットするときは、ガイドの▶マークに合わせて、原稿台の中央に置きます。

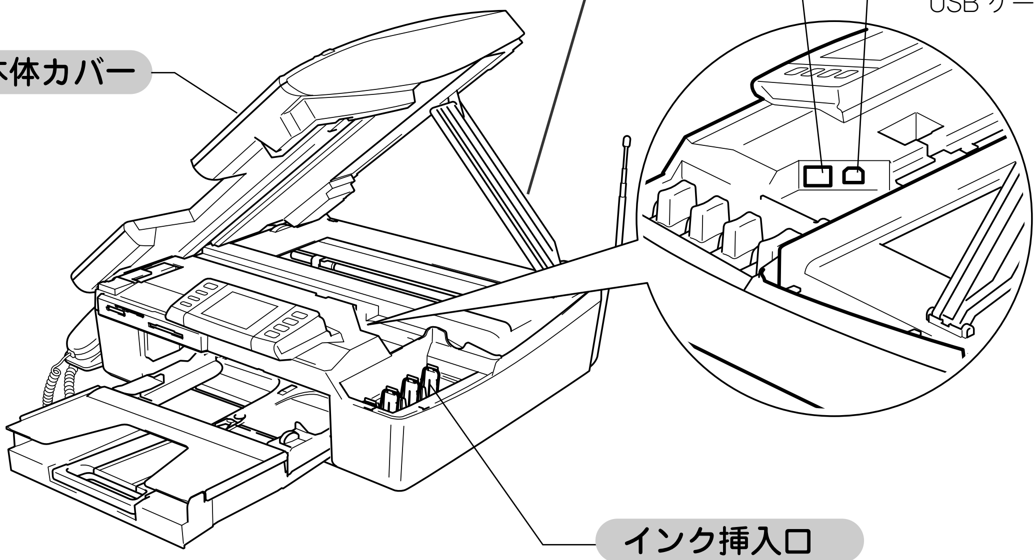


ネットワーク（LAN）ポート
ネットワークケーブル(LAN ケーブル) を接続します。

USB ケーブル接続端子
パソコンと接続する USB ケーブルを接続します。

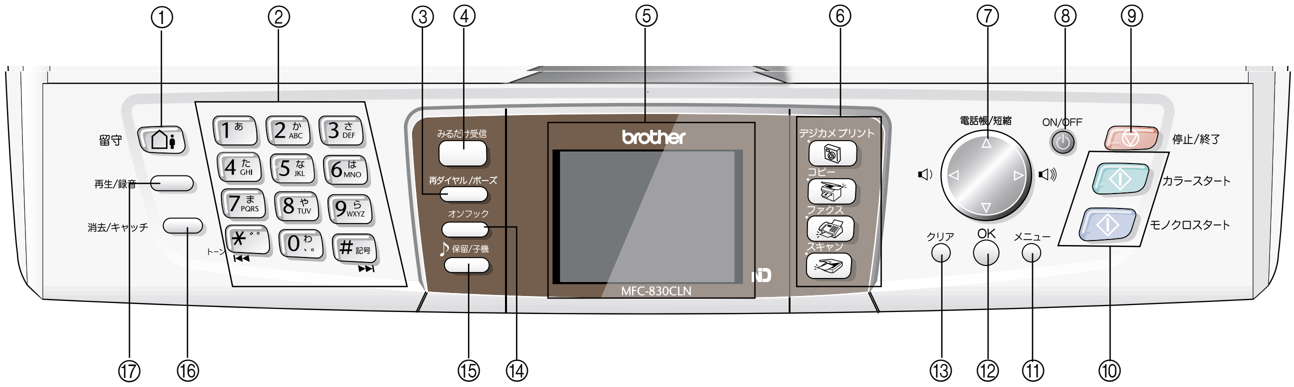
本体カバーサポート

本体カバー



インク挿入口
インクカートリッジをセットします。

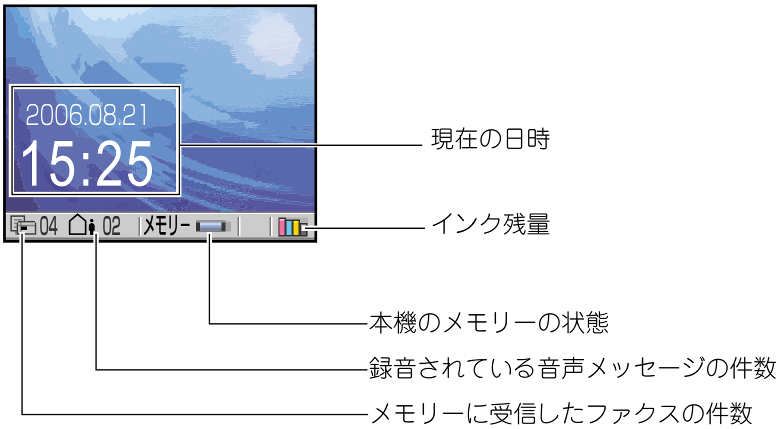
■ 操作パネル



① 留守ボタン	留守モードにするときに押します。 ⇒ 116 ページ「留守番機能をセットする」
② ダイヤルボタン	ダイヤルするとき、文字を入れるときなどに押します。 ⇒ 182 ページ「親機での文字の入れかた」
③ 再ダイヤル／ポーズボタン	最後にかけた相手にもう一度電話をかけるとき（⇒ 50 ページ「最後にかけた相手にかける」）、電話番号にポーズを入力するとき（⇒ 182 ページ「親機での文字の入れかた」）に押します。
④ みるだけ受信ボタン	受信したファクスの内容を、液晶ディスプレイで確認できます。
⑤ 液晶ディスプレイ	現在の日時や各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。
⑥ モードボタン	デジカメプリント／コピー／ファクス／スキャンの各モードに切り替えます。 ⇒25 ページ「モードについて」
⑦ ナビゲーションキー	液晶ディスプレイの項目を選択します。 ⇒21 ページ「メニュー画面」 電話帳から検索するときに押します。 ⇒52 ページ「電話帳からかける」
⑧ 電源ボタン	電源をオン / オフするときに押します。⇒26 ページ「電源ボタンについて」 電源をオフにした場合でも、定期的にヘッドクリーニングを行います。
⑨ 停止／終了ボタン	操作を中止するときや設定を終了したときに押します。
⑩ モノクロ／カラースタートボタン	ファクスを送信するときや原稿をコピーまたはスキャンするときなどに押します。
⑪ メニューボタン	設定できるメニューを表示します。
⑫ OK ボタン	機能を設定するときや設定した機能を確定（決定）するときに押します。
⑬ クリアボタン	設定内容をキャンセルして前の画面に戻ります。
⑭ オンフックボタン	受話器を置いたまま電話をかけるときに押します。 ⇒51 ページ「受話器を置いたまま電話をかける」
⑮ 保留／子機ボタン	通話を保留にするとき、子機を呼び出すときに押します。
⑯ 消去／キャッチボタン	録音されたメッセージを消去するときに押します。 ⇒ 117 ページ「音声メッセージを確認する」 また、キャッチホンを受けるときに押します。 ⇒64 ページ「キャッチホンサービスを利用する」
⑰ 再生 / 録音ボタン	通話を録音したり、録音されたメッセージを再生したりします。 ⇒63 ページ「通話を録音する」 ⇒ 117 ページ「メッセージを再生する」

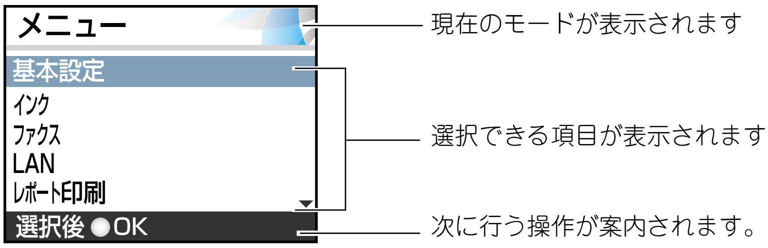
■ 液晶ディスプレイ（待ち受け画面）

現在の状態やメッセージが表示されます。通常は、以下のように「待ち受け画面」が表示され、現在の日時やインク残量などを確認できます。



■ メニュー画面

メニュー画面では、液晶ディスプレイに表示された項目を（ナビゲーションキー）で選びます。選んだ項目を確定するときは OK を押します。



ボタン	操作
（上下ナビゲーションキー）	上下にカーソルを移動します。項目を選ぶときに押します。
（右ナビゲーションキー）	現在選択している項目の１つ下の階層に移動します。
（左ナビゲーションキー）	１つ上の階層に戻ります。
OK	現在選択している項目を確定します。
クリア	操作を中止して、１つ上の階層に戻ります。
モノクロスタート、カラースタート	現在の設定を反映して、ファクス、コピー、スキャンなどの操作を実行します。

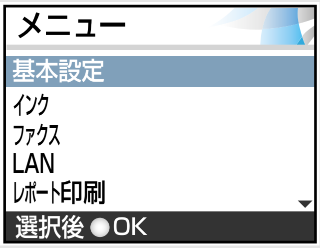
操作パネルについて
本書では、MFC-830CLN の操作パネルのイラストを使用しています。
- MFC-830CLN と MFC-830CLWN の違いは、同梱される子機の台数のみです。
- MFC-830CLN と MFC-840CLN の違いは、主に ADF（自動原稿送り装置）の有無、本機の色などです。
- MFC-840CLN の操作パネルのボタン位置や名称は、MFC-830CLN と同じです。

■ メニュー画面の操作

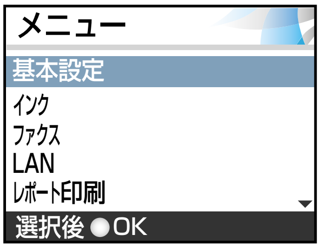
ここでは、【基本設定】の【着信音量】の設定方法を例に説明します。

1 メニュー を押す

◆ メニュー画面が表示されます。



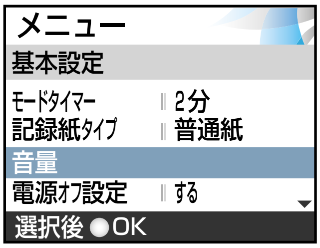
2 で、【基本設定】を選ぶ



3 OK を押す

◆ 1 つ下の階層が表示されます。

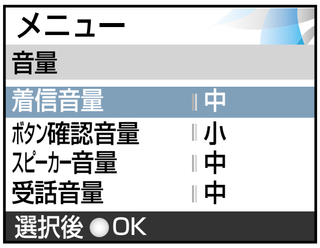
4 で、【音量】を選ぶ



5 OK を押す

◆ 1 つ下の階層が表示されます。

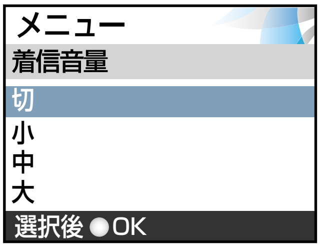
6 で【着信音量】を選ぶ



7 OK を押す

◆ 着信音量の設定値が表示されます。

8 で音量を選ぶ



9 OK を押す

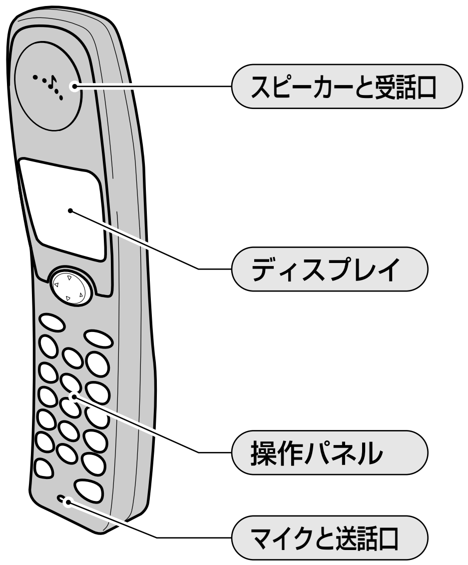
◆ 着信音量が変更されます。
◆ 1 つ上の階層の【音量】画面に戻ります。

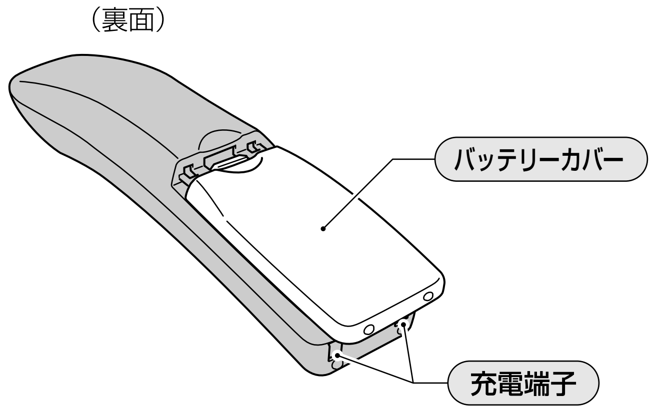
10 停止/終了 を押す

◆ 待ち受け画面に戻ります。

各部の名称とはたらき（子機）

■ 正面図





■ ディスプレイ



〈ピクト（絵文字）〉

バッテリーの残量の目安を表示します。
〈バッテリー残量の目安〉
① ：20% 以上　② ：20% 未満
③ ：10% 未満　④ ：要充電

英 カナ　入力できる文字の種類が表示されます。
英 ：アルファベット（大文字、小文字）、数字が入力できます。
カナ ：半角カタカナが入力できます。

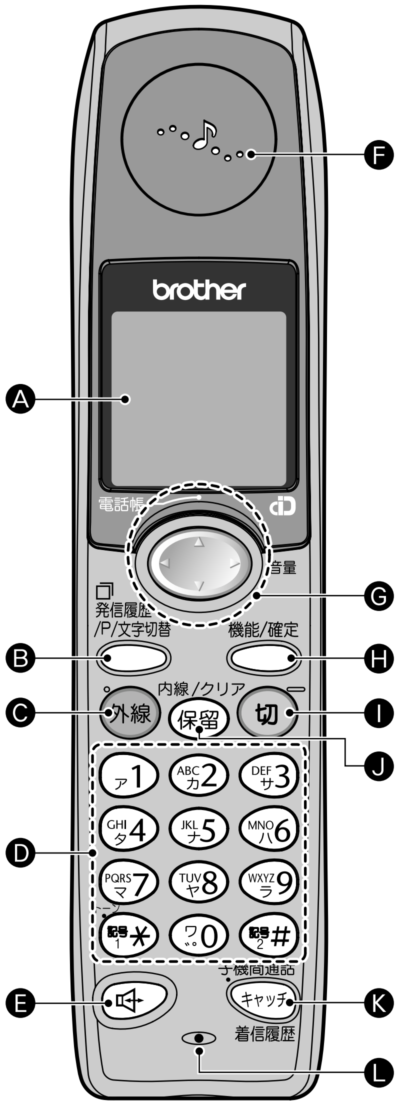
着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。

モーニングアラームを設定しているときに表示します。

圏外　通話中、電波の届かない場所にいるときは の代わりに「圏外」が表示されます。ただし待受中のときは表示されません。

通話中の電波の状態が表示されます。 の数が多いほど、電波状態が良好です。ただし待受中のときは表示されません。

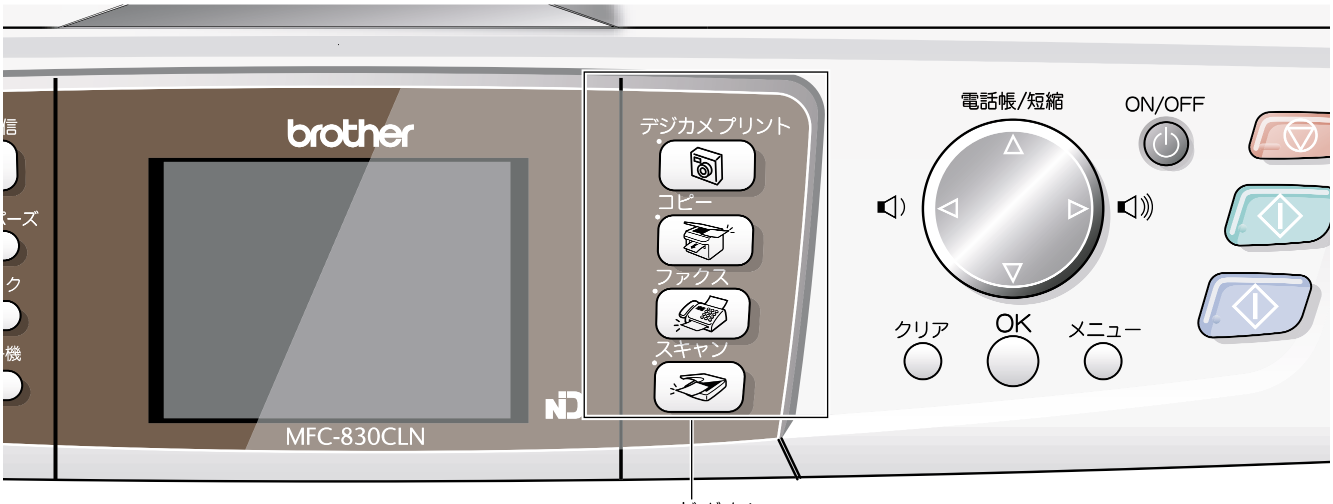
■ 操作パネル



(A)	液晶ディスプレイ	操作手順や本機の状態、メッセージなどが表示されます。
(B)	発信履歴/P/文字切替ボタン	最近かけた相手にもう一度ダイヤルしたり、ダイヤルするときにポーズを入れるとき、文字入力の種類を変えるときに押します。
(C)	外線ボタン	電話をかけるときや受けるときに押します。
(D)	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。
	記号1／トーンボタン	記号を入力するとき、一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するときに押します。
	記号2ボタン	記号を入力するときに押します。
(E)	スピーカーホンボタン	子機を持たずに通話するときに押します。
(F)	スピーカーと受話口	着信音や相手の声が聞こえます。
(G)	マルチセレクトボタン	ディスプレイの項目を選択します。
	電話帳ボタン	電話帳を表示するときに押します。
	音量ボタン	着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整するときに押します。
(H)	機能/確定ボタン	各機能を設定するとき、または設定内容や子機ライトを設定するとき（48ページ）に押します。
(I)	切ボタン	電話を切るとき、または操作を途中で中止するときに押します。充電中は点灯しています。
(J)	保留／内線／クリアボタン	保留にして相手にメロディを流すとき、内線で通話するとき、文字を消すときに押します。
(K)	子機間通話／キャッチ／着信履歴ボタン	子機同士で通話するとき、キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。
(L)	マイクと送話口	子機を持って通話するとき、スピーカーホンで通話するときに使用します。

モードについて

操作パネルのモードボタンでファクス、コピー、スキャン、デジカメプリントの各モードに切り替えることができます。
現在選択されているモードボタンは緑色に点灯します。初期設定は「ファクス」です。



モードボタン

■ モードタイマーを設定する

各モードで操作したあと、自動的にファクスモードに戻る時間を設定できます。【切】を選ぶと、最後に使ったモードを維持します。お買い上げ時は【2 分】に設定されています。

1 **メニュー を押し、 【基本設定】 OK 【モードタイマー】を選び、OK を押す**

⇒ 22 ページ「メニュー画面の操作」

◆ 設定値の一覧が表示されます。

2 **で、ファクスモードに戻る時間を選び、OK を押す**

時間は【切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／ 2 分／ 5 分】から選びます。

3 **停止/終了 を押す**

◆ 設定を終了します。

電源ボタンについて

電源ボタンを押すと、本機の電源をオン／オフできます。電源をオフにした場合でも、印刷品質を維持するために本機のヘッドクリーニングを定期的に行います。

■ 電源を オフにする

1 ON/OFF **を 2 秒以上押す**

◆ **液晶ディスプレイに【電源をオフにします】と表示されたあと、液晶ディスプレイの表示が消え、本機の電源がオフになります。**

■ 電源を オンにする

1 ON/OFF **を 2 秒以上押す**

◆ **液晶ディスプレイに【お待ちください】と表示されたあと、電源がオンになります。液晶ディスプレイには、現在の日時が表示されます。（ファクスモード）**

■ 電源 オフ時の動作を設定する

電源ボタンで本機の電源をオフ にしていても、【呼び出しをする】に設定していると、かかってきた電話に応答したり、ファクスを受信できます。【呼び出しをしない】に設定しているときは、電話がかかってきたりファクスが送られてきても応答しません。印刷品質を維持するために本機のヘッドクリーニングが自動的に行われるのみです。お買い上げ時は、【呼び出しをする】に設定されています。

1 メニュー **を押し、** ▲▼ **【基本設定】** OK **【電源オフ設定】を選び、** OK **を押す**

⇒ 22 ページ「メニュー画面の操作」

◆ **設定値の一覧が表示されます。**

2 ▲▼ **で、電源を切ったときの動作を選び、** OK **を押す**

設定は以下から選びます。

● 【呼び出しをする】：
電源をオフ にしていても、かかってきた電話に応答したり、ファクスを受けることができます。親切受信（⇒ 95 ページ「電話に出ると自動的に受ける」）やタイマー送信、リモコンアクセス機能を使った本機の操作（⇒ 119 ページ「外出先から本機を操作する」）も行えます。また、子機から外線・内線へ電話をかけたり、子機間で通話することもできます。

※かかってきた電話を親機で受けた場合は、子機に取り次いだり、保留にすることはできません。

※かかってきた電話を子機で受けた場合は、親機に取り次ぐことができます。

● 【呼び出しをしない】：
電源をオフ にしていると、電話がかかってきても応答しません。ファクスの受信もできません。また、子機も使用できなくなります。

3 停止/終了 **を押す**

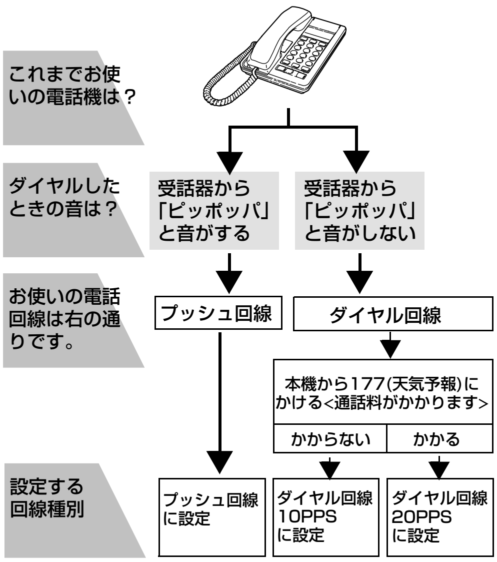
◆ **設定を終了します。**

はじめに設定する

回線種別を設定する

手動で回線種別を設定するときは、以下の操作で行います。

1 電話回線の種別を確認する



2 メニュー を押し、▲▼【初期設定】OK【回線種別設定】を選び、OK を押す

⇒ 22 ページ「メニュー画面の操作」

◆ 設定値の一覧が表示されます。

3 ▲▼ で回線種別を選び、OK を押す

回線種別は、【プッシュ回線／ダイヤル 10PPS ／ダイヤル 20PPS ／自動設定】から選びます。

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

日付と時刻を設定する

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、ファクス送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

1 メニュー を押し、▲▼【初期設定】OK【時計セット】を選び、OK を押す

⇒ 22 ページ「メニュー画面の操作」

◆ 日付と時刻の入力画面が表示されます。

2 西暦の下 2 桁を入力し、OK を押す

例：2006 年の場合は 0 6 を押します。

3 月を 2 桁で入力し、OK を押す

例：8 月の場合は 0 8 を押します。

4 日付を 2 桁で入力し、OK を押す

例：21 日の場合はを 2 1 押します。

5 時刻を 24 時間制で入力し、OK を押す

例：午後 3 時 25 分の場合は

1 5 2 5 を押します。

6 停止/終了 を押す

◆ 設定が終わり、液晶ディスプレイに日付、時刻が表示されます。



時刻はあくまで目安です。気になるときは、1 カ月おきに合わせ直してください。

■ 間違えて入力したときは

日付や時刻を間違えて入力したときは、停止/終了 を押して、始めから入力し直してください。

名前とファクス番号を設定する

[発信元登録]

自分の名前とファクス番号を本機に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙に印刷されます。

1 **メニュー を押し、 【初期設定】 OK 【発信元登録】を選び、 OK を押す**

◆ 名前とファクス番号の入力画面が表示されます。

2 **ファクス番号を入力し、 OK を押す**

20 桁まで入力できます。

3 **名前を入力し、 OK を押す**

⇒ 182 ページ「親機での文字の入れかた」
名前として入力できる文字数は 16 文字までです。

4 **停止/終了 を押す**

◆ 設定を終了します。

■ 発信元登録を削除するときは

以下の手順で発信元登録を削除します。

(1) メニュー を押し、 【初期設定】 OK 【発信元登録】を選び、 OK を押す

(2) ファクス番号の先頭で クリア を押し、 OK を押す

(3) 停止/終了 を押す

現在の曜日・時刻を設定する（子機）

曜日と時刻の設定をします。
モーニングアラームもこの設定に基づいていますので、必ず設定をしてください。

1 **機能/確定 を押す**

2 **で「ﾄｹｲｾｯﾃｲ」を選び、 機能/確定 を押す**

3 **で曜日を選ぶ**

4 **を押して、時刻を 24 時間制（4 桁）で入力し 機能/確定 を押す**

午前 8 時 3 分のときは 0 8 0 3 と入力し 機能/確定 を押します。

午後 3 時 45 分のときは 1 5 4 5 と入力し 機能/確定 を押します。

◆ 「ﾄｹｲｾｯﾃｲｼﾏｼﾀ」と表示されます。
◆ 約 2 秒後に待ち受け画面に戻り、登録した曜日・時間が表示されます。

数字を入れ間違えたときは、 で間違えた箇所まで ＿（カーソル）を移動し、入力し直してください。

設定を途中で中止するときは 切 を押してください。

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。以下の説明をよくお読みになり、目的に合った記録紙を選んでください。また、記録紙をセットしたときは、本機の「記録紙タイプ」（⇒ 34 ページ「記録紙の種類を設定する（コピー、ファクスのみ）」）またはプリンタドライバの「用紙種類」の設定を変更してください。
記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷されることをお勧めします。

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP60GLA（A4）、BP60GLLJ（L判）	20 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

専用紙は、ご注文シートを使ってダイレクトクラブでご購入いただけます。⇒ 155 ページ「消耗品を注文したいときは」

また、OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。
・ Transparency 3M Transparency Film（型番：CG3410）

セットできる記録紙

記録紙トレイには、以下の種類の記録紙をセットできます。

<table>
<tr><th rowspan="2">記録紙の種類</th><th rowspan="2">厚さ</th><th rowspan="2">記録紙トレイにセットできる枚数</th><th colspan="4">用紙サイズ</th></tr>
<tr><th>ファクス</th><th>コピー</th><th>デジカメプリント</th><th>プリンタ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">普通紙</td><td rowspan="2">64g/m^2 ～ 120g/m^2（0.08mm ～ 0.15mm）</td><td>100</td><td>A4</td><td>A4、B5、A5</td><td>A4</td><td>A4、レター、エグゼクティブ、B5(JIS)、A5、A6</td></tr>
<tr><td>50</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>リーガル</td></tr>
<tr><td>インクジェット紙</td><td>64g/m^2 ～ 200g/m^2（0.08mm ～ 0.25mm）</td><td>20</td><td>—</td><td>A4、B5</td><td>A4</td><td rowspan="3">A4、レター、エグゼクティブ、B5（JIS）、A5、A6、リーガル、L判（＊1）、2L判（＊2）</td></tr>
<tr><td>光沢紙</td><td>220g/m^2 以下（0.25mm 以下）</td><td>20</td><td>—</td><td>A4、B5</td><td>A4、L判（＊1）、2L判（＊2）</td></tr>
<tr><td>OHP フィルム</td><td>0.13mm 以下</td><td>10</td><td>—</td><td>A4、B5</td><td>—</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>75g/m^2 ～ 95g/m^2</td><td>10</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>DL 封筒、COM-10、C5 封筒、モナーク、洋形 4 号封筒</td></tr>
<tr><td>ポストカード</td><td>0.28mm 以下</td><td>20</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td rowspan="2">102mmX152mm、127mmX208mm</td></tr>
<tr><td>インデックスカード</td><td>120g/m^2 以下（0.15mm 以下）</td><td>30</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td>はがき</td><td>0.23mm 以下</td><td>30</td><td>—</td><td>100mmX148mm、200mmX148mm</td><td>—</td><td>100mmX148mm、148mmX200mm</td></tr>
</table>

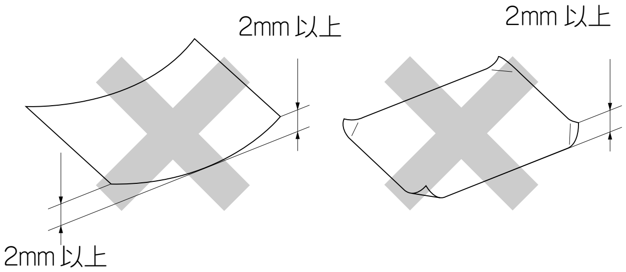
（＊ 1）89mm × 127mm、（ ＊ 2）127mm × 178mm

注意

- **ファクスは A4、レター、リーガルの記録紙でのみ印刷できます。**
- **指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。**
  ・傷がついている記録紙・カールしている記録紙・シワのある記録紙・留め金のついた記録紙
  ・すでに印刷された記録紙（写真つきはがきを含む）
- **指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。**
- **往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。**

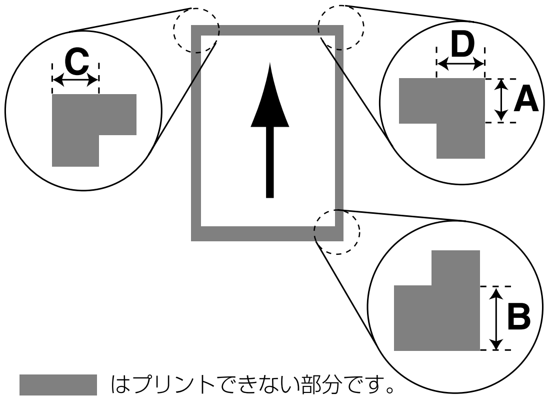
カールしている記録紙について

特に、はがきや光沢紙（L 判、2L 判）はカールしている場合があるため、曲がりやそりを直して使用してください。



記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D、はそれぞれ対応しています。



（単位：mm）

記録紙	A	B	C	D
A4 エグゼクティブ 官製はがき レター・リーガル	3	3	3	3
洋形 4 号	12	24	3	3

※ 印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。また、この数値はお使いの記録紙やプリンタドライバによっても変わることがあります。

上記の数値は、プリンタ機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を行っている場合、印刷できる範囲はお使いの OS やプリンタドライバによって異なります。

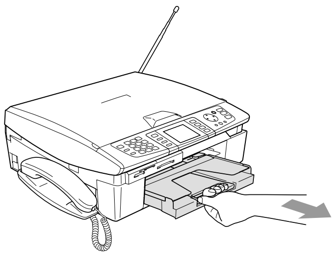
記録紙のセットのしかた

注意

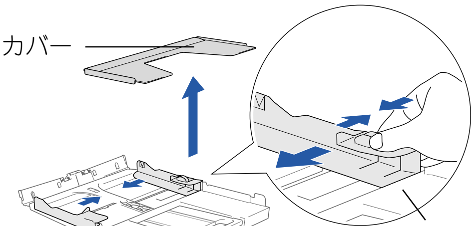
- 光沢紙をセットするときは、印刷面に直接手を触れないようにしてください。
- ブラザー専用光沢紙（A4：BP60GLA）をセットするときは、用紙に同梱の使用説明書（厚紙）を記録紙トレイにセットしてからその上に光沢紙をセットしてください。
- インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。
- 記録紙トレイにセットできる記録紙は、▼マークの位置までです。▼マークの位置より少ないことを確認してください。
- 記録紙を強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。
- 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

■ 普通紙をセットする場合

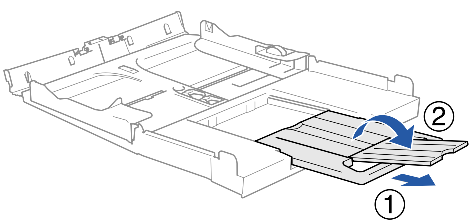
1 本機から記録紙トレイを引き出す



2 トレイカバーを外し、幅のガイドを用紙に合わせる

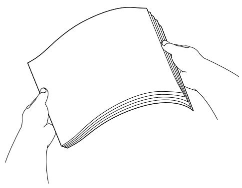


3 長さのガイドを引き出し（①）、記録紙ストッパーを開く（②）



4 記録紙をさばく

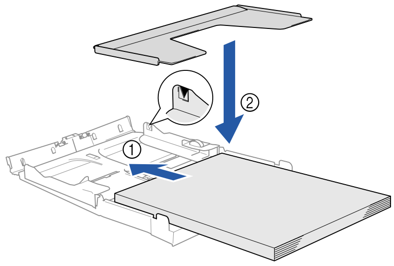
紙づまりや給紙ミスがないように、記録紙をさばきます。

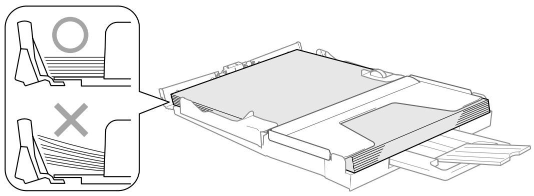


5 印刷したい面を下にして記録紙をセットし（①）、トレイカバーをかぶせる（②）

記録紙の先端がコツンと当たるところまでセットします。強く押し込まないでください。

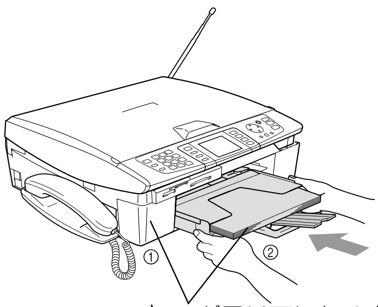
記録紙が記録紙トレイの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。また、幅のガイドが記録紙の幅に合っていることを確認してください。





6 記録紙トレイを元にもどす

本機から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。

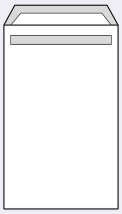


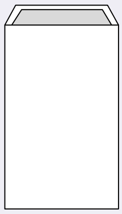
長さのガイドを最大限に引き出し、記録紙ストッパーは常に開いた状態で記録紙トレイをセットしてください。

■ 封筒をセットする場合

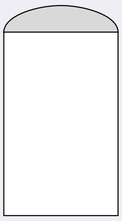
注意

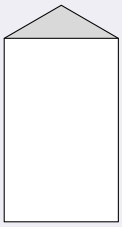
- ■ 封筒は、坪量 75g/m^2 ～ 95g/m^2 のものをお使いください。
- ■ 印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。
- ■ 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。
  - ・ 窓付き封筒・エンボス加工がされたもの・留め金のついたもの
  - ・ 内側に印刷がほどこされているもの
  - ・ ふたにのりが付いているもの
  - ・ 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）





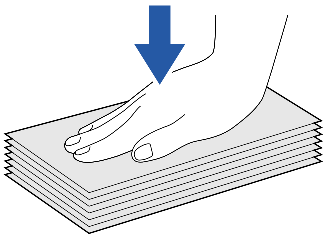
  - ・ ふたが円弧、または三角のもの



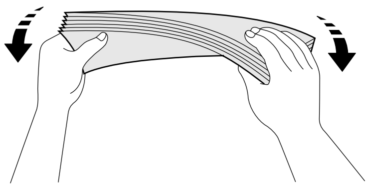


1 封筒の端をそろえて、まっすぐにする

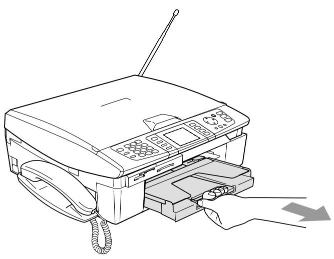
四隅を揃え、封筒を押さえて中の空気を抜いて、平らにしてください。



封筒がそっているときは、対角線上の端を持ってゆっくり曲げ、そりを直します。



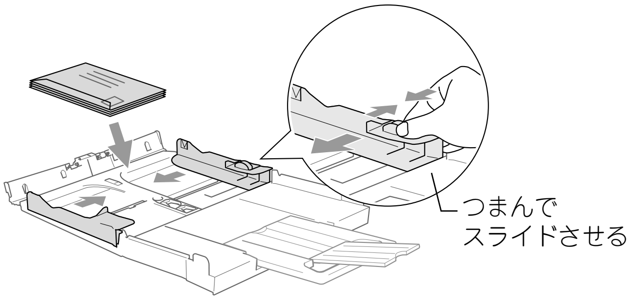
2 本機から記録紙トレイを引き出す



3 印刷したい面を下にして封筒を記録紙トレイにセットし、幅のガイドをあわせる

封筒の先端がコツンと当たるところまでセットします。強く押し込まないでください。

封筒が記録紙トレイの中で平らになっていること、▼マークより下の位置にあることを確認してください。

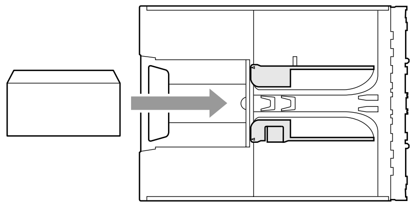


4 記録紙トレイを元にもどす

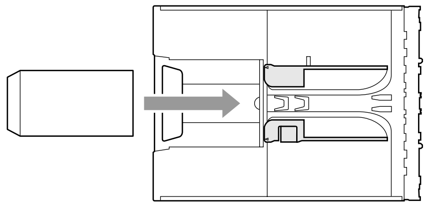
本機から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。

うまく印刷できない場合は、以下の内容をお試しください。

- 使用しているアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してみてください。
- 封筒のふたが折りたたまれた状態でうまく印刷できないときは、ふたを伸ばして印刷をしてみてください。



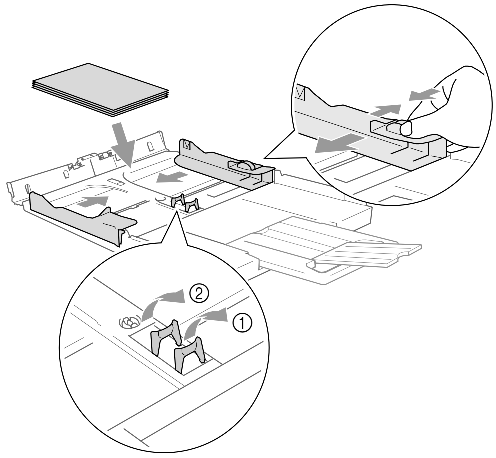
- 封筒のふたが下の図のようについている場合は、封筒を横長・横書きで使用してください。（縦長・縦書きでの印刷はできません。）このとき、ふたのない方向から給紙してください。



- 縦長の封筒を給紙する場合、ふたのある方向から給紙すると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。

■ ハガキ､L判サイズの記録紙をセットする場合

ハガキをセットする場合は記録紙トレイの手前のつまみ（①）を、L判サイズの記録紙をセットする場合は記録紙トレイの奥のつまみ（②）を立てます。



■ 光沢紙をセットする場合

光沢紙は、紙を良くさばいてセットします。枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している補助紙を合わせてセットします。

注意

■ 補助紙を使っても光沢紙がうまく引き込まれないとき（光沢紙が 2 ～ 3 枚づつ送られたりするとき）は、補助紙を外して光沢紙を 1 枚づつセットしてください。

記録紙の種類を設定する（コピー、ファクスのみ）

通常よく使う記録紙に合わせて、【記録紙タイプ】を設定します。
お買い上げ時は、【普通紙】に設定されています。

- コピーするときに一時的に記録紙の種類を変える⇒ 125 ページ「いろいろなコピー」
- メモリーカードに保存されている画像を印刷するときの記録紙を設定する場合 ⇒ 136 ページ「いろいろなプリント方法」
- パソコンから印刷するときの記録紙を設定する場合⇒ユーザーズガイド（HTML 版）「プリンタ」

1 メニュー を押し、▲▼【基本設定】OK【記録紙タイプ】を選び、OK を押す

◆ 設定値の一覧が表示されます。

2 ▲▼ で記録紙タイプを選び、OK を押す

記録紙タイプは、【普通紙／インクジェット紙／光沢紙／ OHP フィルム】から選びます。

- 写真のような高画質な原稿を印刷するときは、【光沢紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。
- カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷する時は、【インクジェット紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

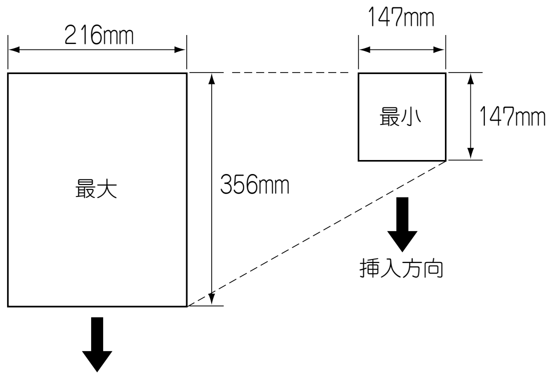
3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

原稿のセット

ADF にセットできる原稿（MFC-840CLN のみ）

ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。



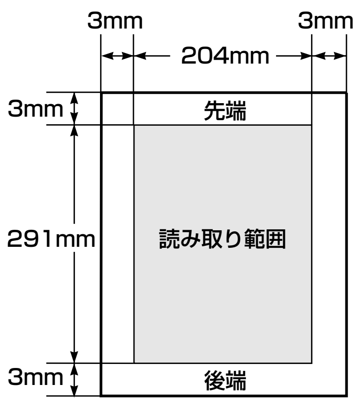
厚さ：0.08 ～ 0.12mm
坪量：64g/m^2 ～ 90g/m^2

注意

- **接着面のある紙、ノンカーボン紙、折れのある紙は、給紙できなかったり紙づまりを起こす場合があります。原稿台ガラスにセットしてください。**

原稿の読み取り範囲

ADF または原稿台ガラスに、A4 サイズの原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のようになります。



ファクスを送る場合の読み取り範囲幅は、208mm です。

原稿をセットする

■ 原稿台ガラスに原稿をセットする

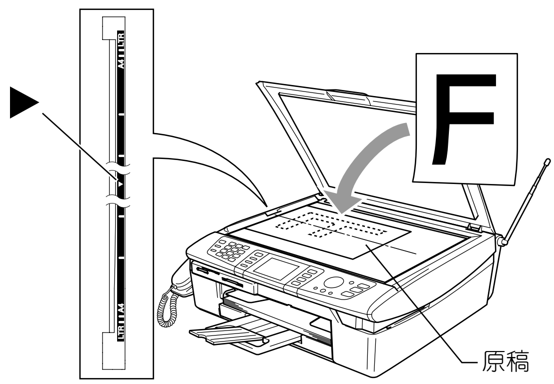
原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

注意

- **インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。**

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの「▶」マークに原稿上端の中央を合わせ、原稿を裏向きにセットする



3 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

注意

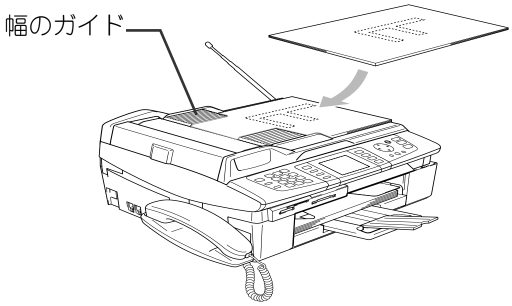
- **原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ると、画像が黒くなることがあります。**
- **原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。**

■ ADF に原稿をセットする（MFC-840CLN のみ）

MFC-840CLN には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を送るときは、ADF に原稿をセットすると便利です。

1 原稿をそろえ、印刷したい面を下にして、原稿の先が軽く当たるまで差し込む

原稿は一度に 10 枚までセットできます。



◆ **液晶ディスプレイに【原稿セット OK】と表示されます。**

2 幅のガイドを原稿の幅に合わせる

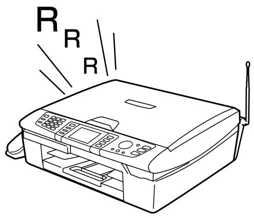
電話とファクスの受信設定

電話・ファクスの受けかた（お買い上げ時）

お買い上げ時は、次のように設定されています。

■ 家にいるとき（在宅モード：留守 が消灯しているとき）

着信音が8回鳴る



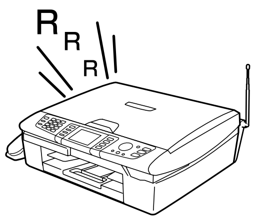
→ 自動的に回線がつながる

※ここから相手に料金がかかります。

- 電話のとき → ベル音が鳴る
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

■ 留守にするとき（留守モード：留守 が点灯しているとき）

着信音が2回鳴る



→ 自動的に回線がつながる

※ここから相手に料金がかかります。

- 電話のとき → 留守応答メッセージが流れる
- ファクスのとき → ファクスを自動受信

> 着信音をメロディに設定しているときでも、回線が再呼出に切り替わるとベル音が鳴ります。
>
> 回線が切り替わると相手には、再呼出設定に応じて「ベル音」（約 15 秒）または「在宅応答メッセージ」が流れます。その後、電話に出ないときは、相手に「ただ今近くにおりません。後でおかけ直しください。」というメッセージが流れて回線が切れます。

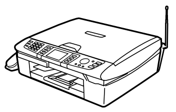
電話・ファクスの受けかたを変更する

電話・ファクスの受けかたを変更したい場合は、変更したい内容にあわせて、以下の手順で設定してください。

■ 着信音を鳴らさずにファクスを受けたい場合（無鳴動受信）

着信音の呼び出し回数を 0 回にします。

着信音は鳴らない



→ 自動的に回線がつながる
※ここから相手に料金がかかります。

電話のとき → ベル音が鳴る

ファクスのとき → ファクスを自動受信

(1) （メニュー）を押し、（十字キー）【ファクス】（OK）【受信設定】（OK）【呼出回数】を選び、（OK）を押す

(2) （十字キー）で呼び出し回数を設定するモードを選び、（OK）を押す

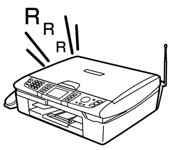
⇒ 39 ページ「呼出回数を設定する」

(3) （十字キー）で【0】を選び（OK）を押す

■ ファクス専用として使う場合

再呼出設定を【オフ（ファクス専用)】にします。

着信音が8回鳴る



→ 自動的に回線がつながる
※ここから相手に料金がかかります。

電話のとき → 電話に出られません

ファクスのとき → ファクスを自動受信

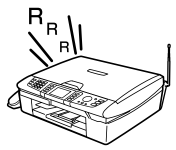
(1) （メニュー）を押し、（十字キー）【ファクス】（OK）【受信設定】（OK）【再呼出設定】を選び、（OK）を押す

(2) （十字キー）で【オフ（ファクス専用)】を選び（OK）を押す

■ ファクスを自動受信しない場合（受話器を上げてファクスを受信する）

着信音の呼出回数を【無制限】にします。

着信音が鳴り続く



→ 受話器をとる → 回線がつながる
※ここから相手に料金がかかります。

電話のとき → 通話

ファクスのとき →



を押して受信

(1) （メニュー）を押し、（十字キー）【ファクス】（OK）【受信設定】（OK）【呼出回数】を選び、（OK）を押す

(2) （十字キー）で【在宅モード】を選び、（OK）を押す

(3) （十字キー）で【無制限】を選び（OK）を押す

呼出回数を設定する

着信してから本機が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。お買い上げ時は「在宅モード８回」、「留守モード２回」に設定されています。

呼出回数を０回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけ着信音を鳴らすことができます。（回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも着信音が数回鳴ることがあります。また、電話のときは相手にお金がかかります。）

1 メニュー を押し、⊖【ファクス】OK【受信設定】OK【呼出回数】を選び、OK を押す

⇒ 22 ページ「メニュー画面の操作」

◆ 設定値の一覧が表示されます。

2 ⊖ で呼出回数を設定するモードを選び、OK を押す

モードは【在宅モード／留守モード】から選びます。

- 【在宅モード】：
  在宅モード時の呼出回数を設定する場合に選びます。
- 【留守モード】：
  留守モード時の呼出回数を設定する場合に選びます。

3 ⊖ で呼出回数を選び、OK を押す

A）【在宅モード】のとき

呼出回数は【0 ～ 15（回）／無制限】から選びます。

- 【0 ～ 15（回）】：
  設定した呼出回数分の着信音が鳴ったあと、自動的に応答します。【0 回】の場合は、着信音が鳴らずに自動的に応答します。
- 【無制限】：
  自動的に受信しません。

B）【留守モード】のとき

呼出回数は【0 ～ 7（回）／トールセーバー】から選びます。

- 【0 ～ 7（回）】：
  設定した呼出回数分の着信音が鳴ったあと、自動的に応答します。
- 【トールセーバー】：
  外出先から留守番電話にメッセージが入っているか確認できます。

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

■【トールセーバー】を設定したとき

留守モードで【トールセーバー】を選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。
外出先からメッセージの有無を確認するときは、外出先から自宅に電話をかけて、留守応答メッセージが再生されるまでの呼出回数を確認します。

・ メッセージがあるとき――呼出 2 回
・ メッセージがないとき――呼出 5 回

※ 着信音が 3 回鳴った時点で、メッセージが記憶されていないことがわかります。3 回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2 回鳴って電話がつながったときは、リモコンアクセス（⇒ 119 ページ「外出先から本機を操作する」）によって音声メッセージを確認するなど、本機を操作することができます。

再呼出の設定をする

在宅モード時に電話がかかってきた場合の対応を設定します。（ファクスのときは、自動的に受信します。）お買い上げ時は、【オン（電話呼び出し）／相手にメッセージ】に設定されています。

1 メニュー を押し、▲▼【ファクス】OK【受信設定】OK【再呼出設定】を選び、OK を押す

⇒22 ページ「メニュー画面の操作」

◆ 設定値の一覧が表示されます。

2 ▲▼ で在宅応答のしかたを選び、OK を押す

在宅応答は、【オン（電話呼び出し）／オフ（ファクス専用）】から選びます。

- 【オン（電話呼び出し）】：
  本機が応答後、相手が電話の場合は「再呼出音」が鳴ります。
  （相手がファクスの場合は自動的に受信します。）
- 【オフ（ファクス専用）】：
  本機がファクス専用として応答するので、相手が電話の場合でも「再呼出音」は鳴りません。

【オン】を選んだ場合　⇒ 3 へ

【オフ】を選んだ場合　⇒ 4 へ

3 本機が再呼出のベル音を鳴らしているときの相手側への応答のしかたを選び、OK を押す

本機が再呼出のベル音を鳴らしているときの、相手側への応答のしかたを設定します。

設定は【相手にベル／相手にメッセージ】から選びます。

- 【相手にベル】：
  相手側に、「トゥルートゥルー」というベル音を（約 15 秒間）鳴らします。
- 【相手にメッセージ】：
  相手側に、本機に設定されている在宅応答メッセージを再生します。

> お買い上げ時は、在宅応答メッセージとして「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音の後に送信してください。」と録音されています。
>
> 応答メッセージの内容は変更できます。
> ⇒ 115 ページ「応答メッセージを設定する」

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

> 「ベル」に設定された状態で在宅応答メッセージを録音すると、在宅応答メッセージは自動的に「ベル」から「メッセージ」に変更されます。

音量を設定する

お好みで設定してください

本機の、着信音量、ボタン確認音量、スピーカー音量、受話音量を調整します。

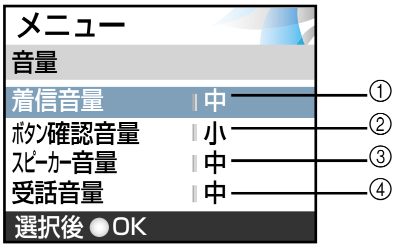
親機の音量を設定する

1 メニュー ○ を押し、【基本設定】 OK ○【音量】を選ぶ

⇒ 22 ページ「メニュー画面の操作」

◆ 音量調節画面が表示されます。

2 で変更したい音量を選び、OK ○ を押す



① **着信音量**
着信時のベルやメロディの音量を調整します。

② **ボタン確認音量**
ダイヤルボタンを押したときに鳴る確認音を調整します。【切】に設定しても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

③ **スピーカー音量**
オンフック時の音量や留守録モニターの音量を調整します。

④ **受話音量**
受話器を持って通話するときの音量を調整します。

3 で音量を選び、OK ○ を押す

音量は【切／小／中／大】から選びます。

受話音量には【切】はありません。

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

スピーカー音量は オンフック を押し「ツー」という音が聞こえているときに でも調整できます。

着信音量を【切】に設定していても、下記の音は最小音量で鳴ります。
- 本機が自動着信した後、相手が電話だということを知らせる「トゥルッ、トゥルッ」という着信音
- 内線や取り次ぎの着信音

■ 通話中に受話音量をかえる

通話中に を押すと、受話音量を変更できます。

子機の音量を調整する

■ 着信音量を設定する

お買い上げ時は、「■■■」（3 段階目）に設定されています。

1 （音量）を押す

2 で音量を選ぶ

着信音量は「OFF」と 4 段階の調整ができます。

〈ｵﾝﾘｮｳ〉
ｼｮｳ■■■　ﾀﾞｲ

2 秒間操作しないともとの画面に戻ります。

■ ボタン確認音量を設定する

お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

1 機能/確定 を押す

2 で「ﾎﾞﾀﾝｶｸﾆﾝｵﾝ」を選び、機能/確定 を押す

3 で設定を選ぶ

ボタン確認音量は「ON ／ OFF」から選びます。

ｶｸﾆﾝｵﾝ？▼▲
■ON
OFF

1 分間操作しないともとの画面に戻ります。

4 機能/確定 を押す

◆ 設定を終了します。

■ スピーカー音量を設定する

スピーカーホンで通話するときの音量を調整します。を押して、「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。お買い上げ時は、「■■」（2 段階目）に設定されています。

1 を押す

2 （音量）を押す

3 で音量を選ぶ

スピーカー音量は 4 段階の調整ができます。

〈ｵﾝﾘｮｳ〉
ｼｮｳ■■　ﾀﾞｲ

2 秒間操作しないと通話状態になります。
切 を押すと待ち受け画面に戻ります。通話中の場合は、回線が切れます。

子機のスピーカー音量は聞きとりやすいように大きめに設定してあります。特に 3、4 段階目に設定すると、キーンという音（ハウリング）が発生することがあります。その場合は段階を 2 段階目または 1 段階目に設定してご使用ください。

子機で外線通話中または子機間通話中に を押すと、スピーカー音量は 1 段階目になります。音量が小さい場合は を押して調整してください。

■ 受話音量を設定する

お買い上げ時は、「■■」（2 段階目）に設定されています。

1 通話中に（音量）を押す

2 で音量を選ぶ

受話音量は 4 段階の調整ができます。

〈ｵﾝﾘｮｳ〉
ｼｮｳ■■　ﾀﾞｲ

2 秒間操作しないともとの画面に戻ります。

子機の受話音量は聞き取りやすいように大きめに設定してあります。特に 3、4 段階目に設定すると、キーンという音（ハウリング）が発生することがあります。その場合は段階を 2 段階目または 1 段階目に設定してご使用ください。

着信音と保留音を設定する

電話やファクスを受信したときの着信音と保留音を設定します。本機には、あらかじめ 4 種類のベル音と 30 曲のメロディが登録されています。お買い上げ時は、着信音は「ベル 1」、保留音は「花のワルツ」に設定されています。

注意

- ■ 着信音や保留音は、受話器を置いた状態で設定してください。（受話器を上げていると設定できません。）
- ■ 呼び出し回数を 0 回に設定していると、メロディを設定していても、回線が再呼出に切り替わるとベル音が鳴ります。着信音をメロディにしたいときは、呼出回数を 3 回以上に設定してください。⇒ 39 ページ「呼出回数を設定する」

親機の着信音・保留音を選ぶ

1 メニュー を押し、【ファクス】OK【メロディ設定】を選ぶ

⇒ 22 ページ「メニュー画面の操作」

2 で【着信音】または【保留メロディ】を選び、OK を押す

3 でメロディを選び、OK を押す

現在選択されているメロディが流れます。
メロディは右の「メロディ一覧」から選びます。

ベル音は保留メロディには設定できません。

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

構内交換機やターミナルアダプタなどに接続している場合で、着信音を【ベル 1】に設定しているときは、メニュー選択時に聞こえる【ベル 1】の音と異なるベル音が鳴ることがあります。

■ メロディ一覧

本機では、下記のメロディが着信音や保留音として設定できます。

曲名	
1	アイネクライネ
2	愛の喜び
3	アヴェ・マリア
4	仰げば尊し
5	威風堂々
6	大きな古時計
7	歓喜の歌（交響曲第 9 番）
8	ガボット
9	きらきら星
10	グリーンスリーブス
11	ケンタッキーの我が家
12	四季より「春」
13	シチリアーナ
14	主よ人の望みよ喜びよ
15	小フーガト短調
16	聖者の行進
17	ダッタン人の踊り
18	ちょうちょう
19	天国と地獄
20	トルコ行進曲
21	ドナドナ
22	ノクターン第 2 番
23	花
24	花のワルツ
25	春の声
26	ハッピーバースデイ
27	プロムナード
28	メヌエット
29	諸人こぞりて
30	別れの曲

子機の着信音を選ぶ

1 機能/確定 **を押す**

2 ▲▼ **で「ﾁｬｸｼﾝｵﾝｾﾝﾀｸ」を選び、機能/確定 を押す**

3 ▲▼ **で着信音を選び、機能/確定 を押す**

着信音は「ﾍﾞﾙ／ﾒﾛﾃﾞｨ１／～／ﾒﾛﾃﾞｨ３／曲名」から選びます。（曲名は、親機から読み込んだメロディがあるときのみ表示されます。）

・メロディ１：
　「ｲﾌｳﾄﾞｳﾄﾞｳ」（威風堂々）
・メロディ２：
　「ｼｷﾖﾘ［ﾊﾙ］」（四季より「春」）
・メロディ３：
　「ﾊﾅﾉﾜﾙﾂ」（花のワルツ）

お買い上げ時、子機が着信音として利用できるのは「ベル／メロディ１～3」のみです。「メロディ一覧」の曲を子機の着信音として設定する場合は、「子機にメロディを転送する」（⇒45 ページ「子機にメロディを転送する」）を行って親機からメロディを取り込んだ後、着信音を設定します。

■ 相手先ごとに着信音を変える

ナンバー･ディスプレイサービスを契約しているときは相手先ごとに着信音を設定することができます。
⇒69 ページ「親機の着信鳴り分けを設定する」
⇒69 ページ「子機の着信鳴り分けを設定する」

子機にメロディを転送する

親機に登録されているメロディの中からお好きな曲を選んで、4 曲まで子機に登録することができます。登録されたメロディは子機の着信音として使用できます。（子機で使用する場合は、メロディは単音になります。）
メロディの登録は、子機側の操作で、1 曲ずつ行います。

注意

■ **メロディを登録した後で、着信音として選択する必要があります。（登録しただけでは、着信音として設定されません。）**
⇒ 44 ページ「子機の着信音を選ぶ」

1 子機の 機能/確定 を押す

2 ◇ で「ﾒﾛﾃﾞｨﾖﾐｺﾐ」を選び、機能/確定 を押す

3 ◇ で登録したいメロディを選び、機能/確定 を押す

着信音は「メロディ一覧」から選びます。
⇒ 43 ページ「メロディ一覧」

◆ **選んだメロディが再生されます。**

再生中のメロディを登録せず、新しくメロディを選び直すときは、◇ を押します。

4 機能/確定 を押す

すでに 4 曲登録しているときは、◇ で上書きする曲名を選び、機能/確定 を押します。
着信音や着信鳴り分けに設定されているときは、「ｳﾜｶﾞｷ 1. ｽﾙ 2. ｼﾅｲ」から選択します。

◆ **メロディデータが読み込まれ、読み込んだメロディが再生されます。**

◆ **内線/クリア(保留) を押すと、読み込んだメロディがキャンセルされ、手順 1 に戻ります。**

5 機能/確定 を押す

◆ **メロディが登録されます。**

◆ **44 ページの手順で、子機の着信音を設定してください。**

子機で「ﾒﾛﾃﾞｨﾖﾐｺﾐ」を行ったときに「ｵﾔｷｼﾖｳﾁｭｳ」または「ｵﾔｷﾉ ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されたときは、親機が操作中ではないか確認してください。

■ メロディを消去する

登録したメロディを消去したいときは、以下の手順で削除します。

(1) 機能/確定 を押す

(2) ◇ で「ﾁｬｸｼﾝｵﾝｾﾝﾀｸ」を選び、機能/確定 を押す

(3) ◇ で消去したいメロディを選び、内線/クリア(保留) を押す

◆ ディスプレイに以下の画面が表示されます。

```
ｼｮｳｷｮ ?
1. ｽﾙ   2. ｼﾅｲ
ﾊﾞﾝｺﾞｳﾆｭｳﾘｮｸ
```

◆ 着信音や着信鳴り分けに設定されているときは、以下の画面が表示されます。

着信音に設定されているとき

```
ﾁｬｸｼﾝｵﾝﾆｾｯﾃｲ
ｻﾚﾃﾏｽ ｼｮｳｷｮ ?
1. ｽﾙ   2. ｼﾅｲ
```

着信鳴り分けに設定されているとき

```
ﾅﾘﾜｹﾆ ｾｯﾃｲ
ｻﾚﾃﾏｽ ｼｮｳｷｮ ?
1. ｽﾙ   2. ｼﾅｲ
```

(4) ｱ1 を押す

◆ 選んだメロディが消去されます。

着信音として設定されているメロディが上書き（更新）されたときは、設定されていたメロディの代わりに上書きされたメロディが着信音として設定されます。

着信音として設定されているメロディが消去されたときは、消去されたメロディの代わりに着信音「ベル」が設定されます。

親機から読み込んだメロディ以外の着信音は消去できません。

消去されたメロディなど、子機に登録されていないメロディは着信音の選択メニューには表示されません。

モーニングアラームを設定する（子機）

モーニングアラームを３件まで設定することができます。

■ 設定する

1 機能/確定 **を押す**

2 **で「ｱﾗｰﾑｾｯﾃｲ」を選び** 機能/確定 **を押す**

3 **で「ｱﾗｰﾑ 1」～「ｱﾗｰﾑ 3」を選び** 機能/確定 **を押す**

4 **で「ON」を選び** 機能/確定 **を押す**

5 **で 1 回または曜日を選び** 機能/確定 **を押す**

- 「1 ｶｲ」：1 回のみメロディが鳴ります。鳴り終わると設定が OFF になります。
- 「ﾏｲﾆﾁ」：毎日指定した時刻にメロディが鳴ります。
- 「月～金」：月曜日から金曜日の間、指定した時刻にメロディが鳴ります。
- 「月～土」：月曜日から土曜日の間、指定した時刻にメロディが鳴ります。
- 「土、日」：土曜日と日曜日のみ、指定した時刻にメロディが鳴ります。
- 「月～日」：指定した曜日、時刻にメロディが鳴ります。

6 **ダイヤルボタンでメロディを鳴らす時刻を指定して** 機能/確定 **を押す**

時間は 24 時間制で入力します。

午後 3 時 45 分のときは ｱ1 JKLﾅ5 GHIﾀ4 JKLﾅ5 と入力し、機能/確定 を押します。

ディスプレイに ♪ が表示されます。

7 **でメロディを選び** 機能/確定 **を押す**

⇒ 43 ページ「メロディ一覧」
選んだメロディが再生されます。

8 **で音量を選び** 機能/確定 **を押す**

- ◆「ｱﾗｰﾑ 2 ﾄｳﾛｸｼﾏｼﾀ」と表示されます。
- ◆ モーニングアラームが設定されて手順 3 の画面に戻ります。
- ◆ 設定を終了するときは 切 を押します。設定したあと、1 分間操作をしなくても待ち受け画面に戻ります。

■ 解除する

1 機能/確定 を押す

2 ▲▼ で「ｱﾗｰﾑｾｯﾃｲ」を選び 機能/確定 を押す

3 ▲▼ でモーニングアラームを解除する「ｱﾗｰﾑ 1」～「ｱﾗｰﾑ 3」を選び 機能/確定 を押す

4 ▲▼ で「OFF」を選び 機能/確定 を押す

5 切 を押す

待ち受け画面に戻ります。

- メロディは 3 分間鳴ります。メロディを途中で止めるときはいずれかのボタンを押します。
- 複数のモーニングアラームを 3 分間隔で設定しているときは、メロディが鳴らない場合があります。なるべく 4 分間以上の間隔をあけて時刻を設定してください。
- 複数のモーニングアラームが 2 分以内の間隔に設定しているときは、メロディが鳴っていても次の設定時刻に設定したメロディに切り替わります。
- モーニングアラームの指定時刻に電話・通信・設定などをしているときは、操作が終了してからメロディが鳴ります。
- 同じ時刻に複数のモーニングアラームを設定しているときは、メロディの優先順位が「アラーム 1」→「アラーム 2」→「アラーム 3」の順になります。

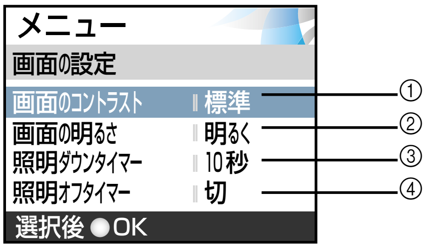
液晶ディスプレイの設定を変更する

親機の液晶ディスプレイの設定を変更する

1 **メニュー を押し、【基本設定】OK【画面の設定】を選ぶ**

⇒22 ページ「メニュー画面の操作」

2 **で設定したい項目を選び、OK を押す**



① **画面のコントラスト**
液晶ディスプレイの見やすさ（コントラスト）を調整します。

② **画面の明るさ**
液晶ディスプレイの明るさを調整します。

③ **照明ダウンタイマー**
液晶ディスプレイのバックライトを暗くするまでの時間を設定します。（暗くなっても画面の表示は確認できます。）

④ **照明オフタイマー**
液晶ディスプレイのバックライトを消灯するまでの時間を設定します。（消灯すると、画面の表示が確認できなくなります。）バックライト分の電力が節約できます。

3 **で設定を選び、OK を押す**

- 画面のコントラスト
【薄く／標準／濃く】
- 明るさ
【明るく／やや暗く／暗く】
- 照明ダウンタイマー
【切／10 秒／20 秒／30 秒】
- 照明オフタイマー
【切／1 分／2 分／3 分／5 分／10 分／30 分】

4 **停止/終了 を押す**

◆ 設定を終了します。

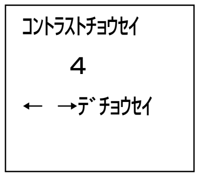
子機の液晶ディスプレイのコントラストを設定する

1 **機能/確定 を押す**

2 **で「ｶﾞﾒﾝﾉｺﾝﾄﾗｽﾄ」を選び、機能/確定 を押す**

3 **で設定を選ぶ**

コントラストは「1～7」から選びます。



1 分間操作しないともとの画面に戻ります。

4 **機能/確定 を押す**

◆ 設定を終了します。

子機のライトを設定する

子機のバックライトを点灯させたままの状態にすることができます。

1 **待ち受け画面のときに、機能/確定 を 2 秒以上押す**

バックライトが点灯し、ディスプレイの表示が消えます。

操作パネルのいずれかのボタンを押す、または子機を充電器に戻すと、バックライトが消灯します。

第2章

電話

基本

親機で電話をかける **50**
ダイヤルボタンでかける 50
最後にかけた相手にかける 50
最近かけた相手にかける 50
受話器を置いたまま電話をかける 51
最近かかってきた相手にかける 51
電話帳からかける 52

子機で電話をかける **53**
ダイヤルボタンでかける 53
最後にかけた相手にかける 53
最近かけた相手にかける 53
子機を置いたままかける 54
最近かかってきた相手にかける 54
電話帳からかける 54

電話を受ける **55**
親機で電話を受ける 55
子機で電話を受ける 55

保留にする **56**
親機の通話を保留にする 56
子機の通話を保留にする 56

応用

内線通話をする **57**
親機から子機へかける 57
子機から親機へかける 57
子機から子機へかける 58
■ 子機１（電話をかける側） 58
■ 子機２（電話をうける側） 58
親機から子機へ呼びかける 59

通話中にできること **60**
親機から子機へ電話を取り次ぐ 60
子機から親機へ電話を取り次ぐ 61
子機から子機へ電話を取り次ぐ 61
用件を伝えずに電話を取り次ぐ 62
■ 親機から子機へ 62
■ 子機から親機へ 62
子機でスピーカーホン通話に切り替える 63
通話を録音する 63
プッシュホンサービスを利用する 63

オプションサービス

キャッチホンサービスを利用する **64**
キャッチホンで電話を受けた場合 64
キャッチホンでファクスを受けた場合 65

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する **66**
ナンバー・ディスプレイサービスとは 66
■ 電話番号表示機能 66
■ 名前表示機能 66
■ 着信音鳴り分け機能 66
■ 迷惑電話防止／非通知着信拒否／公衆電話拒否機能 66
■ 着信履歴機能 66
ナンバー・ディスプレイサービスを設定する 67
相手によって着信音を変える 69
■ 親機の着信鳴り分けを設定する 69
■ 子機の着信鳴り分けを設定する 69
迷惑電話を防止する 70
番号非通知の電話や、公衆電話からの着信を拒否する 70
着信拒否モニターを設定する 71
親機の着信履歴を利用する 72
■ 着信履歴を見る 72
■ 着信履歴を印刷する 72
■ 親機の着信履歴を削除する 72
子機の着信履歴を利用する 73
■ 子機の着信履歴を見る 73
■ 着信履歴を削除する 73
■ 着信履歴をすべて削除する 73

ネーム・ディスプレイサービスを利用する **74**
■ 提供地域 74
■ 発信者名を表示する通話 74
■ 表示される文字 74
■ 料金 74

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する **75**

親機で電話をかける 基本

親機での基本的な電話のかけかたは以下のとおりです。

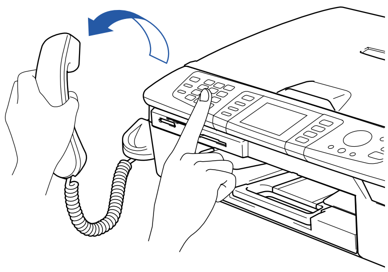
ダイヤルボタンでかける

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 受話器をとる

3 0 ～ 9 で相手の電話番号を押す



◆ 通話が終わったら受話器を戻します。

最後にかけた相手にかける

[再ダイヤル（親機）]

親機で最後にかけた相手に、簡単に電話をかけることができます。

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 受話器をとる

3 再ダイヤル/ポーズ を押す

◆ 通話が終わったら受話器を戻します。

最近かけた相手にかける

[発信履歴]

1 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 受話器をとる

3 で【発信履歴】を選び、OK を押す

◆ 最近かけた相手の番号が表示されます。

4 電話をかける相手先を選び、モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 通話が終わったら受話器を戻します。

受話器を置いたまま 再ダイヤル/ポーズ を押しても、発信履歴が表示されます。

■ 発信履歴を削除する

(1) 「最近かけた相手にかける」の手順３までの操作を行う

(2) で削除する相手先を選び OK を押す

(3) で【消去】を選び OK を押す

◆ 【消去しますか？／はい⇒１を押してください／いいえ⇒２を押してください】と表示されます。

(4) 1 を押す

◆ 選んだ番号が消去されます。

受話器を置いたまま電話をかける

親機の受話器を置いたまま、電話をかけることができます。（相手が電話に出てから、受話器を取ります。）

1 **ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す**

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 **オンフック を押し、相手の電話番号を押す**

3 **相手が出たら、受話器を取る**

◆ 通話が終わったら受話器を戻します。

操作を途中でやめるとき、かけ直すときは、もう一度 オンフック を押します。

最近かかってきた相手にかける

[着信履歴]

ナンバーディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴から電話をかけることができます。

注意

■「ナンバーディスプレイ」をご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ 66 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 **ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す**

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 **受話器をとる**

3 **で【着信履歴】を選び、OK を押す**

4 **電話をかける相手先を選び、モノクロスタート または カラースタート を押す**

◆ 通話が終わったら受話器を戻します。

第1章 ご使用の前に
第2章 電話
第3章 ファクス
第4章 電話帳
第5章 留守番機能
第6章 コピー
第7章 フォトメディアキャプチャ
第8章 こんなときは
付録

電話帳からかける

［電話帳検索（親機）］

親機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。（⇒ 104 ページ「親機の電話帳を利用する」）

1 **ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す**

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 **受話器をとり、 で【電話帳 / 短縮】を選び、OK を押す**

A）あいうえお順で選ぶ場合

3 ** で【あいうえお順検索】を選び、OK を押す**

4 ** で電話をかける相手を選び、OK を押す**

「五十音順→アルファベット→数字→記号→名前を登録していない電話番号」の順に表示されます。
登録している番号が 2 つあるときは、どちらかの番号を選び、OK を押します。

> アア行〜ワ行ごとに検索したいときは、検索したい行の表記されたダイヤルボタンを押し、相手の名前を検索します。
>
> 例）「シミズ」を検索したいときは、3 を押します。→「サ行」の先頭となる相手先が画面に表示されるので、 を押して相手先を選択します。

5 ** で【電話をかける】を選び、OK を押す**

◆ 選んだ相手先に電話がかかります。

B）番号順で選ぶ場合

3 ** で【番号順検索】を選び、OK を押す**

4 ** で電話をかける相手を選び、OK を押す**

登録している番号が 2 つあるときは、どちらかの番号を選び、OK を押します。

5 ** で【電話をかける】を選び、OK を押す**

◆ 選んだ相手先に電話がかかります。

C）短縮番号を入力する場合

3 **ダイヤルボタンで、2 桁の短縮番号を押す**

登録している番号が 2 つあるときは、どちらかの番号を選び、OK を押します。

◆ 選んだ相手先に電話がかかります。

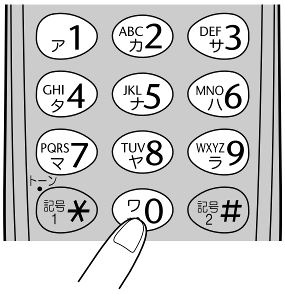
> 通話が終わったら受話器を戻します。

子機で電話をかける

子機での基本的な電話のかけかたは以下のとおりです。

ダイヤルボタンでかける

1 充電器から子機をとり、ワ0 ～ WXYZラ9 で相手の電話番号を押す



◆ 通話が終わったら子機を充電器に戻します。
（または 切 を押します。）

最後にかけた相手にかける

［再ダイヤル（子機）］

子機で最後にかけた相手に、簡単に電話をかけることができます。

1 充電器から子機をとり、発信履歴/P/文字切替 を押す

子機を充電器から外していて 外線 が点灯していないときは、外線 を押して点灯させます。

◆ 通話が終わったら子機を充電器に戻します。
（または 切 を押します。）

最近かけた相手にかける

［発信履歴］

子機で最近かけた相手先に、簡単に電話をかけることができます。

1 充電器から子機をとり、切 を押す

2 外線 が消灯していることを確認し、発信履歴/P/文字切替 を押す

◆ 最近かけた相手先が表示されます。

記憶している電話番号は最新の 10 件です。

3 ▲▼ で最近かけた相手を選び、外線 を押す

充電器に置いているときは、充電器から子機をとっても電話をかけることができます。

◆ 通話が終わったら子機を充電器に戻します。
（または 切 を押します。）

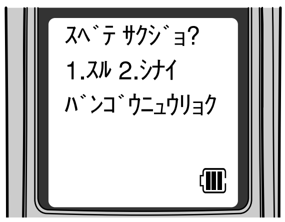
■ 発信履歴を個別に削除する

発信履歴を削除したいときは、発信履歴を表示しているときに、▲▼ で相手先を選んで 内線/クリア 保留 を押してください。

■ 発信履歴をすべて削除する

機能/確定 を押し、▲▼ で「ﾊｯｼﾝﾘﾚｷ ｸﾘｱ」を選び、機能/確定 を押します。

以下の確認画面が表示されたら、ア1 を押します。

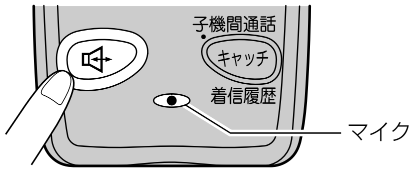


子機を置いたままかける

【スピーカーホン通話】

充電器や台の上に子機を置いたまま、電話をかけて、通話することができます。

1 (スピーカー)を押し、相手の電話番号を押す



- ◆ **相手が出たら、マイクに向かって話します。**
- ◆ **通話が終わったら(切)を押します。**

> まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは、子機を充電器からとって話してください。
>
> 操作を途中でやめるとき、かけ直すときは、(切)を押します。

最近かかってきた相手にかける

ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているときは、子機の着信履歴から相手先を選んで電話をかけることができます。

1 (子機間通話 キャッチ 着信履歴)を押す

- ◆ **着信履歴が表示されます。**

```
30)          ▼▲
09012345678
01/17   10：20
```

> 着信履歴は最新の 30 件が記録されています。

2 (▲▼)で着信履歴を選ぶ

3 (外線)を押す

- ◆ **電話がかかります。**

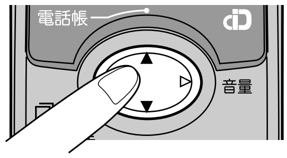
> 手順 2 で着信履歴を表示しているときに(機能/確定)を押すと、電話番号非通知モードになります。もう一度、(機能/確定)を押すと、電話番号通知モードに戻ります。
>
> 電話番号通知モードのときは、(外線)を押すと電話番号の前に「186」をつけて発信されます。電話番号非通知モードのときは、(外線)を押すと電話番号の前に「184」をつけて発信されます。

電話帳からかける

【電話帳検索（子機）】

子機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。（⇒ 109 ページ「子機の電話帳を利用する」）

1 充電器から子機をとり、(▲)または(▼)を押す



2 (▲▼)で相手の名前を検索し、(外線)を押す

「カナ→アルファベット→数字→記号→名前を登録していない電話番号」の順に表示されます。

> 登録した番号が 1 つしかない場合は、(外線)を押すと電話がかかります。
>
> ダイヤルボタンで相手の名前（読み仮名）の最初の 1 字（かな）を入力し、(▲▼)を押すと入力した 1 字以降の電話番号のリストが表示されます。

3 電話番号 1 または 2 のどちらかの番号を(▲▼)で選び、(外線)を押す

> 子機の電話帳では、1 件につき 2 つの電話番号を登録することができます。⇒ 109 ページ「子機の電話帳を利用する」
>
> 通話中に電話帳を表示させた場合は、(内線/クリア 保留)で待ち受け画面に戻ります。

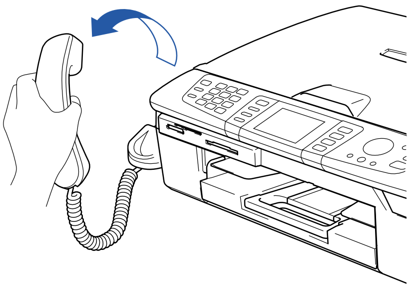
- ◆ **通話が終わったら子機を充電器に戻します。**
  （または(切)を押します。）

電話を受ける

親機・子機での基本的な電話の受けかたは以下のとおりです。

親機で電話を受ける

1 電話が鳴ったら、受話器を取って受ける

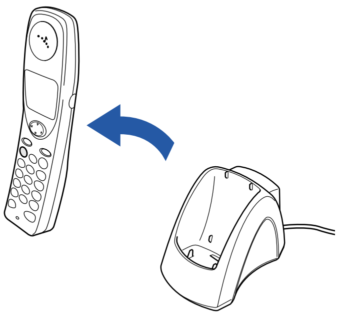


◆ 通話が終わったら受話器を戻します。

子機で電話を受ける

1 電話が鳴ったら、充電器から子機をとる

子機を充電器に置いていないときは、(外線) を押します。



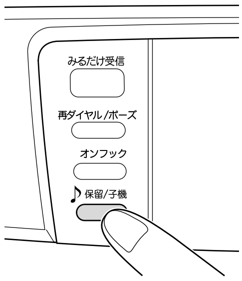
◆ 通話が終わったら子機を充電器に戻します。(切) を押しても通話が終了します。

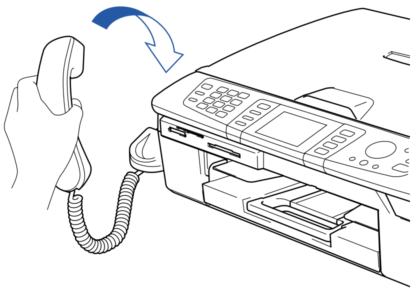
保留にする

親機の通話を保留にする

相手にちょっと待って欲しいとき、通話を保留できます。
（保留にしている間は保留メロディが流れます。）

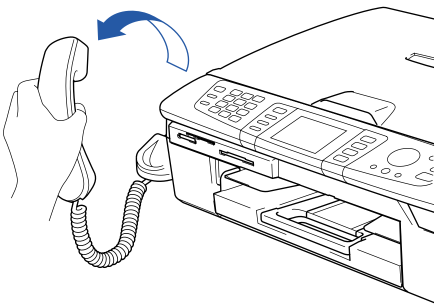
1 親機で通話中に ♪保留/子機 を押し、受話器を置く





◆ こちらの声が相手に聞こえなくなり、保留メロディが鳴ります。（受話器を置かなくても通話は保留されています。）

2 通話に戻るときは、もう一度受話器をとる



受話器を置かなかったときは、もう一度 ♪保留/子機 を押すと通話に戻ることができます。

子機の通話を保留にする

相手にちょっと待って欲しいとき、通話を保留できます。
（保留にしている間は保留メロディが流れます。）

1 子機で通話中に 保留 を押す



◆ こちらの声が相手に聞こえなくなり、保留メロディが鳴ります。

2 通話に戻るときは、もう一度 保留 を押す



内線通話をする

応用

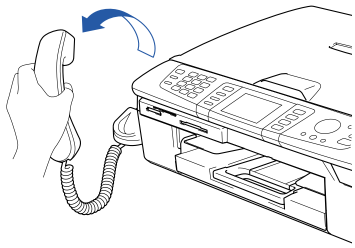
親機から子機へ、子機から親機へ、子機から子機へ内線電話をかけることができます。また、親機から子機へ呼びかけることができます。

親機から子機へかける

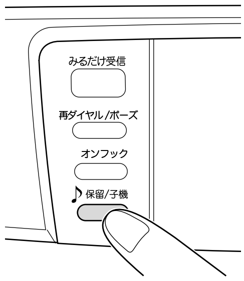
1 **ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す**

◆ ファクスモードに切り替わります。

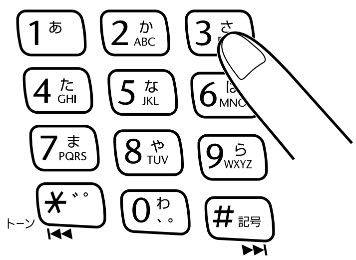
2 **受話器をとる**



3 **親機の ♪保留/子機 を押す**



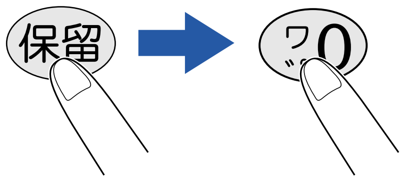
4 **親機で通話したい子機の内線番号を押す**



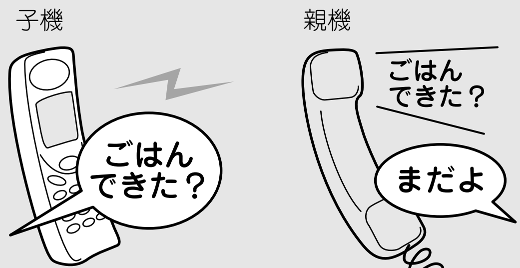
◆ 子機の内線着信音が鳴ります。子機側で 内線/クリア 保留 または 外線 を押す、または充電器から子機をとると通話できます。
◆ 通話が終わったら受話器を戻します。

子機から親機へかける

1 **子機を充電器からとり、内線/クリア 保留 を押し、0 を押す**



◆ 親機の内線着信音が鳴ります。親機側の受話器を取ると通話できます。



◆ 通話が終わったら子機を充電器に戻します。（または 切 を押します。）

内線通話中に外線がかかってきたときは、親機の着信音が鳴り、内線通話は自動的に終了します。このとき、親機のディスプレイに【受話器を置いてください】と表示されています。親機の受話器を戻して、もう一度受話器をとると外線と電話がつながります。

■ 親機と子機の内線番号について

親機と子機の内線番号は、以下のように設定されています。

内線番号／機種	0	1	2	3	4
MFC-840CLN MFC-830CLN	親機	子機 1	増設子機 2	増設子機 3	増設子機 4
MFC-830CLWN	親機	子機 1	子機 2	増設子機 3	増設子機 4

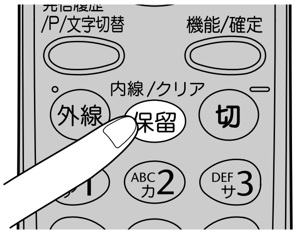
子機から子機へかける

［簡易子機間通話］

MFC-830CLWN をお使いの場合や子機を増設しているとき、子機同士でトランシーバーのように交互に通話することができます。（外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。⇒61 ページ「子機から子機へ電話を取り次ぐ」）

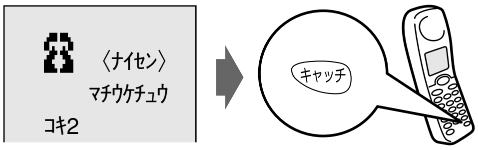
■ 子機 1（電話をかける側）

1 子機を充電器からとり、内線/クリア（保留）を押す

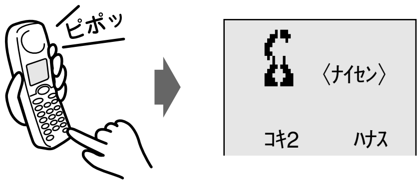


2 呼び出したい子機の内線番号（例 ABC カ 2）を押す

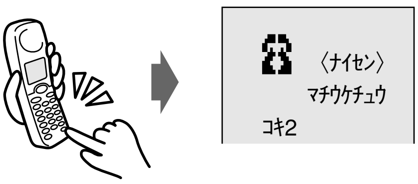
3 ディスプレイに「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されたら（ｷｬｯﾁ）を押す



4 「ピポッ」と音が鳴り、ディスプレイに「ﾊﾅｽ」と表示されたら、子機 2 へ話をする



（ｷｬｯﾁ）を押すと子機 1、子機 2 とも「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」になります。



5 子機 2 と通話をやめるときは、（切）を押す

■ 子機 2（電話をうける側）

- ◆ 子機 2 の内線着信音が鳴ります。
- ◆ 子機 2 を充電器からとると、「ピロリッ」という音が鳴り、子機 1、子機 2 とも「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」になります。（充電器から外しているときは内線/クリア（保留）または（外線）を押します。）

- ◆ 子機 2 では「ｷｸ」と表示されます。

- ◆ 子機 2 から子機 1 へ話をするときは、「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されているときに子機 2 側の（ｷｬｯﾁ）を押して、手順 4 と同様に話をします。

親機・子機の内線番号について ⇒ 57 ページ「親機と子機の内線番号について」

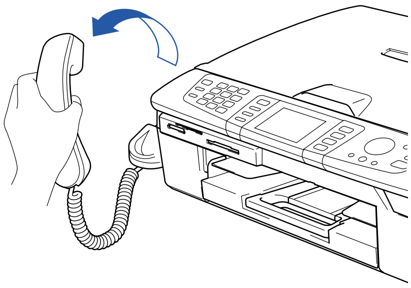
電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

親機から子機へ呼びかける

1 **ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す**

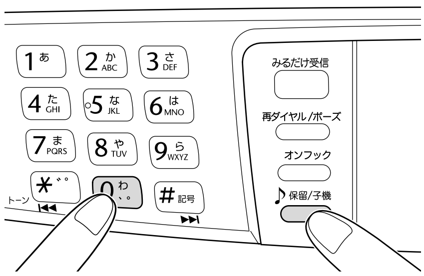
◆ ファクスモードに切り替わります。

2 **受話器をとる**



3 **親機の 保留/子機 を押し、0 を押す**

特定の子機に呼びかけるときは、子機の内線番号を押してから 0 を押します。



4 **呼びかける**

親機

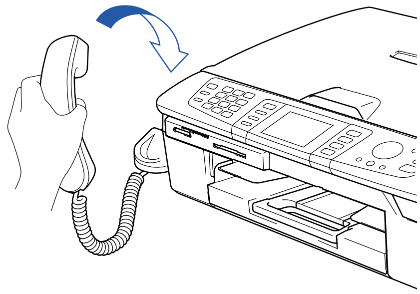


子機



◆ 呼びかけられた子機のスピーカーホンから声が聞こえます。

5 **呼びかけが終わったら、受話器を置く**



親機・子機の内線番号について ⇒57 ページ「親機と子機の内線番号について」

通話中にできること

本機で通話しているときは、通話を録音したり、子機に取り次いだりすることができます。

親機から子機へ電話を取り次ぐ

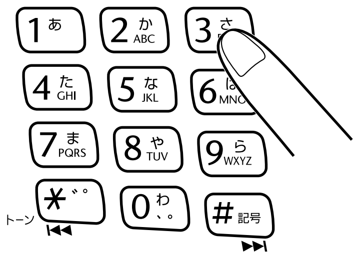
親機で受けた電話を子機に取り次ぎます。

1 通話中に［保留/子機］を押す



◆ 外の相手との通話が保留になります。

2 取り次ぐ子機の内線番号を押す

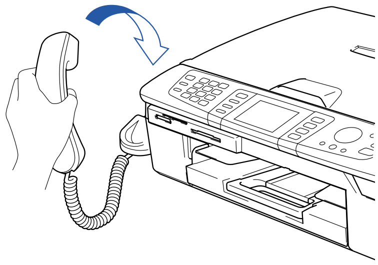


◆ 子機の呼出音が鳴ります。呼び出している子機を充電器から取るか、［内線/クリア 保留］を押すと親機と通話できます。

呼び出している子機が出ないときなど、保留している相手ともう一度話すときは［保留/子機］を押します。

親機・子機の内線番号について ⇒57 ページ「親機と子機の内線番号について」

3 子機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて、受話器を置く



◆ 子機と外の相手が通話できるようになります。

取り次ぎをやめるときは子機で［切］を押すと外の相手と親機が通話できるようになります。

子機から親機へ電話を取り次ぐ

子機で受けた電話を親機に取り次ぎます。

1 通話中に 内線/クリア（保留） を押す



◆ 外の相手との通話が保留になります。

2 親機の内線番号（0）を押す

◆ 親機の呼出音が鳴ります。親機側で受話器をとると子機と通話できます。

> 親機が出ないときなど、外の相手ともう一度話すときは（切）を押して呼び出しを中止し、（外線）を押します。

3 親機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて（切）を押す

◆ 親機と外の相手が通話できるようになります。

> 取り次ぎをやめるときは親機の受話器を置くと外の相手と子機が通話できるようになります。

子機から子機へ電話を取り次ぐ

MFC-830CLWN をお使いの場合や、子機を増設しているとき、子機で取った電話を別の子機にトランシーバー方式で取り次ぎます。ここでは「子機 1 で受け、子機 2 へ取り次ぐ場合」の例で、説明しています。

1 通話中に 内線/クリア（保留） を押す

◆ 外の相手との通話が保留になります。

2 取り次ぐ子機の内線番号（2）を押す

◆ 子機2を充電器からとるか、内線/クリア（保留） を押すと、子機 1、子機 2 のディスプレイに「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されます。

> 呼び出している子機が出ないときなど、外の相手ともう一度話すときは（切）を押して呼び出しを中止し、（外線）を押します。

3 ディスプレイに「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されたら、子機 1 の（ｷｬｯﾁ）を押す

4 「ピポッ」と音が鳴り、子機 1 のディスプレイに「ﾊｹｽ」と表示されたら、取り次ぐ先の相手に電話を取り次ぐことを伝える

> 取り次ぎをやめるときは、（ｷｬｯﾁ）を押し、ディスプレイに「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されているときに、子機 1 で（外線）を押します。
> 外の相手と子機 1 が通話できるようになります。

> 子機 2 から子機 1 へ話しかけるときは、「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」表示中に子機 2 の（ｷｬｯﾁ）を押します。

5 取り次ぎ内容を伝えたら、（ｷｬｯﾁ）を押し、ディスプレイに「ﾏﾁｳｹﾁｭｳ」と表示されたら、（切）を押す

◆ 取り次ぎ先の子機 2 と外の相手が通話できるようになります。

> 親機・子機の内線番号について ⇒ 57 ページ「親機と子機の内線番号について」

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

電話を簡易的に取り次ぐことができます。

■ 親機から子機へ

1 電話中に［♪保留/子機］を押す

◆ 外の相手との通話が保留になります。

2 親機の受話器を置く

3 充電器から子機をとる（充電器に置いていないときは［外線］を押す）

◆ 子機と外の相手が通話できるようになります。

■ 子機から親機へ

1 電話中に［内線/クリア 保留］を押す

◆ 外の相手との通話が保留になります。

2 子機を充電器に戻す

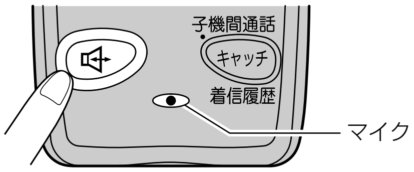
3 親機の受話器をとる

◆ 親機と外の相手が通話できるようになります。

子機でスピーカーホン通話に切り替える

通常の通話とスピーカーホンの通話を切り替えます。スピーカーホン通話に切り替えると、子機のスピーカーから相手の声が聞こえ、子機を置いたまま通話することができます。

1 通話中に（スピーカーボタン）を押す



◆ スピーカーホンによる通話になります。

2 スピーカーホンの通話をやめるときは、もう一度（スピーカーボタン）を押す

通話を録音する

通話の内容を録音できます。（親機のみの機能です。）

注意

■ 録音時間は メニュー から【録音時間】で設定できます。
⇒114 ページ「メッセージの録音時間を設定する」

1 親機で電話中に 再生/録音 を押す

2 録音をやめるときは 停止/終了 を押す

- 録音した内容は留守録メモリーに記憶されます。
- 設定した録音時間が過ぎると録音は中止されます。
- 録音した内容を聞くときは、受話器を置いて、再生/録音 を押します。

プッシュホンサービスを利用する

プッシュ回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルするだけで、サービスを利用できます。

ダイヤル回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルする前に、トーンボタンを押してください。

※ ダイヤルしたときに「ピッポッパ」と音がするのがプッシュ回線、音がしないのがダイヤル回線です。

プッシュホンサービスには、交通機関やチケットの予約、銀行の残高照会など、さまざまな種類があります。

1 受話器をとり、各種サービスの電話番号をダイヤルする

2 「ダイヤル回線」を使用しているとき、

親機の場合は、トーン ＊ を押す

子機の場合は、トーン 記号 ＊ を押す

3 サービスの指示にしたがってダイヤルボタンを押す

キャッチホンサービスを利用する　オプションサービス

本機では、電話会社（NTT など）との契約によって「キャッチホンサービス」をご利用いただくことができます。

キャッチホン／キャッチホン II は、外線通話中に別の電話やファクスを受けられる、電話会社のサービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

注意

- 「キャッチホン／キャッチホン II」を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）
- ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプタのデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホン II」のご利用をおすすめします。

キャッチホンで電話を受けた場合

1 「プッ プッ」と聞こえたら 消去/キャッチ（キャッチ）を押す

◆ 新しくかかってきた相手の声が聞こえます。
◆ 待たせている相手の方には保留メロディが流れます。

2 新しくかかってきた相手と通話する

3 新しくかかってきた相手との通話を終えるときは、消去/キャッチ（キャッチ）を押す

◆ 最初の相手に戻ります。

消去/キャッチ（キャッチ）を押すごとに、通話の相手が切り替わります。

キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切った後もしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。

キャッチホンでファクスを受けた場合

1 「プップッ」と聞こえたら 消去/キャッチ（キャッチ）を押す

◆「ポーポー」という音が聞こえます。
◆ 待たせている相手の方には保留メロディが流れます。

2 もう一度、消去/キャッチ（キャッチ）を押し、最初の相手に戻る

◆ 最初の相手につながります。

3 手短に通話を終えて、消去/キャッチ（キャッチ）を押す

◆ キャッチの相手（ファクス）につながります。

注意

■ ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。

■ 受話器を戻したり、子機の 切 を押さないでください。ファクスを受信できなくなります。

4 親機の モノクロスタート または カラースタート を押し、2 かABC【受信】を押す

5 ファクスの受信が終わったら、受話器を戻す

親切受信を【する】に設定していると、消去/キャッチ（キャッチ）を押して「ポーポー」ときこえたときに自動的にファクスを受信することがあります。（このときは、受信しおわるまで受話器を戻したり、子機の 切 を押さないでください。）自動的にファクスを受信したくないときは親切受信を【しない】にしてください。
⇒ 95 ページ「電話に出ると自動的に受ける」

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する

本機では、電話会社（NTT など）との契約によって「ナンバー・ディスプレイサービス」をご利用いただくことができます。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

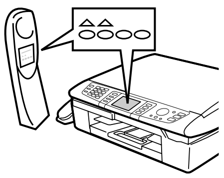
電話がかかってきたときに相手の電話番号をディスプレイに表示する、電話会社のサービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

注意

- **本機の設定だけでは、「ナンバー・ディスプレイサービス」は利用できません。ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）**
- **ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプタのデータ設定が必要です。**
- **構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。**
- **ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。**
- **電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。**

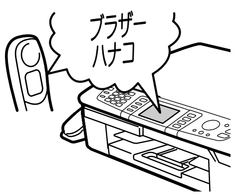
■ 電話番号表示機能

電話がかかってくると、相手の電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。



■ 名前表示機能

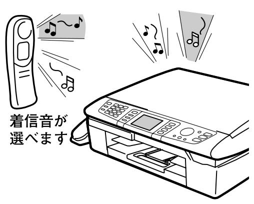
親機と子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、相手の名前が液晶ディスプレイに表示されます。
※電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本機に登録された名前が表示されます。



■ 着信音鳴り分け機能

電話番号ごとに着信音や着信先（親機だけ、子機だけなど）を指定できます。
着信音は、次の中から指定して登録します。

- 記憶されているベル音（親機 4 種類、子機 1 種類）
- 固定メロディ（親機 30 曲、子機 3 曲）
- 親機から読み込んだメロディ（子機 4 曲）



■ 迷惑電話防止／非通知着信拒否／公衆電話拒否機能

迷惑電話などの受けたくない電話がかかってきたときに、着信音が鳴らないように設定できます。
また、相手の電話番号が非通知、または公衆電話の場合、着信を拒否し、お断りメッセージを流します。
※ISDN 回線でご利用のターミナルアダプタによっては、着信を拒否できない場合があります。



■ 着信履歴機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。（着信履歴は 30 件まで記録できます。31 件以上になると、古い順に削除されます。）記録した電話番号は次のように活用できます。

- 液晶ディスプレイに表示する
- 「着信履歴」として印刷する（親機のみ）
- 親機または子機の電話帳に登録する
- 記録した電話番号に電話をかける



ナンバー・ディスプレイサービスを設定する

電話会社とのご契約後、ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは【あり】に、利用しないとき、または利用を一時的に中止するときは【なし】に設定します。

【あり】に設定しているときは、「着信鳴り分け」「迷惑電話防止」「着信拒否」「着信拒否モニター」「キャッチホン・ディスプレイ」などが設定できます。また、「着信履歴」を表示したり、「着信履歴リスト」を印刷することができます。お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイ【あり】に設定されています。

注意

- 「ナンバー・ディスプレイ」をご利用いただくためには、電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約していない場合は【なし】にしてください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、必ず「ナンバー・ディスプレイ」の設定を【あり】にしてください。【なし】に設定すると、電話を受けたとき、すぐに電話が切れてしまう場合があります。
- 転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- ISDN 回線を利用されているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータの設定が必要です。
- IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダや、接続している機器により、ナンバー・ディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダ、接続している機器メーカーへお問い合わせください。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイサービスに対応していなければ、利用できません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合、誤動作することがあります。

1 メニュー を押し、▲▼【初期設定】OK【ナンバーディスプレイ】OK【ナンバーディスプレイ】を選び OK を押す

◆ ナンバーディスプレイの設定画面が表示されます。

2 ▲▼ でナンバー・ディスプレイの設定を選び OK を押す

設定は【あり】または【なし】から選びます。

- 【あり】：
  ナンバー・ディスプレイが使用できます。（別途、電話会社との契約が必要です）。
- 【なし】：
  ナンバー・ディスプレイが使用できなくなります。

3 停止/終了 を押す

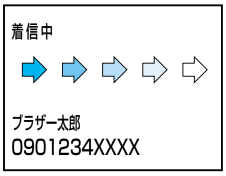
◆ 設定を終了します。

■ 電話がかかってきたときは

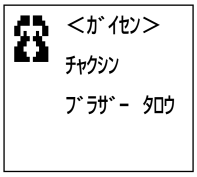
(A) ナンバー・ディスプレイを設定しているとき

電話がかかってくると、相手の名前や電話番号を表示します。

親機



子機



(B) その他の表示例

- **ﾋﾂｳﾁ（非通知）**
  相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- **ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ（公衆電話）**
  公衆電話からかけてきたとき
- **ﾋｮｳｼﾞｹﾝｶﾞｲ（表示圏外）**
  相手がサービス対象地域外から電話をかけてきたとき、サービス未実施の CATV 電話サービスからかけてきたとき
- **161（F ネット）**
  F ネットで FAX を受信したとき

- 【なし】に設定しているときは、【着信鳴り分け設定】【非通知着信拒否】【公衆電話拒否】【着信拒否モニター】【キャッチディスプレイ】などのメニューは表示されません。
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは、着信回数を3回以上に設定してください。2回以下に設定していると、子機のディスプレイに相手先の電話番号が表示できないことがあります。
- 「186」または「184」などを付けて電話帳に登録するときは、同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。
  市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されなかったり、着信鳴り分けができなくなります。

  例）○186 XXX XXX XXXX
  　　　（市外局番）（市内局番）（相手先番号）
  　　×186 XXX XXXX
  　　　（市内局番）（相手先番号）
- 電話帳に登録してある相手から電話がかかってきた場合は、「ネーム・ディスプレイ」のご契約にかかわらず、本機に登録された名前が表示されます。
- 「ネーム・ディスプレイ」の契約をしている場合は、電話帳に登録していなくても相手の名前を表示することができます。

相手によって着信音を変える

[着信鳴り分け]

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、かけてきた相手によって着信音を変えたり、着信音を鳴らす電話機（着信先）を指定したりすることができます。

■ 親機の着信鳴り分けを設定する

お買い上げ時、着信鳴り分けは設定されていません。

1 メニュー を押し、 【初期設定】 OK【ナンバーディスプレイ】 OK【着信鳴り分け設定】を選び、 OK を押す

2 で【あいうえお順検索】または【番号順検索】を選び、 OK を押す

3 で着信音を鳴り分けさせたい電話番号を選び、 OK を押す

4 で着信先を選び、 OK を押す

着信先は【全て／親機／子機 1 ／…／子機 4 ／ファクス／迷惑指定】から選びます。

- 【ファクス】：
  着信音が鳴らず、自動的にファクスを受信します。
- 【迷惑指定】：
  着信音が鳴りません。⇒ 70 ページ「迷惑電話を防止する」
- 【全て】：
  親機、子機ともに着信音が鳴ります。
- 【親機】：
  親機のみ着信音が鳴ります。
- 【子機 1 ／…／子機 4 】：
  指定した子機のみ着信音が鳴ります。

【全て】【親機】を選んだ場合　⇒ **5** へ

【ファクス】【迷惑指定】【子機 1 ～ 4】を選んだ場合
⇒ **6** へ

5 で着信音を選び、 OK を押す

⇒ 45 ページ「子機にメロディを転送する」

6 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

着信先に【全て】または【子機】を指定した場合、子機の着信音は子機で設定します。
⇒ 42 ページ「着信音量を設定する」

■ 子機の着信鳴り分けを設定する

お買い上げ時は、「ﾍﾞﾙ」に設定されています。

1 機能/確定 を押す

2 で「ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ」を選び、 機能/確定 を押す

◆ 着信鳴り分けの設定画面が表示されます。

```
[ﾒﾆｭｰ] ▼▲
■ﾁｬｸｼﾝ ﾅﾘﾜｹ
 ﾒﾛﾃﾞｨﾖﾐｺﾐ
```

3 で着信音を鳴り分けさせたい相手先を選び、 機能/確定 を押す

選んだ相手先に電話番号が 2 つ登録されている場合
⇒ **4** へ

電話番号が 1 つしか登録されていない場合
⇒ **5** へ

4 で着信音を鳴り分けさせたい電話番号を選び、 機能/確定 を押す

5 で着信音を選び、 機能/確定 を押す

着信音は「ﾍﾞﾙ／ﾒﾛﾃﾞｨ 1 ／～／ﾒﾛﾃﾞｨ 3 ／曲名」から選びます。（曲名は、親機から読み込んだメロディがあるときのみ表示されます。）

- メロディ 1：「ｲﾌｳﾄﾞｳﾄﾞｳ」（威風堂々）
- メロディ 2：「ｼｷﾖﾘ［ﾊﾙ］」（四季より「春」）
- メロディ 3：「ﾊﾅﾉﾜﾙﾂ」（花のワルツ）

6 切 を押す

◆ 設定を終了します。

迷惑電話を防止する

[迷惑電話]

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、迷惑電話などの受けたくない電話がかかってきたときに、着信音が鳴らないように設定できます。

1 メニュー を押し、▲▼【初期設定】OK【ナンバーディスプレイ】OK【着信鳴り分け設定】を選び、OK 押す

2 ▲▼で【あいうえお順検索】または【番号順検索】を選び、OK を押す

3 ▲▼で着信音を鳴らしたくない電話番号を選び、OK を押す

4 ▲▼で【迷惑指定】を選び、OK を押す

5 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。

番号非通知の電話や、公衆電話からの着信を拒否する

[非通知着信拒否] [公衆電話拒否]

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、電話番号非通知でかけてきている電話の着信や、公衆電話からの着信を拒否してお断りメッセージを流すことができます。
お買い上げ時は、【しない】に設定されています。

1 メニュー を押し、▲▼【初期設定】OK【ナンバーディスプレイ】を選ぶ

◆ ナンバーディスプレイの画面が表示されます。

2 ▲▼で【非通知着信拒否】または【公衆電話拒否】を選び、OK を押す

3 ▲▼で【する】を選び、OK を押す

設定は、【する／しない】から選びます。

- 【する】:
  番号非通知の電話または公衆電話の着信を拒否します。
- 【しない】:
  番号非通知の電話または公衆電話も着信します。

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

■ 非通知着信拒否を設定しているときは

(A) 番号非通知の電話がかかってきたとき

親機が着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 をつけて電話番号を通知しておかけ直しください。」というメッセージを 3 回再生した後、自動的に電話を切ります。

※ 着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。⇒ 71 ページ「着信拒否モニターを設定する」



(B) 番号非通知のファクスが送られてきたとき

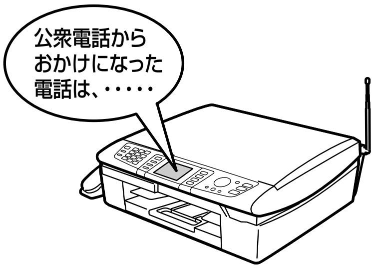
親機が着信音を鳴らさず、自動的に電話を切ります。ファクスは受信しません。

■ 公衆電話着信拒否を設定しているときは

(A) 公衆電話から電話がかかってきたとき

親機が着信音を鳴らさずに電話を受け、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを 3 回再生した後、自動的に電話を切ります。

※ 着信拒否メッセージは、親機のスピーカーから聞くことができます。⇒ 71 ページ「着信拒否モニターを設定する」



(B) 公衆電話からファクスが送られてきたとき

親機が着信音を鳴らさず、自動的に電話を切ります。ファクスは受信しません。

着信拒否モニターを設定する

[着信拒否モニター]

ナンバー・ディスプレイサービスの設定を【あり】にしているときは、非通知着信拒否または公衆電話拒否のときの着信拒否メッセージを本機のスピーカーから聞くことができます。
お買い上げ時は、【しない】に設定されています。

1 **メニュー を押し、◯【初期設定】OK【ナンバーディスプレイ】OK【着信拒否モニター】を選び、OK を押す**

2 **◯ で【する】を選び、OK を押す**

設定は、【する／しない】から選びます。

- 【する】:
  着信を拒否するメッセージが本機のスピーカーから聞こえます。
- 【しない】:
  着信を拒否するメッセージは聞こえません。

3 **停止/終了 を押す**

◆ **設定を終了します。**

スピーカーから着信拒否メッセージが聞こえている間に受話器をとると、電話に出ることができます。

親機の着信履歴を利用する

【着信履歴（親機）】

親機では、着信履歴を利用して電話帳に電話番号を登録したり、着信履歴を印刷することができます。

注意

- 「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。(【着信がありません】と表示されます。)
- 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

■ 着信履歴を見る

1 ファクス を押す

2 で【着信履歴】を選び、OK を押す

◆ 最新の着信履歴が表示されます。



着信履歴は最新の 30 件が記録されています。

着信履歴から電話をかけたり、電話帳に登録できます。
⇒51 ページ「最近かかってきた相手にかける」
⇒106 ページ「着信履歴から電話帳に登録する」

■ 着信履歴を印刷する

1 **記録紙をセットする**

⇒31 ページ「記録紙のセットのしかた」

2 メニュー を押し、で【レポート印刷】OK【着信履歴リスト】を選び、OK を押す

3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 着信履歴が印刷されます。

■ 親機の着信履歴を削除する

1 ファクス を押す

2 で【着信履歴】を選び、OK を押す

◆ 最新の着信履歴が表示されます。

着信履歴は最新の 30 件が記録されています。
(古い順に、自動的に削除されます。)

3 で削除したい着信履歴を選び、OK を押す

4 で【消去】を選び、OK を押す

◆ 【消去しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

5 1 あ を押す

◆ 指定した着信履歴を削除し、一つ前の（より古い）着信履歴が繰り上がって表示されます。

削除を中止するときは、2 か ABC を押します。

6 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

子機の着信履歴を利用する

[着信履歴（子機）]

子機では、着信履歴を利用して電話をかけたり、子機の電話帳に登録することができます。

注意

- ■「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。（「ﾁｬｸｼﾝﾘﾚｷﾅｼ!」と表示されます。）
- ■ 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

■ 子機の着信履歴を見る

1 [子機間通話 キャッチ 着信履歴] を押す

◆ 着信履歴が表示されます。

```
30)          ▼▲
09012345678
01/17    10:20
```

着信履歴は最新の 30 件が記録されています。

2 [▲▼] で着信履歴を確認する

3 [切] を押す

◆ 着信履歴の確認を終了します。

■ 着信履歴を削除する

1 [子機間通話 キャッチ 着信履歴] を押す

◆ 着信履歴が表示されます。

```
30)          ▼▲
09012345678
01/17    10:20
```

着信履歴は最新の 30 件が記録されています。

2 [▲▼] で削除したい着信履歴を選び、[内線/クリア 保留] を押す

◆ 選んだ着信履歴が削除されます。

■ 着信履歴をすべて削除する

1 [機能/確定] を押す

2 [▲▼] で「ﾁｬｸｼﾝﾘﾚｷｸﾘｱ」を選び、[機能/確定] を押す

◆ すべての着信履歴を削除する確認画面が表示されます。

```
ｽﾍﾞﾃｻｸｼﾞｮ?
1.ｽﾙ  2.ｼﾅｲ
ﾊﾞﾝｺﾞｳﾆｭｳﾘｮｸ
```

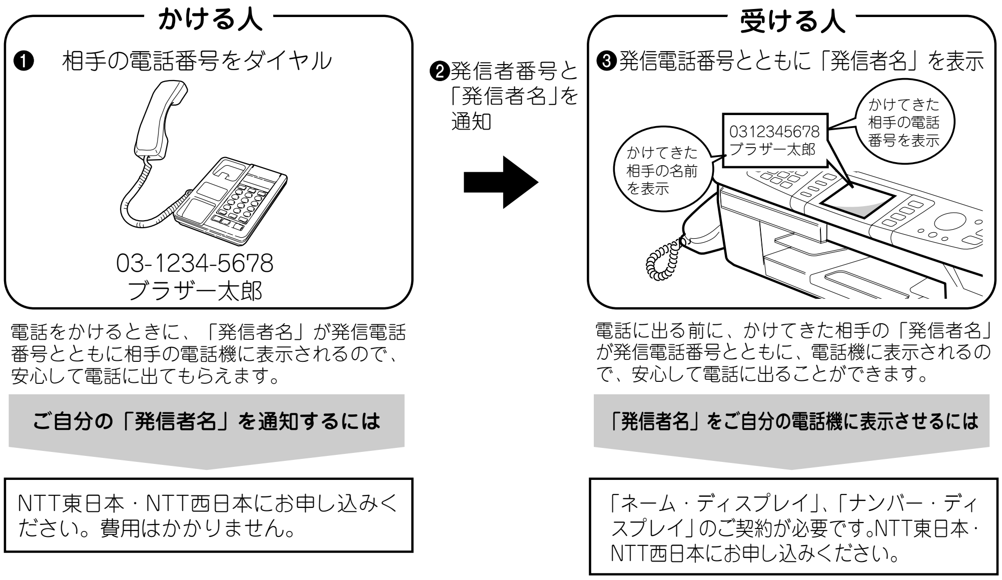
3 [ｱ 1] を押す

◆ すべての着信履歴が削除されます。

ネーム・ディスプレイサービスを利用する

ネーム・ディスプレイは NTT が行っているサービスです。本機の電話帳に登録していなくても、電話がかかってきたときに相手の名前、電話番号が液晶ディスプレイに表示されます。サービスの詳細については NTT（116：無料）にお問い合わせください。
ネーム・ディスプレイサービスを利用する場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。
⇒67 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」

- 子機は対応していません。
- ひかり電話では、ネーム・ディスプレイサービスを契約することができません。
- お客様がご利用されている電話会社が NTT 東日本、NTT 西日本以外の場合、ネーム・ディスプレイサービスを契約することができません。付加サービスの詳細は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。



■ 提供地域

全国（NTT 東日本、NTT 西日本のサービス提供地域）※一部交換機の種類などにより提供できない地域があります。

■ 発信者名を表示する通話

NTT 東日本および NTT 西日本の契約者回線から発信され、発信者名を通知する通話について発信者名を通知します。なお、発信者のお客様が「マイライン」でどの会社を選択されていても発信者名を表示します。

■ 表示される文字

10 文字以内の漢字などで発信者名が表示されます。

■ 料金

月額使用料：住宅用、事務用とも 100 円（INS ネット 1500 については 1,000 円）
※別に、「ナンバー・ディスプレイ」のご契約が必要です。
(参考) ナンバー・ディスプレイ料金（2005 年 11 月 1 日現在）

(1) 月額使用料	加入電話、ライトプラン	400 円（住宅用）、1,200 円（事務用）
	INS ネット 64、INS ネット 64 ライト	600 円（住宅用）、1,800 円（事務用）
	INS ネット 1500	18,000 円
(2) 工事料		2,000 円

お問い合わせは

ナンバー・ディスプレイカスタマーセンター
0120-848-521
受付時間　9:00 ～ 17:00
（日曜祝日は休業とさせていただきます）

お申し込みは

局番なしの「116：無料」
受付時間　9:00 ～ 21:00
（年末年始を除き、土日・祝日も営業しております）

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

キャッチホン・ディスプレイサービスは、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を液晶ディスプレイに表示する、電話会社のサービスです。
サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。
お買い上げ時は、キャッチホン・ディスプレイ【なし】に設定されています。

注意

- 本機の設定だけでは、液晶ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「キャッチホン・ディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン」または「キャッチホン II」（⇒ 64 ページ「キャッチホンサービスを利用する」）と「ナンバー・ディスプレイサービス」（⇒ 66 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」）を契約した上で、別途ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）
- ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプタのデータ設定が必要です。
- 構内交換機（PBX）に接続しているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 子機通話中、キャッチホン・ディスプレイが入ると「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が途切れます。
- 子機のキャッチホン・ディスプレイの表示は、約 10 秒間です。

1 **メニュー を押し、◯【初期設定】OK【ナンバーディスプレイ】OK【キャッチディスプレイ】を選び、OK を押す**

2 **◯ で設定を選び、OK を押す。**

設定は、【あり／なし】から選びます。
- 【あり】：
  キャッチホン・ディスプレイが設定されます。
- 【なし】：
  キャッチホン・ディスプレイは設定されません。

3 **停止/終了 を押す**

◆ 設定を終了します。

第1章 ご使用の前に
第2章 電話
第3章 ファクス
第4章 電話帳
第5章 留守番機能
第6章 コピー
第7章 フォトメディアキャプチャ
第8章 こんなときは
付録

Memo

第3章

ファクス

基本

ファクスを送る 78
- ファクスを送る（1 枚のとき） 78
- ファクスを送る（2 枚以上のとき） 79
- ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る（MFC-840CLN のみ） 80
- 発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る 81
- 電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る 82
- 話をしてから送る 83

ファクスを受ける 84
- 自動的に受ける 84
- 子機で受ける 84
- 電話に出てから受ける 84
- 受信したファクスをディスプレイで見る 85
  - ■ プレビュー画面での操作一覧 85
- みるだけ受信を設定する 86

応用

ファクスの便利な送りかた 87
- 設定を変えてファクスするには 87
- 画質や濃度を変更する 87
- 時間を指定して送る 88
- 同じ相手への原稿をまとめて送る 89
- 原稿をすぐに送る 90
- 相手の操作で原稿を送る 91
- 海外へ送る 92
- 複数の相手先に同じ原稿を送る 93

ファクスの便利な受けかた 95
- 電話に出ると自動的に受ける 95
- 自動的に縮小して受ける 95
- 本機の操作で相手の原稿を受ける 96
- ファクスを転送する 97
- 受信したファクスをパソコンに送る 98
- ファクスをメモリーで受信する 99
- メモリー受信したファクスを印刷する 99
- ファクスメッセージをメモリーから消去する 99

通信管理

通信状態を確かめる 100
- 通信管理レポートを印刷する 100
  - ■ すぐに印刷するとき 100
  - ■ 定期的に印刷するとき 100
- 送信レポートを印刷する 101
  - ■ すぐに印刷するとき 101
  - ■ 印刷するタイミングと内容を設定する 101
- 送信待ちファクスを確認・解除する 102

ファクスを送る 基本

カラーまたはモノクロでファクスを送ります。原稿に合わせて、画質を変更することもできます。

ファクスを送る（1枚のとき）

[自動送信]

1枚のファクスを送ります。

1 原稿をセットする

⇒35ページ「原稿をセットする」

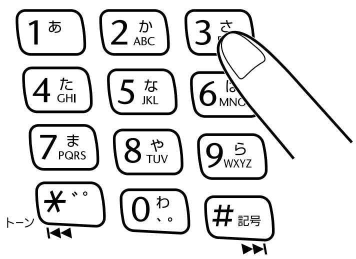
注意

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が黒くなることがあります。

2 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする



- オンフック は押さないでください。
- 受話器をとらないでください。
- 再ダイヤル/ポーズ を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ モノクロスタート を押した場合は、原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒2を押してください】と表示されます。

◆ カラースタート を押した場合は、原稿の送信が開始されます。

5 2 か ABC または モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ ファクスが送られます。

■ 送信する前にファクスをキャンセルする

(1) 停止/終了 を押す

◆【キャンセル／はい⇒1を押してください／いいえ⇒2を押してください】と表示されます。

(2) 1 あ を押す

◆ 送信が中止されます。

■ 送信した後でファクスをキャンセルする

相手が通話中などの理由でファクスを送ることができなかったときは、5分おきに3回まで「再ダイヤル」を行います。再ダイヤルをやめたい場合は、メニュー【ファクス】から【通信待ち確認】を選んでキャンセルします。（102ページ）再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをおすすめします。

※ 手動送信（83ページ）の場合は、自動で再ダイヤルしません。自動送信をする場合は、オンフック を押さずにダイヤルします。

注意

■ 相手先のファクシミリがモノクロの場合は、カラーで送ってもモノクロで受信されます。

■ カラーでファクスを送ると、常に原稿の内容がメモリーに読み取られずに送信（リアルタイム送信）されます。

■ モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。

■ ファクスをカラーで送ると、モノクロより送信時間が長くかかります。

■ ファクスをカラーで送ると、メモリーに読み込まれずに送信されます。そのため、メモリーを使った送信（同報送信、タイマー送信、とりまとめ送信、ポーリング送信、デュアルアクセス、再ダイヤル）をすることができません。

ファクスを送る（2 枚以上のとき）

[自動送信]

モノクロでファクスを送る場合は、複数枚の原稿を送ることができます。このとき、すべての原稿をメモリーに記憶してから送信します。

注意

■ リアルタイム送信を【する】にしている場合は、複数枚の原稿を一度に送ることができません。リアルタイム送信を【しない】にしてください。⇒ 90 ページ「原稿をすぐに送る」

1）1 枚目の原稿を送る

1 **1 枚目の原稿をセットする**

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

注意

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が黒くなることがあります。

2 **[ファクス] が緑色に点灯していない場合は、[ファクス] を押す**

◆ ファクスモードに切り替わります。

3 **ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする**

- [オンフック] は押さないでください。
- 受話器をとらないでください。
- [再ダイヤル/ポーズ] を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 **[モノクロスタート] を押す**

◆ 1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。

5 **[1 あ] を押す**

◆【次の原稿をセットして／OKを押してください】と表示されます。

2）2 枚目の原稿を送る

6 **原稿台に 2 枚目の原稿をセットして、[OK] を押す**

◆ 2 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。

- 3 枚目の原稿がある場合 ⇒ 7 へ
- これで送信する場合 ⇒ 8 へ

3）3 枚目の原稿を送る

7 **[1 あ] を押し、3 枚目の原稿をセットして、[OK] を押す**

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順をくり返します。

8 **最後の原稿を読み取ったら、[2 か ABC] または [モノクロスタート] を押す**

◆ ファクスが送られます。

■ 送信中・印刷中に次のファクスを読み取る（デュアルアクセス）

ファクス送信中や印刷中でも、次に送りたい原稿の読み取りができます。これを「デュアルアクセス」といいます。液晶ディスプレイには、新しいジョブ番号とメモリー残量が表示されます。

※ カラーでファクスを送る場合は、デュアルアクセス機能は無効になります。

ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る（MFC-840CLN のみ）

[自動送信]

MFC-840CLN には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を送るときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてファクスを送ります。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ 36 ページ「ADF に原稿をセットする （MFC-840CLN のみ）」

◆ 液晶ディスプレイに【原稿セット OK】と表示されます。

2 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

3 相手のファクス番号をダイヤルする

- オンフック は押さないでください。
- 受話器をとらないでください。

4 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ 原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、ファクスが送られます。

■ 送信する前にファクスをキャンセルする

(1) 停止/終了 を押す

◆【キャンセル／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(2) 1 を押す

◆ 送信が中止されます。

■ 送信した後でファクスをキャンセルする

相手が通話中などの理由でファクスを送ることができなかったときは、5 分おきに 3 回まで「再ダイヤル」を行います。

再ダイヤルをやめたい場合は、メニュー から【通信待ち確認】を選んでキャンセルします。

⇒ 102 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」

再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをおすすめします。

※ 手動送信（⇒ 83 ページ「話をしてから送る」）の場合は、自動で再ダイヤルしません。自動送信をする場合は、オンフック を押さずにダイヤルします。

発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

注意

■「ナンバーディスプレイ」をご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒66 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

3 ▲▼ で【発信履歴】または【着信履歴】を選び、OK を押す

4 ▲▼ でファクスを送る相手先を選び、OK を押す

5 ▲▼ で【ファクス送信】を選び、OK を押す

6 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ ファクスが送られます。

電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る

あらかじめ電話帳に短縮ダイヤルなどを登録しておくと、かんたんな操作でダイヤルすることができます。

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

3 で【電話帳 / 短縮】を選び、OK を押す

A）あいうえお順で選ぶ場合

4 で【あいうえお順検索】を選び、OK を押す

5 で送り先を選び、OK を押す

「五十音順→アルファベット→数字→記号→名前を登録していない番号」の順に表示されます。
登録している番号が 2 つあるときは、どちらかの番号を選び、OK を押します。

> 行を指定して検索するときは、検索したい行が表記されているダイヤルボタンを押します。
> 例）「シミズ」を検索する場合は、3 さ DEF を押します。
> 「サ行」の先頭が表示されるので、を押して相手先を選択します。

6 で【ファクス送信】を選び、OK を押す

7 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ ファクスが送られます。

B）番号順で選ぶ場合

4 で【番号順検索】を選び、OK を押す

5 で送り先を選び、OK を押す

登録している番号が 2 つあるときは、どちらかの番号を選び、OK を押します。

6 で【ファクス送信】を選び、OK を押す

7 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ ファクスが送られます。

C）短縮番号を入力する場合

4 ダイヤルボタンで、2 桁の短縮番号を押す

登録している番号が 2 つあるときは、どちらかの番号を選び、OK を押します。

5 で【ファクス送信】を選び、OK を押す

6 モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ ファクスが送られます。

話をしてから送る

[手動送信]

相手と話をして、ファクスを送ることを伝えてから送ります。お買い上げ時は、画質【標準】（モノクロ）に設定されています。

注意

■「手動送信」の場合、原稿台ガラスに原稿をセットすると、一度に複数枚のファクスを送ることはできません。（1 回に送ることができるのは 1 枚のみです。）

1 相手先に電話をかける

⇒ 50 ページ「親機で電話をかける」

2 相手と通話してファクスを送ることを伝え、相手側のファクシミリのスタートボタン押してもらう

◆ 相手先のファクスが応答すると「ピー」という音が聞こえます。

3 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

4 ファクス が緑色に点灯していない場合は、ファクス を押す

5 モノクロスタート を押す

◆ ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、液晶ディスプレイに【ファクスしますか？／送信 ⇒ 1 を押してください／受信 ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

6 1あ【送信】を押す

◆ 原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

7 受話器を戻す

■ 送るのをやめるときは

(1) 停止/終了 を押す

◆【停止が押されました】【キャンセル？／はい⇒ 1 を押してください／いいえ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(2) 1あ を押す

◆ ファクスの送信が中止されます。

「話をしてから送る」の手順でファクスを送信したときは、自動再ダイヤルは行われません。同じ相手に再度ダイヤルするときは 再ダイヤル/ポーズ を押します。

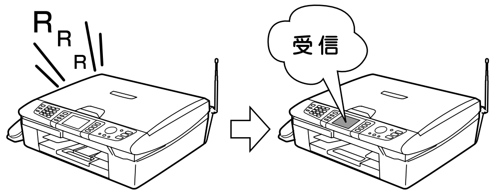
ファクスを受ける

本機では、以下の方法でファクスを受けることができます。

自動的に受ける

[自動受信]

設定した回数の着信音が鳴り終わると、本機が自動的に受信します。



注意

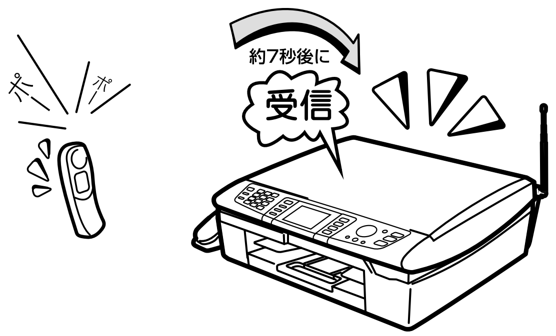
■ 呼出回数を【無制限】に設定しているときは自動的に受信しません。⇒39ページ「呼出回数を設定する」

ファクスはメモリーに受信します。受信後に印刷したり、液晶ディスプレイで内容を確認できます。はじめから記録紙で受信したいときは、「みるだけ受信」を設定しないでください。

※「みるだけ受信」を設定しないと、液晶ディスプレイで確認したり、後でもう一度印刷したりすることはできません。

子機で受ける

あらかじめ「親切受信」を【する】に設定しておくと、子機を取って約7秒後に自動的に受信します。お買い上げ時は親切受信（⇒95ページ「電話に出ると自動的に受ける」）が【する】に設定されています。



親切受信を設定していないときや、相手と話した後に受信するときは、親機の モノクロスタート 2 を押して受信します。

電話に出てから受ける

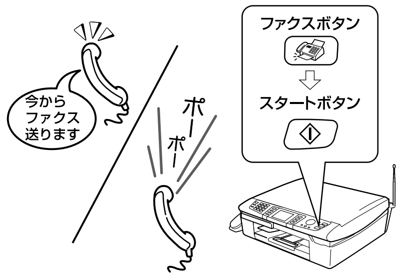
[手動受信]

いちど電話に出てからファクスを受信します。

1 受話器を取って電話を受ける

2 「ポー、ポー」と音がしていたら、ファクス を押してファクスモードにしてから、モノクロスタート または カラースタート を押す

相手と通話したあとにファクスを受信したいときは、相手へファクスに切り替えることを伝えて モノクロスタート または カラースタート を押します。



◆ 【ファクスしますか？／送信 ⇒ 1 を押してください／受信 ⇒ 2を押してください】と表示されます。

3 2 【受信】を押す

◆ ファクスを受信します。

4 受話器を戻す

親切受信（⇒95ページ「電話に出ると自動的に受ける」）を【する】に設定している場合は、受話器をとって約7秒待つと、自動的にファクスを受信します。

■ 記録紙がなくなったときは

「みるだけ受信」を設定していなくても、以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。（メモリー代行受信）

- 記録紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 記録紙が詰まったとき
- 間違ったサイズの記録紙をセットしたとき

液晶ディスプレイの指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。

※ メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

※ 電源を抜いたときや停電のときは、数時間以上たつとメモリーに記憶された受信ファクスメッセージが消去されます。

受信したファクスをディスプレイで見る

[みるだけ受信]

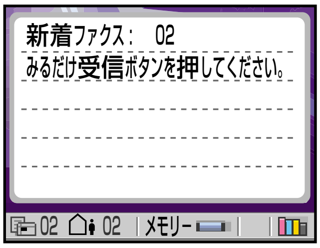
受信したファクスの内容を、液晶ディスプレイで確認できます。お買い上げ時は、みるだけ受信が【する】に設定されています。

注意

■ **みるだけ受信に設定していても、カラーファクスを受信したときは、メモリーに記憶せず、本機で印刷します。**

1 ファクスを受信したメッセージが表示されたら、みるだけ受信 を押す

現在メモリーに記憶されているファクスの件数は、液晶ディスプレイの左下に表示されています。



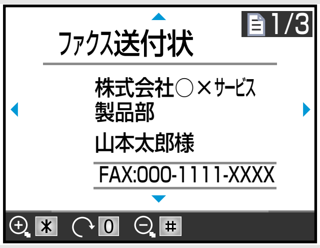
◆ **新着のファクスの一覧が表示されます。**

新着ファクスがないときは、既読ファクスの一覧が表示されます。

2 で確認したいファクスを選び、OK を押す



◆ **ファクスの内容が表示されます。**



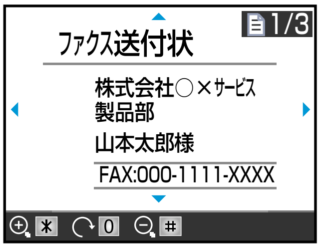
◆ **表示されたファクスは、既読ファクスの一覧に移動します。**

受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。

メモリーに記憶できるファクスは 99 件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

既読ファクスの一覧を表示するときは、新着ファクス一覧画面で、* を押してください。

■ プレビュー画面での操作一覧



ボタン	操作内容
*	拡大表示します。 新着ファクスの一覧を表示している場合は、既読ファクスの一覧へ移動します。
#	縮小表示します。 既読ファクスの一覧を表示している場合は、新着ファクスの一覧へ移動します。
	縦方向にスクロールします。
	横方向にスクロールします。
0	90°ずつ右回転します。
2	ファクスを削除します。
7	前のページを表示します。
9	次のページを表示します。
OK	印刷・一覧へもどるなどの操作を行う画面に移動します。
クリア	受信データ一覧に戻ります。
モノクロスタート カラースタート	ファクスを印刷します。

■ ファクスを印刷する

(1) 印刷するファクスが表示された状態で OK を押す

(2) 〔カーソルキー〕で、【プリント】を選び、OK を押す

◆ ファクスのデータが印刷されます。

◆【消去しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(3) 消去する場合は 1 を、メモリーに残す場合は 2 を押す

■ ファクスを消去する

(1) 消去するファクスが表示された状態で、2 を押す

◆【消去しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(2) 1 を押す

◆ ファクスのデータが消去されます。

■ すべてのファクスを印刷する

(1) みるだけ受信 を押す

(2) 〔カーソルキー〕で、【すべてプリント】を選び、OK を押す

◆ ファクスのデータがすべて印刷されます。

■ すべてのファクスを消去する

(1) みるだけ受信 を押す

(2) 〔カーソルキー〕で、【すべて消去】を選び、OK を押す

◆【消去しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(3) 1 を押す

◆ ファクスのデータがすべて消去されます。

みるだけ受信を設定する

みるだけ受信を使用するかどうかを設定します。お買い上げ時には【する】に設定されています。

注意

■「ファクス転送」「PC-FAX 受信」と同時に設定することはできません。

1 メニュー を押し、〔カーソルキー〕【ファクス】OK【受信設定】OK【みるだけ受信】を選び、OK を押す

2 〔カーソルキー〕で【する】または【しない】を選び、OK を押す

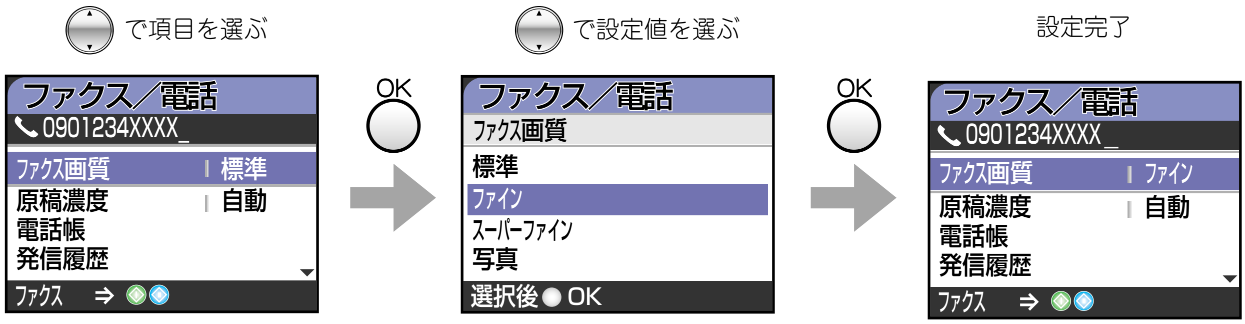
受信データが残っている状態で【しない】を選択すると【すべてのファクスをプリントしますか？はい⇒ 1 を押してください／いいえ⇒ 2 を押してください】と表示されます。
印刷する場合は 1 を押してください。

3 停止/終了 を押す

ファクスの便利な送りかた　応用

設定を変えてファクスするには

［ファクス］を押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。



画質や濃度を変更する

［ファクス］を押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。⇒ 90 ページ「変更した設定を保持する」

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 ［ファクス］を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

3 ［▲▼］で【ファクス画質】または【原稿濃度】を選び、［OK］を押す

4 ［▲▼］で設定を選び、［OK］を押す

画質は以下の設定から選びます。

- 【標準】：
  お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】：
  原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】：
  原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】：
  原稿に写真が含まれているときに選びます。

濃度は以下の設定から選びます。

- 【自動】：
  読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【薄く】：
  原稿が濃いときに選びます。
- 【濃く】：
  原稿が薄いときに選びます。

5 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは［モノクロスタート］を、カラーで送るときは［カラースタート］を押す

◆ 画質を変更して、ファクスが送られます。

- ファイン、スーパーファイン、写真モードで送ると、標準に比べて送信時間がかかります。
- 写真モードで送っても、相手のファクシミリが標準モードで受け取ると、画質が劣化します。
- 原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなることがあります。
- ファクス画質で【写真】を選択すると、原稿濃度は【自動】で送信されます。
- カラーファクスを送信する場合、画質を【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【ファイン】で送信されます。

時間を指定して送る

[タイマー送信]

24 時間以内の指定した時刻にファクスを送信します。通信料の安い時間に送ることで、通信料を節約できます。

注意

- ■ タイマー送信のときは、モノクロで送信されます。(カラーでの送信はできません。)
- ■ タイマー送信できる原稿枚数は、原稿の内容によって異なります。

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

3 で【タイマー送信】を選び、OK を押す

4 で【する】を選び、OK を押す

◆ 送信時刻を入力する画面が表示されます。

5 送信時刻を入力し、OK を押す

送信時刻は、24 時間制で入力します。

例)午後 3 時 5 分の場合は、「15:05」と入力します。

◆ 1 つ前の画面に戻ります。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて で項目を選び、OK を押して表示される選択肢から、設定を選びます。⇒ 87 ページ「画質や濃度を変更する」

6 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート を押す

- ◆ ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。
- ◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、液晶ディスプレイに【次の原稿はありますか?/はい ⇒ 1 を押してください/いいえ(送信)⇒ 2 を押してください】と表示されます。

送る原稿が 1 枚の場合 ⇒ 9 へ

送る原稿が複数枚の場合 ⇒ 7 へ

7 1 あ を押す

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す

送りたい原稿について、手順 7、8 を繰り返します。

9 2 か ABC または モノクロスタート を押す

- ◆ 設定を終了します。
- ◆ 読み取った原稿が、指定した時刻に送られます。

相手が話し中などで送信できないときは、5 分おきに 3 回まで再ダイヤルします。

タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー送信レポートが印刷され、送信結果を確認できます。

同じ相手への原稿をまとめて送る

［とりまとめ送信］

タイマー送信を複数設定している場合、相手先の番号と送信時刻が同じものは、1 回の通信でまとめて送るように設定できます。まとめて送ることで、通信料を節約できます。

注意

- ■ とりまとめ送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）
- ■ とりまとめ送信のときは、同じダイヤル方法でダイヤルしてください。

1 ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 で【とりまとめ送信】を選び、OK を押す

◆ とりまとめ送信の設定画面が表示されます。

3 で【する】を選び、OK を押す

設定は、【する／しない】から選びます。

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

原稿をすぐに送る

[リアルタイム送信]

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送ります。ファクスを急いで送りたいとき、送信状況を確認しながら送信したいときに便利です。
メモリーに送信待ち原稿があるときでも、優先して原稿を送ることができます。お買い上げ時は【しない】に設定されています。
ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒90 ページ「変更した設定を保持する」

注意

- ■ 原稿台ガラスから送信する場合、原稿は 1 枚しか送信できません。
- ■ リアルタイム送信で指定できる相手先は 1 件です。複数の相手先に 1 回の操作で同じ原稿を送ることはできません。
- ■ ファクスをカラーで送ると、この設定をしなくても常にリアルタイム送信になります。
- ■ 相手先が通話中でも自動再ダイヤルは行いません。

1 原稿をセットする

⇒35 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

3 で【リアルタイム送信】を選び、OK を押す

◆ リアルタイム送信の設定画面が表示されます。

4 で設定を選び、OK を押す

設定は【する／しない】から選びます。

●【する】:
リアルタイム送信で送ります。

●【しない】:
通常の送信で送ります。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて で項目を選び、OK を押して表示される選択肢から、設定を選びます。

5 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

◆ 原稿が送られます。

本機は通常、読み取った原稿をメモリーに蓄積してから送信する「メモリー送信」を行っていますが、リアルタイム送信を行うと、原稿はメモリーに蓄積されません。

■ 変更した設定を保持する

(1) ファクス を押して表示される画面で、初期値にしたい設定に変更する

保持できる設定は以下のとおりです。
- ファクス画質
- 原稿濃度
- リアルタイム送信

(2) で【設定を保持する】を選び、OK を押す

◆【設定を保持しますか ？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(3) 1 を押す

◆ 現在の設定が初期値として登録されます。

※ 初期値をお買い上げ時の状態に戻すには【設定をリセットする】を選びます。

相手の操作で原稿を送る

[ポーリング送信]

相手側のファクシミリからの操作で、本機にセットした原稿を自動的に送ります。(これを「ポーリング送信」といいます。)
掲示板として情報をメモリーしておくと、他のポーリング機能のあるファクシミリからその情報を自由に受け取ることができます。
また、受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけが原稿を受け取れる「機密ポーリング送信」を行うこともできます。

相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング送信が行えます。

注意

- **相手側のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。**
- **ポーリング送信のときは、モノクロで送信されます。(カラーでの送信はできません。)**
- **ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。**

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

3 で【ポーリング送信】を選び、OK を押す

◆ ポーリング送信の設定画面が表示されます。

4 で【標準】または【機密】を選び、OK を押す

5 【機密】を選んだ場合は、4 桁のパスワードを入力して、OK を押す

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて で項目を選び、OK を押して表示される選択肢から、設定を選びます。

6 モノクロスタート を押す

◆ ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、設定が終了します。

◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、液晶ディスプレイに【次の原稿はありますか? /はい ⇒ 1 を押してください/いいえ(送信)⇒ 2 を押してください】と表示されます。

送る原稿が 1 枚の場合　⇒ 9 へ

送る原稿が複数枚の場合　⇒ 7 へ

7 1あ を押す

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す

送りたい原稿について、手順 7、8 を繰り返します。

9 2かABC または モノクロスタート を押す

◆ 原稿を読み取り、メモリーに記憶します。

ポーリング送信が終了すると、自動的に「ポーリングレポート」が印刷され、送信結果を知らせてくれます。

ポーリング送信を解除したいときは、メニュー から【通信待ち確認】を選んで解除します。⇒ 102 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」

海外へ送る

[海外送信]

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。
海外送信モードは送信が終了するとに自動的に【しない】に戻ります。

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

3 で【海外送信モード】を選び、OK を押す

◆ 海外送信の設定画面が表示されます。

4 で【する】を選び、OK を押す

◆ 1 つ前の画面に戻ります。

画質など、他の設定も変更する場合は、続けて で項目を選び、OK を押して表示される選択肢から、設定を選びます。

5 相手先のファクス番号をダイヤルして、モノクロスタート を押す

◆ ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。
◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、液晶ディスプレイに【次の原稿はありますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。

送る原稿が 1 枚の場合　⇒ 8 へ

送る原稿が複数枚の場合　⇒ 6 へ

6 1あ を押す

7 原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す

送りたい原稿について、手順 6、7 を繰り返します。

8 2かABC または モノクロスタート を押す

◆ ファクスが送られます。

複数の相手先に同じ原稿を送る

[同報送信]

1 回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、ダイヤルボタン・短縮ダイヤル・グループダイヤル・電話帳から、合わせて最大 170 箇所まで指定できます。

注意

■ 同報送信のときは、モノクロで送信されます。(カラーでの送信はできません。)

1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

3 で【同報送信】を選び、OK を押す

4 で【番号追加】を選び、OK を押す

5 相手先のファクス番号をダイヤルして、OK を押す

電話帳に登録されている短縮ダイヤルやグループダイヤルから相手先を選ぶ場合は を押して設定できます。

グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒ 107 ページ「グループダイヤルを登録する」

6 手順 4、5 と同様に 2 件目以降の相手先を選ぶ

7 すべての相手先を選び終わったら、【確定】を選び、OK を押す

8 モノクロスタート を押す

◆ ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。

◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、液晶ディスプレイに【次の原稿はありますか?／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ（送信）⇒ 2 を押してください】と表示されます。

送る原稿が 1 枚の場合　⇒ 11 へ

送る原稿が複数枚の場合　⇒ 9 へ

9 1 を押す

10 原稿台ガラスに次の原稿をセットして OK を押す

送りたい原稿について、手順 9、10 を繰り返します。

11 2 または モノクロスタート を押す

◆ 原稿を読み取り、指定した相手先にファクスが送られます。

◆ すべての相手先に送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

同報送信レポートでは、指定した相手先に正常に送信できたかどうかを確認できます。エラーなどで送ることのできなかった相手先がある場合は、個別に送り直してください。

■ 送るのをやめるときは

メニュー【ファクス】から【通信待ち確認】を選んでキャンセルします。
⇒ 102 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」

- 相手先を重複して指定したときは、自動的に重複した相手先を削除します。
- 送信できる枚数は、メモリーの残量によって制限されます。
- 原稿読み込み中に【メモリーがいっぱいです】と表示されたら、

を押して送信を中止するか、

を押して読み込まれた分だけ送ります。

ファクスの便利な受けかた

電話に出ると自動的に受ける

[親切受信]

受話器をとったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信します。
お買い上げ時は【する】に設定されています。

1 メニュー を押し、【ファクス】OK【受信設定】OK【親切受信】を選び、OK を押す

2 で【する】を選び、OK を押す

設定は【する／しない】から選びます。

- 【する】：
  親切受信をする
- 【しない】：
  親切受信をしない

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

注意

■ 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、「親切受信」の設定を【しない】にしてください。

- ファクスの受信が始まったら受話器を置いてください。子機で受けたときは子機を充電器に戻してください。
- 本機にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポー、ポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、親機の モノクロスタート または カラースタート を押さないとファクスを受信することができません。

■ 親切受信を設定した場合のファクスの受け方

(1) 着信音が鳴ったら、受話器をとる
◆「ポー、ポー」と音が聞こえます。

(2) そのまま 7 秒待つ
◆ 7 秒後に、自動的にファクスが受信されます。

(3) 液晶ディスプレイに【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

- 回線の状態により、「ポー、ポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、親機の モノクロスタート または カラースタート を押して手動でファクスを受信してください。
- 親切受信は、親機または子機で電話に出た後、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、親機もしくは子機で電話に出たまま親機の モノクロスタート または カラースタート を押して手動でファクスを受信します。

自動的に縮小して受ける

[自動縮小受信]

A4 の長さを超える原稿が送信された場合、自動的に A4 サイズの記録紙に収まるように縮小して印刷します。
お買い上げ時は【する】に設定されています。

1 メニュー を押し、【ファクス】OK【受信設定】OK【自動縮小】を選び、OK を押す

2 で【する】を選び、OK を押す

設定は【する／しない】から選びます。

- 【する】：
  自動縮小受信をする
- 【しない】：
  自動縮小受信をしない

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

- 原稿の長さが約 420mm 以内のときは、長さに応じて自動縮小して印刷されます。
- 原稿の長さが約 420mm 以上のときは、自動縮小されて複数枚の記録紙に分割して印刷されます。
- A3 や B4 の原稿が送信された場合は、送信側で縮小して送信されます。このため、自動縮小受信を【しない】にしても縮小して印刷されます。

本機の操作で相手の原稿を受ける

[ポーリング受信]

本機から操作して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を受けます。(これを「ポーリング受信」といいます。)
ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。ポーリング受信をする時刻を指定したり、パスワードが設定されている「機密ポーリング受信」も行えます。

相手がブラザー製のファクシミリの場合に、機密ポーリング受信が行えます。ただし、相手先のファクシミリにポーリング機能がない場合は、この機能が利用できないことがあります。

注意

- ■ ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担となります。
- ■ 相手側のファクシミリがポーリング送信の準備をしていないときは、受信できません。

1 ファクス を押す

◆ ファクスモードに切り替わります。

2 で【ポーリング受信】を選び、OK を押す

3 で設定を選び、OK を押す

- ●【標準】:
  通常のポーリング受信を行う場合に選びます。
- ●【機密】:
  パスワードが設定されている場合に選びます。
- ●【タイマー】:
  ポーリング受信を行う時刻を設定する場合に選びます。
- ●【しない】:
  ポーリング受信を行いません。

4 (【機密】を選んだ場合)

4 桁のパスワードを入力して、OK を押す

(【タイマー】を選んだ場合)

受信時刻を入力し、OK を押す

時刻は 24 時間制で入力します。
例) 午後 3 時 5 分の場合は、「15:05」

5 相手先のファクス番号をダイヤルし、モノクロスタート または カラースタート を押す

相手先のファクス番号を電話帳から選ぶこともできます。

◆ ファクスを受信します。

本機では、各種のファクス情報サービスを利用できます。ファクス情報サービスにはガイダンス方式(音声が聞こえるもの)とポーリング方式(ピーと音がするもの)があります。各種サービスに合わせて操作してください。

ダイヤル回線をお使いのお客様は、情報サービスの暗証番号などを電話帳に登録する場合、登録する暗証番号の前に トーン を入力してください。

複数の相手先から原稿を受信する場合は、手順 5 で 【同報送信】OK【番号登録】OK を押し、相手先のファクス番号を入力して OK を押す、という操作を繰り返します。すべての相手先のファクス番号を設定したら、【確定】を選び、OK を押します。その後、モノクロスタート を押すと、ファクスが受信されます。

タイマーポーリング受信を解除したいときは、メニュー【ファクス】から【通信待ち確認】を選んで解除します。
⇒ 102 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」

ファクスを転送する

【ファクス転送】

受信したファクスを別のファクシミリに転送します。お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

注意

- 「みるだけ受信」と同時に設定することはできません。
- 「ファクス転送」は、「PC-FAX 受信」「留守録転送」「メモリー受信」と同時に設定することはできません。
- ファクス転送を設定すると、本機でカラーファクスは受信できません。（相手のファクシミリによっては、モノクロに変換して受信します。）

1 メニュー を押し、 ▲▼ 【ファクス】 OK 【応用機能】 OK 【転送／メモリー受信】を選び、OK を押す

2 ▲▼ で【ファクス転送】を選び、OK を押す

3 ダイヤルボタンで転送先のファクス番号を入力し、OK を押す

すでに転送先のファクス番号が登録されている場合は、登録済みのファクス番号が表示されます。

転送先のファクス番号をを変更する場合は ▲▼ で【変更する】を選び、OK を押します。

4 ▲▼ で本機で印刷するかしないかを選び、OK を押す

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本機で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本機で印刷しません。

5 停止/終了 を押す

転送先のファクシミリが通話中のときは、自動的に５分おきに３回まで再ダイヤルされます。

ファクス転送が終了すると、メモリーに保存されたファクスは自動的に消去されます。

受信したファクスをパソコンに送る

【PC-FAX 受信】

受信したファクスメッセージを本機と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信した後、ファクスメッセージは本機のメモリーから消去されます。

注意

- 「みるだけ受信」と同時に設定することはできません。
- 「PC-FAX 受信」は、「ファクス転送」「留守録転送」「メモリー受信」と同時に設定することはできません。
- PC-FAX 受信に設定していても、カラーファクスを受信したときは、パソコンに転送せず本機で印刷します。
- PC-FAX 受信は Windows® でのみ使用できます。

1 メニュー を押し、◯【ファクス】OK【応用機能】OK【転送／メモリー受信】を選び、OK を押す

2 ◯ で【PC ファクス受信】を選び、OK を押す

3 ◯ で受信するパソコンの名前を選び、OK を押す

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、< USB >を選びます。

注意

- このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。受信するパソコンの名前が表示されない場合は、パソコン上で PC-FAX 受信を起動してください。

すでに受信するパソコンが選択されている場合、受信先のパソコンを変更するときは【変更する】を選び、OK を押します。そのあと、受信するパソコンを選び、OK を押してください。

4 ◯ で本機で印刷するかしないかを選び、OK を押す

- 【本体でも印刷する】：
  受信したファクスを転送すると同時に、本機で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
  受信したファクスを転送するだけで、本機で印刷しません。

5 停止／終了 を押す

パソコンで受信したファクスを確認・印刷する方法については、ユーザーズガイド（HTML 版）をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド（HTML 版）「パソコン活用」－「PC ファクス（Windows®）」－「ファクスをパソコンで受ける」

手順 4 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないまま【オフ】にすると【すべてのファクスをプリントしますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、2 を押してください。1 を押すとメモリーに蓄積されているファクスが印刷されます。

ファクスをメモリーで受信する

[メモリー受信]

メモリー受信を設定すると、受信したファクスを印刷するとともに本機のメモリーに記憶します。お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

注意

- ■「メモリー受信」は、「ファクス転送」「PC-FAX 受信」「留守録転送」と同時に設定することはできません。
- ■ メモリー受信を設定すると、本機でカラーファクスは受信できません。(相手のファクシミリによっては、モノクロに変換して受信します。)

1 メニュー を押し、◯【ファクス】OK【応用機能】OK【転送／メモリー受信】を選び、OK を押す

2 ◯ で、【メモリー受信】を選び、OK を押す

3 停止/終了 を押す

- ◆ 設定を終了します。

メモリー受信は最大 99 通信または 400 ページまでできます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。

メモリー受信したファクスを印刷する

みるだけ受信を【しない】に設定している場合に、本機のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1 メニュー を押し、◯【ファクス】OK【応用機能】OK【ファクス出力】を選び、OK を押す

2 モノクロスタート または カラースタート を押す

- ◆ メモリーに記憶されていたファクスメッセージが印刷されます。
- ◆ 印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

ファクスメッセージをメモリーから消去する

本機のメモリーに記憶されているファクスメッセージを、すべて消去します。

1 メニュー を押し、◯【ファクス】OK【応用機能】OK【転送／メモリー受信】を選び、OK を押す

2 ◯ で【オフ】を選び、OK を押す

- ◆【ファクスを消去しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

3 1あ を押す

- ◆ メモリーからすべてのファクスメッセージが消去されます。
- ◆ メモリー受信の設定が解除されます。

通信状態を確かめる　通信管理

本機では、ファクスの送受信についてのレポートを印刷したり、液晶ディスプレイで送信待ちファクスを確認したりできます。

通信管理レポートを印刷する

[通信管理レポート]

最近送受信した 200 件分の通信結果を印刷します。お買い上げ時は、50 件ごとに印刷する設定になっています。

■ すぐに印刷するとき

1 記録紙をセットする

⇒31 ページ「記録紙のセットのしかた」

2 メニュー を押し、 【レポート印刷】 OK 【通信管理レポート】を選び、 OK を押す

3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 通信管理レポートが印刷されます。

■ 定期的に印刷するとき

1 メニュー を押し、 【ファクス】 OK 【レポート設定】 OK 【通信管理レポート】を選び、 OK を押す

◆ メニュー画面が表示されます。

2 で印刷間隔を選び、 OK を押す

印刷間隔は、【レポート出力しない／ 50 件ごと／ 6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと】から選びます。

【7 日ごと】を選んだ場合　⇒ 3 へ

【2 日ごと／ 24 時間ごと／ 12 時間ごと／ 6 時間ごと】を選んだ場合　⇒ 4 へ

【レポート出力しない／ 50 件ごと】を選んだ場合　⇒ 5 へ

3 で曜日を選び、 OK を押す

4 印刷時間を入力し、 OK を押す

印刷する時間を 24 時間制で入力します。

5 停止/終了 を押す

◆ 通信管理レポートが設定されます。

> 定期的に通信管理レポートが印刷されると、レポートの内容はメモリーから消去されます。

送信レポートを印刷する

[送信レポート]

送信結果を印刷します。お買い上げ時は、送信エラー時に、ファクスの 1 ページ目が印刷されるように設定されています。

■ すぐに印刷するとき

1 記録紙をセットする

⇒ 31 ページ「記録紙のセットのしかた」

2 メニュー を押し、[▲▼]【レポート印刷】OK【送信レポート】を選び、OK を押す

3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 送信レポートが印刷されます。

■ 印刷するタイミングと内容を設定する

1 メニュー を押し、[▲▼]【ファクス】OK【レポート設定】OK【送信レポート】を選び、OK を押す

2 [▲▼] で設定を選び、OK を押す

設定は【オン／オン＋イメージ／オフ／オフ＋イメージ】から選びます。

- 【オン】:
  ファクス送信後に、毎回結果レポートを印刷します。
- 【オン＋イメージ】:
  ファクス送信後に、毎回結果レポートと 1 ページ目の画像を印刷します。
- 【オフ】:
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートを印刷します。
- 【オフ＋イメージ】:
  送信エラーがあるときだけ、結果レポートと送信したファクスの 1 ページ目を印刷します。

> リアルタイム送信（⇒ 90 ページ「原稿をすぐに送る」）の場合は、画像は印刷されません。

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

送信待ちファクスを確認・解除する

タイマー送信など、設定している内容を確認し、解除できます。

1 メニュー を押し、▲▼【ファクス】OK【通信待ち確認】を選び、OK を押す

2 ▲▼ で確認または解除する設定を選び、OK を押す

◆【解除しますか ?／はい ⇒1 を押してください／いいえ ⇒2 を押してください】と表示されます。

3 解除する場合は、1 を押す

◆ 送信待ちのファクスが解除されます。

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

第4章

電話帳

電話帳

親機の電話帳を利用する 104
電話帳に登録する 104
発信履歴から電話帳に登録する 105
着信履歴から電話帳に登録する 106
グループダイヤルを登録する 107
電話帳リストを印刷する 108

子機の電話帳を利用する 109
電話帳に登録する 109
着信履歴から電話帳に登録する 110

電話帳を転送する 111
親機の電話帳を子機に転送する 111
子機の電話帳を親機に転送する 111

リモートセットアップ

パソコンで電話帳を作る 112

親機の電話帳を利用する

電話帳

よく電話をかける相手や緊急時の連絡先などを電話帳に登録します。さらに、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、相手先に応じた着信音の鳴り分けや、着信拒否などを設定できます。（⇒ 66 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」）また、複数の相手先をグループダイヤルに登録すると、ひとつのグループ番号を指定するだけで複数の相手先にファクスを送ることができます。

「リモートセットアップ」を使用して、パソコン（Windows®、Mac OS X 10.2.4 以降のみ）から簡単に電話帳を作ることもできます。⇒ 112 ページ「パソコンで電話帳を作る」

電話帳に登録する

相手先の電話（またはファクス）番号と名称を、2 桁の短縮番号 01 ～ 60（最大 60 件）に登録します。

1 **メニュー を押し、【ファクス】 OK 【電話帳登録】 OK 【電話帳／短縮】を選び、OK を押す**

◆ 電話帳の登録画面が表示されます。



2 **で空いている番号を選び、OK を押す**

3 **相手先の名前を入力し、OK を押す**

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。
⇒ 182 ページ「親機での文字の入れかた」

4 **読みがなを編集し、OK を押す**

読みがなを編集する必要がない場合は、そのまま OK を押します。

5 **【番号 1】に登録する相手先の電話番号を入力し、OK を押す**

電話・ファクス番号は 20 桁まで入力できます。入力できる文字は、以下の通りです。
- 数字（0 ～ 9）
- 記号（＊、＃）
- スペース
  を押す
- ポーズ（－）
  再ダイヤル/ポーズ を押す

6 **手順 5 と同様の手順で【番号 2】に登録する相手先の電話番号を入力し、OK を押す**

【番号 2】を登録しない場合は、そのまま OK を押してください。
続けて登録する場合は、手順 2 ～ 6 を繰り返します。

7 **停止/終了 を押す**

◆ 短縮ダイヤルが登録されます。

途中で登録をやめると、登録中のデータは破棄されます。

短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リスト（⇒ 108 ページ「電話帳リストを印刷する」）を印刷すると確認できます。

注意

■ 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをおすすめします。⇒ 108 ページ「電話帳リストを印刷する」

■ 電話帳から電話をかける

⇒ 50 ページ「親機で電話をかける」

■ 電話帳の内容を変更する

(1)「電話帳に登録する」の手順 2 で、変更したい相手先を で選び、OK を押す

(2) で【変更】を選び、OK を押す

(3)「電話帳に登録する」の手順 3 以降の操作で登録し直す

■ 電話帳の内容を削除する

(1)「電話帳に登録する」の手順 2 で削除したい番号を で選び OK を押す

(2)【消去】を選び、OK を押す

◆ 【消去しますか ? ／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒2 を押してください】と表示されます。

(3) 1 を押す

◆ 選んだ番号が削除されます。

※ 登録している番号が 2 つあるときは、手順 1 ～ 3 をくり返して 2 つの番号を削除すると、相手先が削除されます。

発信履歴から電話帳に登録する

1 ファクス を押す

2 で【発信履歴】を選び、OK を押す

◆ 最新の発信履歴が表示されます。

発信履歴は最新の 30 件が記録されています。

3 で電話帳に登録したい番号を選び、OK を押す

4 で【電話帳登録】を選び、OK を押す

◆ 電話帳画面が表示されます。

◆ 番号 1、番号 2 ともに空いている短縮番号のリストが表示されます。

5 で短縮番号を選び、OK を押す

6 登録したい相手先の名前を入力し、OK を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。

⇒ 182 ページ「親機での文字の入れかた」

7 読みがなを編集し、OK を押す

8 【番号 1】に選択した番号が入力されていることを確認して、OK を押す

9 【番号 2】に設定する番号を入力し、OK を押す

【番号 2】を登録しない場合は、そのまま OK を押してください。

10 停止/終了 を押す

◆ 選択した番号が電話帳に登録されます。

第 1 章 ご使用の前に
第 2 章 電話
第 3 章 ファクス
第 4 章 電話帳
第 5 章 留守番機能
第 6 章 コピー
第 7 章 フォトメディアキャプチャ
第 8 章 こんなときは
付 録

着信履歴から電話帳に登録する

[着信履歴（親機）]

ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴から電話帳に電話番号を登録できます。

注意

- ■「ナンバー・ディスプレイサービス」の契約をしていないときは、「着信履歴」は使えません。
- ■ 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

1 ファクス を押す

2 で【着信履歴】を選び、OK を押す

◆ 最新の着信履歴が表示されます。

着信履歴は最新の 30 件が記録されています。

3 で電話帳に登録したい電話番号を選び、OK を押す

4 で【電話帳登録】を選び、OK を押す

◆ 電話帳登録画面が表示されます。
◆ 番号 1、番号 2 ともに空いている短縮番号のリストが表示されます。
◆ 登録可能な件数を超えた場合は、エラー音が鳴り、【登録がいっぱいです】と表示されます。

5 で短縮番号を選び、OK を押す

6 登録したい相手先の名前を入力し、OK を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。
⇒ 182 ページ「親機での文字の入れかた」

7 読みがなを編集し、OK を押す

8 【番号 1】に選択した番号が入力されていることを確認し、OK を押す

9 【番号 2】に設定する番号を入力し、OK を押す

【番号 2】を登録しない場合は、そのまま OK を押してください。

10 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

グループダイヤルを登録する

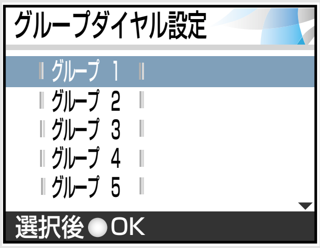
電話帳に登録した複数の相手先を、1つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信（⇒93ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）をするときに使用します。グループは、最大6つまで登録でき、1つのグループに最大59箇所の相手先を登録できます。

注意

■ グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。

1 メニュー を押し、【ファクス】OK【電話帳登録】OK【電話帳／グループ】を選び、OK を押す

◆ グループダイヤルの登録画面が表示されます。



2 で登録先のグループを選び、OK を押す

◆ 空いている短縮番号のリストが表示されます。

3 で短縮番号を選び、OK を押す

4 で【番号追加】を選び、OK を押す

5 グループに登録する相手先を選ぶ

以下の2通りの方法があります。

A）あいうえお順で選ぶ場合

1) で【あいうえお順検索】を選び、OK を押す

2) で登録する相手先を選び、OK を押す

B）番号順で選ぶ場合

1) で【番号順検索】を選び、OK を押す

2) で登録する相手先を選び、OK を押す

登録する相手先の数だけ手順4、5をくり返します。

6 登録する番号をすべて設定したら、で【確定】を選んで、OK を押す

◆ グループダイヤルが電話帳に登録されます。

7 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

途中で登録をやめると、登録中のデータは破棄されます。

注意

■ 間違った番号を登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくグループを登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをおすすめします。
⇒108ページ「電話帳リストを印刷する」

■ グループ名を変更する

(1)「グループダイヤルを登録する」の手順 2 で、名前を変更したいグループを選び、OK を押す

(2) で【グループ名変更】を選び、OK を押す

(3) ダイヤルボタンでグループ名を入力し、OK を押す

⇒ 182 ページ「親機での文字の入れかた」

◆ グループ名が変更されます。

(4) で【確定】を選び、OK を押す

◆ 変更内容が反映されます。

(5) 停止/終了 を押す

■ グループダイヤルから相手先を削除する

(1)「グループダイヤルを登録する」の手順 2 まで行う

(2) 削除する相手先を で選び、OK を押す

(3) で【消去】を選び、OK を押す

◆【消去しますか ? ／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(4) 1あ を押す

◆ 選んだ相手先が削除されます。

(5) で【確定】を選び、OK を押す

◆ 変更内容が反映されます。

(6) 停止/終了 を押す

■ グループダイヤルを削除する

(1)「グループダイヤルを登録する」の手順 2 まで行う

(2) で【消去】を選び、OK を押す

◆【消去しますか ? ／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

(3) 1あ を押す

◆ グループが削除されます。

(4) 停止/終了 を押す

電話帳リストを印刷する

電話帳に登録された内容を印刷します。登録した電話番号に間違いがないかを確認するとき、登録した内容を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。

1 記録紙をセットする

⇒ 31 ページ「記録紙のセットのしかた」

2 メニュー を押し、 【レポート印刷】 OK 【電話帳リスト】を選び、OK を押す

3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 電話帳リストが印刷されます。

子機の電話帳を利用する

電話帳には 100 件まで登録でき、1 件につき 2 つの電話番号を登録できます。

電話帳に登録する

1 **機能/確定 を押す**

2 **(↑↓) で「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ」を選び、機能/確定 を押す**

◆「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾉｺﾘ XX ｹﾝ」と登録可能な件数が表示されます。

3 **名前を入力し、機能/確定 を押す**

名前は 16 文字まで入力できます。
⇒ 184 ページ「子機での文字の入れかた」

4 **「TEL1」に登録する番号を入力し 機能/確定 を押す**

電話番号は 20 桁まで入力できます。(数字、*、#、p（ポーズ）のみ。)

> 発信履歴/P/文字切替 を押すと着信履歴から電話番号を選択することができます。

5 **手順 4 と同様の手順で、「TEL2」に登録する番号を入力し、機能/確定 を押す**

「TEL2」を登録しない場合は、機能/確定 を押してください。

6 **(切) を押す**

> ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているときは、相手先ごとに着信鳴り分けを設定することができます。
> ⇒ 69 ページ「子機の着信鳴り分けを設定する」
>
> 途中で登録をやめると、登録中のデータは破棄されます。
>
> 電話帳の内容は親機へ転送することができます。
> ⇒ 111 ページ「子機の電話帳を親機に転送する」
>
> 構内交換機（PBX）で "0" 発信の場合には、"0" の後に、発信履歴/P/文字切替 を押して、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。
>
> 国際電話の場合は、国番号の後に 発信履歴/P/文字切替 ポーズ（約 3 秒の待ち時間）を入れてください。
>
> 1)「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
>
> 010+ 国番号 + 発信履歴/P/文字切替 + 市外局番 + 電話番号
>
> 2)「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合
>
> （国際電話サービス会社指定の番号）+010+ 国番号 + 発信履歴/P/文字切替 + 市外局番 + 電話番号
>
> ※ 入力したポーズは「p」で表示されます。

■ 電話帳の内容を変更する

(1) **機能/確定 を押す**

(2) **(↑↓) で「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾍﾝｺｳ」を選び、機能/確定 を押す**

(3) **(↑↓) で変更したい電話帳データを選び、機能/確定 を押す**

(4) **「電話帳に登録する」の手順 3 以降の手順で登録内容を変更する**

※ 変更しない項目は、機能/確定 を押すと次の手順へ進むことができます。

■ 電話帳の内容を削除する

(1) を押す

(2) 削除したい電話帳データを選び、
内線/クリア 保留 を押す

◆「ｻｸｼﾞｮ?／ 1. ｽﾙ 2. ｼﾅｲ」と表示されます。

(3) ｱ1 を押す

◆ 選んだ電話帳データが削除されます。

■ 電話帳の内容をすべて削除する

電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。一度消去した登録内容は、もとに戻すことができません。全消去する前に手順をよく読んでから操作をはじめてください。

(1) 機能/確定 を押す

(2) 1 分以内に を押す

(3) 5 秒以内に 機能/確定 を押す

(4) 5 秒以内に を押す

全消去画面が表示されます。

※ ボタンを押す時間が限られていますので、全消去画面が表示されない場合があります。表示されないときには、もう一度、操作をやり直してください。

(5) ｱ1 を押す

確認画面が表示されます。

(6) もう一度 ｱ1 を押す

◆ 電話帳の内容がすべて削除されます。

着信履歴から電話帳に登録する

ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、着信履歴から電話帳に電話番号を登録できます。

1 機能/確定 を押す

2 で「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ」を選び、
機能/確定 を押す

3 名前を入力し、機能/確定 を押す

名前は 16 文字まで入力できます。

⇒ 184 ページ「文字の入れかた（変更のしかた）」

4 電話帳登録の電話番号を入力する画面で 子機間通話 キャッチ 着信履歴 を押す

◆ 着信履歴が表示されます。

```
30)          ▼▲
09012345678
01/17    10:20
```

着信履歴は最新の 30 件が記録されています。

5 で着信履歴を選び、機能/確定 を押す

◆ 選んだ着信履歴の番号が、電話番号として入力されます。

```
TEL1？
09012345678
ﾆｭｳﾘｮｸ＋ｶｸﾃｲ
```

6 機能/確定 を押す

◆ 電話番号が登録されます。

電話帳を転送する

親機から子機、子機から親機へ電話帳データを転送して使用することができます。

親機の電話帳を子機に転送する

1 メニュー を押し、◯【ファクス】OK【電話帳登録】OK【子機に転送】を選び、OK を押す

2 子機が複数あるときは ◯ で転送したい子機を選び、OK を押す

3 ◯ で【あいうえお順検索】または【番号順検索】を選び、OK を押す

4 ◯ で転送したい電話帳のデータを選び、OK を押す

◆ 電話帳のデータが転送されます。

5 停止/終了 を押す

- 転送する内容が、すでに転送先に登録されているときは、重複して登録されます。
- 子機の電話帳の残り件数が 0 のときにデータ転送しようとすると、【転送できません　データがいっぱいです／通信エラー】と表示されます。
- 漢字で登録されたデータは、子機に転送するとカタカナで登録されます。

子機の電話帳を親機に転送する

1 親機が待ち受け状態になっていることを確認し、機能/確定 を押す

2 ◯ で「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾃﾝｿｳ」を選び、機能/確定 を押す

3 ◯ で転送したい電話帳データを選び、機能/確定 押す

「カナ→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号」の順に表示されます。

◆ 転送後は、手順 3 に戻ります。続けて登録するときは、手順 3 を繰り返します。

4 切 を押す

- 転送する内容が、すでに転送先に登録されているときは、重複して登録されます。
- 子機から転送したデータの相手先名はカタカナで表示されます。

パソコンで電話帳を作る　リモートセットアップ

本機と接続しているパソコン上で、電話帳の登録・編集を行うことができます。これを「リモートセットアップ」といいます。
リモートセットアップを使って、パソコンから電話帳を登録する手順については、ユーザーズガイド（HTML 版）をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド（HTML 版）「パソコン活用」－「リモートセットアップ」

〈画面例〉



注意

■「リモートセットアップ」は、Windows® と Mac OS X 10.2.4 以降でのみ使用できます。

第５章

留守番機能

留守番機能

留守番機能を設定する 114
留守番機能で設定できること 114
メッセージの録音時間を設定する 114
応答メッセージを設定する 115
留守録モニターを設定する 115

出かけるとき 116
留守番機能をセットする 116
留守応答メッセージを選ぶ 116

帰ってきたとき 117
音声メッセージがあるとき 117
■ 留守番機能を解除する 117
■ メッセージを再生する 117
ファクスが届いているとき 117

外出先での機能

外出先で留守番機能を使う 118
暗証番号を設定する 118
外出先から本機を操作する 119
■ リモコンコード 119

外出先に転送する 120
留守録転送を設定する 120

留守番機能を設定する

留守番機能

本機の留守番機能を使うと、外出するときなど、電話に出られないときにかかってきた電話に自動的に対応できます。
留守番機能では、以下のような設定をすることができます。

留守番機能で設定できること

● **メッセージの録音時間**

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの1回あたりの録音時間を設定することができます。⇒ 114ページ「メッセージの録音時間を設定する」

> 録音時間は、相手側の状況（声の質や周りの騒音など）によって変わることがあります。また、受信したファクスメッセージがメモリーに記憶されているときは録音時間が短くなります。

● **留守応答メッセージ**

本機にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、自分の声で留守応答メッセージ（2種類）を録音することができます。⇒ 115ページ「応答メッセージを設定する」

また、録音した留守応答メッセージは、留守 を押した後、トーン ＊ または ＃記号 で選択することができます。
⇒ 116ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

> お買い上げ時の在宅応答メッセージは「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音の後に送信してください。」と録音されています。
>
> お買い上げ時の留守応答メッセージは「ただいま留守にしております。電話の方は発信音の後にお話ください。ファクスの方はそのまま送信してください。」と録音されています。

● **呼出回数**

着信してから本機が自動的に応答するまでの呼出回数を設定することができます。⇒ 39ページ「呼出回数を設定する」

● **留守録モニター**

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本機のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。⇒ 115ページ「留守録モニターを設定する」

> 留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
> ⇒ 41ページ「親機の音量を設定する」

メッセージの録音時間を設定する

留守モード時や通話を録音するとき、1回あたりの録音時間を設定します。
1回の最大録音時間は約3分、最大件数は99件、合計で29分まで録音可能です。お買い上げ時は、【60（秒）】に設定されています。

1 **メニュー を押し、【ファクス】OK【留守番電話設定】OK【録音時間】を選び、OK を押す**

2 **で録音時間を選び、OK を押す**

録音時間は、【30／60／120／180】（秒）から選択します。

3 **停止/終了 を押す**

◆ 設定を終了します。

応答メッセージを設定する

本機にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて自分の声で在宅応答メッセージ（1 種類）と留守応答メッセージ（2 種類）を録音（20 秒まで）することができます。

1 **メニュー を押し、【ファクス】OK【留守番電話設定】OK【応答メッセージ】を選び、OK を押す**

2 **で設定したい応答メッセージを選び、OK を押す**

応答メッセージは、【留守応答 1 ／留守応答 2 ／在宅応答】から選びます。

3 **で【応答録音】を選び、OK を押す**

4 **受話器を取り、モノクロスタート を押してメッセージを録音する**

5 **録音が終わったら受話器を戻す**

◆ 今録音した内容が自動的に再生されます。

6 **停止/終了 を押す**

◆ 設定を終了します。

■ 応答メッセージを削除する

(1) 手順 3 で、【応答消去】を選び、OK を押す

◆ 【応答を消去しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

(2) 1 を押す

(3) 停止/終了 を押す

◆ 応答メッセージが削除されます。

※ 本機にあらかじめ録音されている応答メッセージは削除できません。

■ 応答メッセージを確認する

(1) 手順 3 で、【応答再生】を選び、OK を押す

◆ 応答メッセージが再生されます。

(2) 停止/終了 を押す

◆ 確認を終了します。

留守録モニターを設定する

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本機のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。お買い上げ時は【する】に設定されています。

1 **メニュー を押し、【ファクス】OK【留守番電話設定】OK【留守録モニター】を選び、OK を押す**

2 **で留守録モニターの設定を選び、OK を押す**

留守録モニターの設定は、【する／しない】から選びます。

3 **停止/終了 を押す**

◆ 設定を終了します。

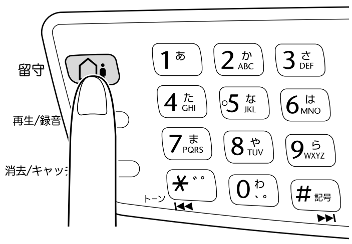
留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
⇒ 41 ページ「親機の音量を設定する」

出かけるとき

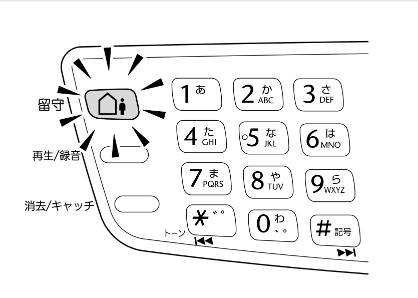
お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

留守番機能をセットする

1 留守 を押す



◆ 留守 が点灯します。



■ 留守番機能を解除する

(1) もう一度 留守 を押す

◆ 留守 が消灯します。

◆ 新しい音声メッセージが録音されているときは、新しい音声メッセージが再生されます。

留守応答メッセージを選ぶ

自分の声で留守応答メッセージを録音してあるとき、留守応答メッセージを選ぶことができます。

1 留守 を押す

ボタンが点灯しているときは、留守 を押し、ボタンを消灯させてから再度 留守 を押してください。

2 メッセージ再生中に、＊ または # で留守応答メッセージを選ぶ

応答メッセージは、【応答再生／応答再生 1／応答再生 2】から選択します。

● 【応答再生】：
あらかじめ録音されている留守応答メッセージ

● 【応答再生 1】：
自分で録音した留守応答メッセージ 1

● 【応答再生 2】：
自分で録音した留守応答メッセージ 2

◆ メッセージを再生後、選んだメッセージで、留守モードにセットされます。

メッセージ再生中に OK を押すと、そのメッセージで留守モードにセットされます。

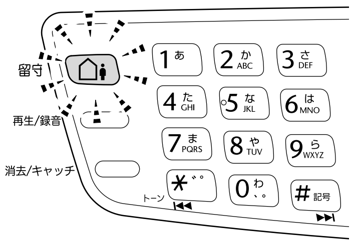
メッセージ再生中に 停止/終了 を押すと、再生を中止し、前回選んだメッセージで留守モードにセットされます。

帰ってきたとき

電話やファクスがあったときは、以下の手順で確認します。

音声メッセージがあるとき

音声メッセージが録音されているときは、本機の 留守 が点滅しています。



■ 留守番機能を解除する

1 留守 **を押す**

◆ **留守番機能が解除されます。新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが再生されます。**

■ メッセージを再生する

1 再生/録音 **を押す**

◆ **新しく録音されたメッセージが再生されます。新しいメッセージが 1 件もないときは、保存されているすべてのメッセージが再生されます。**

■ 音声メッセージを確認する

(A) メッセージを聞き直すとき

再生中のときは ＊ を押す。

再生中以外のときは 再生/録音 を押す。

(B) 次のメッセージを聞くとき

再生中に # を押す。

(C) 途中でメッセージの再生をやめるとき

再生中に 停止/終了 を押す。

(D) メッセージを 1 件消去するとき

再生中に 消去/キャッチ を押し、【もう一度押すと消去】と表示されたら、もう一度 消去/キャッチ を押す。

◆ 再生中のメッセージが消去されます。

(E) すべてのメッセージを消去するとき

再生中以外のときに 消去/キャッチ を押し、【音声消去しますか ? ／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されたら、1 を押す。

◆ すべてのメッセージが消去されます。

ファクスが届いているとき

みるだけ受信 を押して、受信したファクスの内容を確認できます。

操作の詳細について ⇒85ページ「受信したファクスをディスプレイで見る」

「みるだけ受信」を設定していない場合は、受信したファクスが印刷されています。

記録紙がなくなると、液晶ディスプレイに、【記録紙を送れません。記録紙を入れ直してスタートボタンを押してください】と表示されます。このとき、ファクスはメモリーに記憶されています。記録紙をセットして モノクロスタート または カラースタート を押してください。

外出先で留守番機能を使う

外出先での機能

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本機を操作できます。

暗証番号を設定する

外出先から本機を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3 桁の数字と＊）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

1 **メニュー を押し、【ファクス】 OK 【応用機能】 OK 【暗証番号】を選び、 OK を押す**

2 **暗証番号を入力し、 OK を押す**

「＊」の左側の 3 桁に、0 ～ 9 、＊ 、# からお好みの番号を設定します。（暗証番号は「＊」を加えた 4 桁の番号になります。）

例）暗証番号「123」の場合は、

1 2 3 を押し、 OK を押します。

暗証番号の 4 桁目の「＊」は変更できません。

3 **停止/終了 を押す**

◆ 設定を終了します。

■ 暗証番号を削除するときは

(1)「暗証番号を設定する」の手順 1 までの操作を行う

(2) クリア を押す

(3) OK を押す

◆ 暗証番号が削除されます。

外出先から本機を操作する

[リモコンアクセス]

外出先からは、以下の手順で本機を操作します。在宅モードでも操作できます。

注意

- リモコンアクセスするためには、あらかじめ暗証番号の設定が必要です。⇒118 ページ「暗証番号を設定する」
- ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。
- 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティ装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

1 外出先から本機に電話する

呼出回数を【無制限】に設定している場合は、約 100 秒間呼出音を鳴らし続けると本機が応答します。

2 応答メッセージが再生されたら #、* を押し、「暗証番号（3 桁の暗証番号と＊）」を入力する

◆ 暗証番号を受けつけるとメッセージの有無を音でお知らせします。
- 「ポー」：
  ファクスメッセージが記憶されています。
- 「ポーポー」：
  音声メッセージが記憶されています。
- 「ポーポーポー」：
  ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。

3 リモコンコードを入力する

下の「リモコンコード」を入力します。

例）録音されている音声メッセージを再生するときは 9 1 を押します。

「リモコンアクセスカード」を切り取ってお使いいただくと便利です。
⇒203 ページ「リモコンアクセスカード」

4 終了するときは 9 0 を続けて押す

間違った操作をしたときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。このときはもう一度操作してください。

■ リモコンコード

コード	操作内容	
■ 音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に 1：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で 1：前のメッセージを再生 再生中に 2：次のメッセージを再生 再生中に 9：再生を中止
93	録音されているすべての音声メッセージを消去する	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去するメッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
■ 設定		
951	メモリー受信を【オフ】にする（留守録転送やファクス転送の設定も解除されます）	
952	ファクス転送を設定する（番号が登録されていないときは設定不可）	
954	ファクス転送先を設定する	9 5 4 のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し、# を 2 回押す。 ファクス転送の設定がされていないときは自動的に「ファクス転送」になります。
956	メモリー受信を有効にする	
■ メモリー操作		
962	メモリーに記憶されたファクスを取り出す	9 6 2 のあと「ピー」と鳴ったら転送先番号を入力し # を 2 回押して受話器を置く
971	ファクスが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
972	音声メッセージが記憶されているか確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
■ モード変更		
981	留守モードにする	
982	在宅モードにする（留守モードを解除する）	
■ リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

外出先に転送する

留守録転送を設定する

「留守モード」のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送することができます。(留守録転送)

注意

- 留守モードのときのみ転送できます。
- 留守録転送するためには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。⇒118ページ「暗証番号を設定する」
- 「留守録転送」は、「PC-FAX受信」「ファクス転送」「メモリー受信」と同時に設定することはできません。

1 メニュー を押し、◯【ファクス】OK【応用機能】OK【転送／メモリー受信】を選び、OK を押す

2 ◯ で【留守録転送】を選び、OK を押す

暗証番号が設定されていないときは、【転送できません】と表示されます。このときは暗証番号を設定してください。
⇒118ページ「暗証番号を設定する」

3 転送先の電話番号を入力し、OK を押す

4 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

■ 転送先で確認する

(1) 電話を受けたあと、音声ガイダンスにしたがって暗証番号を入力する

(2) メッセージを聞く

◆ 2件以上あるときは連続して再生されます。

◆ 再生終了後に電話は自動的に切れます。

■ 留守録転送を解除する

(1) 「留守録転送を設定する」の手順2で【オフ】を選び、OK を押す

(2) 停止/終了 を押す

◆ 留守録転送が解除されます。

NTTのボイスワープサービスとは異なります。

転送先の電話が話し中のときは、10分おきに5回まで再ダイヤルされます。

第6章

コピー

基本

コピーに関するご注意 122

コピーする 123

1 部コピーする 123
複数部コピーする 123
複数の原稿を一度にコピーする
（MFC-840CLN のみ） 124

応用

いろいろなコピー 125

設定を変えてコピーするには 125
例）L 判の写真をハガキ（光沢紙）に
コピーする 127
2 in 1 コピー /4 in 1 コピー /
ポスターコピーする 128

コピーに関するご注意 基本

■ 法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）

- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手や官製はがき
- 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

■ 著作権のあるもの

- 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

■ その他注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

■ 記録紙について

- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。
- コピーをする場合（特にカラーの場合）は、記録紙の選択が品質に大きな影響を与えます。推奨紙をお使いください。

■ 原稿台ガラスについて

- 原稿台ガラスは常にきれいにしておいてください。汚れているときれいにコピーすることができません。
⇒ 142 ページ「原稿台ガラスを清掃する」

原稿の読み取り範囲について
⇒ 35 ページ「原稿の読み取り範囲」

コピーする

カラーまたはモノクロでコピーします。

- 原稿台ガラスはきれいにしておきましょう。汚れているときれいなコピーができません。
原稿台ガラスのお手入れ方法について ⇒ 142 ページ「原稿台ガラスを清掃する」
- モードボタンの初期設定はファクスです。コピー終了後、ファクスモードに戻るまでの時間を変更したい場合は、モードタイマーの設定を変更します。⇒ 25 ページ「モードタイマーを設定する」

注意

- **原稿台ガラスからコピーする場合、原稿は 1 枚しかセットできません。MFC-840CLN をお使いの場合は、ADF（自動原稿送り装置）をご利用いただけます。⇒ 124 ページ「複数の原稿を一度にコピーする（MFC-840CLN のみ）」**
- **コピーを途中で中止する場合は、停止/終了 を押してください。**

1 部コピーする

1 枚の原稿をモノクロまたはカラーでコピーします。

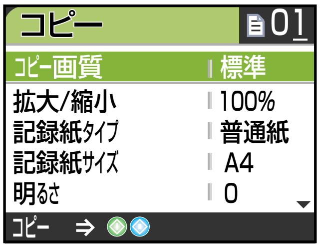
1 原稿をセットする

⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 コピー を押す

◆ コピーモードに切り替わります。

3 液晶ディスプレイで設定を確認する



で項目を選んで、設定を変更することもできます。
⇒ 125 ページ「設定を変えてコピーするには」

4 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を カラーでコピーするときは カラースタート を押す

◆ 原稿がコピーされます。

複数部コピーする

1 ～ 99 部までコピーする枚数を指定してコピーします。

1 原稿をセットする

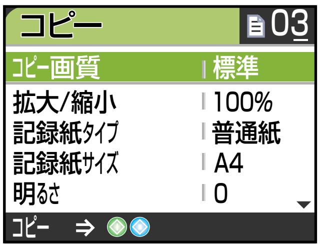
⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

2 コピー を押す

◆ コピーモードに切り替わります。

3 ダイヤルボタンで部数を入力する

部数は 1 ～ 99 部まで設定できます。



入力した部数を取り消すときは、クリア を押します。

4 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を カラーでコピーするときは カラースタート を押す

◆ 原稿がコピーされます。

複数の原稿を一度にコピーする（MFC-840CLN のみ）

MFC-840CLN には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿をコピーするときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてコピーします。

1 ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする

⇒ 36 ページ「ADF に原稿をセットする （MFC-840CLN のみ）」

◆ 液晶ディスプレイに【原稿セット OK】と表示されます。

2 コピー を押す

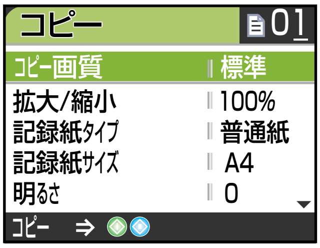
◆ コピーモードに切り替わります。

3 ダイヤルボタンで部数を入力する

部数は 1 ～ 99 部まで設定できます。

入力した部数を取り消すときは、クリア を押します。

4 液晶ディスプレイで設定を確認する



で項目を選んで、設定を変更することもできます。

⇒ 125 ページ「設定を変えてコピーするには」

5 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を カラーでコピーするときは カラースタート を押す

◆ 原稿がコピーされます。

いろいろなコピー

応用

設定を変えてコピーするには

(コピー) を押して表示される画面で、コピーの設定を変更できます。ここで変更した内容は、コピー後に元に戻ります。



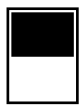
① コピー画質
コピーの画質を設定します。設定を保持することもできます。⇒ 126 ページ「変更した設定を保持する」 ・【高速】 速くコピーしたい場合に選びます。 ・【標準】 通常のコピーを行う場合に選びます。 ・【高画質】 写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。

② 拡大／縮小

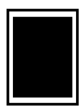
倍率を変更してコピーします。

- 【46% A4 ⇒ハガキ】
- 【50%】
- 【69% A4 ⇒ A5】
- 【77% L 判ヨコ⇒ハガキ】*1
- 【86% A4 ⇒ B5 】
- 【100% 等倍】
- 【113% L 判タテ⇒ハガキ】*2
- 【115% B5 ⇒ A4 】
- 【142% A5 ⇒ A4 】
- 【200%】
- 【204% ハガキ⇒ A4】
- 【カスタム（25-400%）】*3

*1 L判ヨコ向きの写真(89mm × 127mm)をハガキにフィットさせます。



*2 L判タテ向きの写真(124mm × 89mm)をハガキにフィットさせます。



*3【カスタム（25-400%）】を選んだときは、ダイヤルボタンで直接倍率を入力し、(OK) を押してください。

③ 記録紙タイプ
使用する記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定します。 設定を保持することもできます。⇒ 126 ページ「変更した設定を保持する」 【普通紙／インクジェット紙／光沢紙／ OHP フィルム】

④ 記録紙サイズ
使用する記録紙に合わせて、記録紙サイズを設定します。 【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ】

⑤ **明るさ**
コピーの明るさを調整します。5 段階の調整ができます。を押すと明るくなり、を押すと暗くなります。 設定を保持することもできます。
⑥ **コントラスト**
コピーのコントラストを調整します。5 段階の調整ができます。を押すとコントラストが強くなり、を押すとコントラストが弱くなります。設定を保持することもできます。
⑦ **カラー調整**（レッド・グリーン・ブルー）
色バランスの設定を調整します。設定を保持することもできます。 **(1) で【レッド】【グリーン】【ブルー】のいずれかを選び、OK を押す** **(2) でレベルを調整し、OK を押す** レッド、グリーン、ブルーの各色ごとに、5 段階の調整ができます。を押すと色味が増し、を押すと色味が減少します。 **(3) 他の色の調整も行う場合は手順 1、2 をくり返す** **(4) 調整が終わったら、で【一覧へもどる】を選び、OK を押す** ◆ コピー設定画面に戻ります。
⑧ **レイアウトコピー**
2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。 ⇒ 128 ページ「2 in 1 コピー /4 in 1 コピー / ポスターコピーする」

■ 変更した設定を保持する
(1) コピー を押して表示される画面で、初期値にしたい設定に変更する 保持できる設定は以下のとおりです。 ・ コピー画質 ・ 記録紙タイプ ・ 明るさ ・ コントラスト ・ カラー調整 **(2) で【設定を保持する】を選び、OK を押す** ◆【設定を保持しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。 **(3) 1あ を押す** ◆ 変更した設定が初期値として登録されます。 ※ 初期値をお買い上げ時の状態に戻すには【設定をリセットする】を選びます。

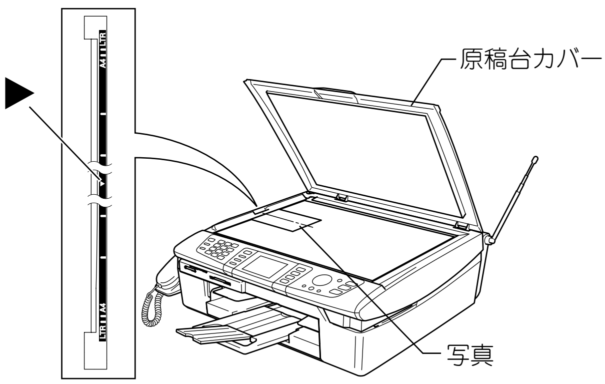
例）L 判の写真をハガキ（光沢紙）にコピーする

L 判の写真を、ハガキサイズの光沢紙にコピーする手順を例にして説明します。

1 **記録紙トレイにハガキサイズの光沢紙をセットする**

⇒ 33 ページ「ハガキ、L 判サイズの記録紙をセットする場合」

2 **原稿台カバーを持ち上げ、原稿ガイドに合わせて、コピーしたい写真面が下になるようにセットする**



3 **原稿台カバーを閉じる**

4 **コピー を押す**

◆ コピー設定画面が表示されます。

1）コピー画質を設定する

5 **で【コピー画質】を選び、OK を押す**

6 **で【高画質】を選び、OK を押す**

◆ コピー設定画面に戻ります。

2）拡大・縮小率を設定する

7 **で【拡大／縮小】を選び、OK を押す**

8 **で【113%L 判タテ⇒ハガキ】を選び、OK を押す**

◆ コピー設定画面に戻ります。

3）記録紙タイプを設定する

9 **で【記録紙タイプ】を選び、OK を押す**

10 **で【光沢紙】を選び、OK を押す**

◆ コピー設定画面に戻ります。

4）記録紙サイズを設定する

11 **で【記録紙サイズ】を選び、OK を押す**

12 **で【ハガキ】を選び、OK を押す**

◆ コピー設定画面に戻ります。

13 **カラースタート を押す**

◆ 写真がハガキ（光沢紙）にコピーされます。

2 in 1 コピー /4 in 1 コピー / ポスターコピーする

[レイアウトコピー]

2枚、または4枚の原稿を1枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

注意

- ■ レイアウトコピーでは、記録紙サイズを【A4】に設定してください。
- ■ ポスターコピーをする場合は、原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

1 原稿をセットする

⇒35 ページ「原稿をセットする」

2 コピー を押す

◆ コピーモードに切り替わります。

3 複数部コピーするときは、ダイヤルボタンで部数を入力する

部数は 1～99 部まで設定できます。

※ この設定は、2 in 1、4 in 1 のモノクロコピーのみ有効です。

4 で【レイアウト コピー】を選び、OK を押す

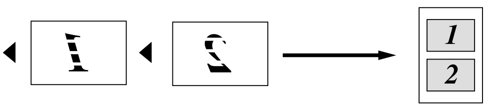
5 でレイアウトを選び、OK を押す

レイアウトは【オフ（1 in 1）／2 in 1（タテ長）／2 in 1（ヨコ長）／4 in 1（タテ長）／4 in 1（ヨコ長）／ポスター（3X3）】から選びます。

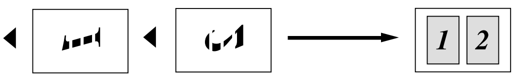
<原稿のセットのしかた>

※ A4 サイズの原稿を使った場合のイメージです

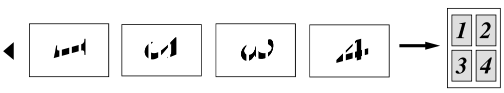
● 2 in 1（タテ長）



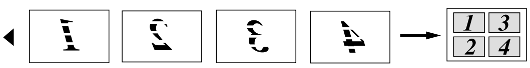
● 2 in 1（ヨコ長）



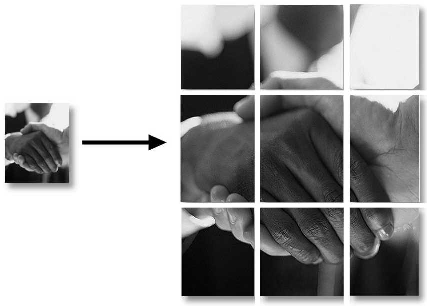
● 4 in 1（タテ長）



● 4 in 1（ヨコ長）



● ポスター（3X3）



ポスターコピーは、原稿をポスターサイズに拡大し、9 枚の記録紙に分割してコピーします。ポスターコピーをする場合は、あらかじめ記録紙トレイに記録紙を 9 枚以上セットしてください。

6 モノクロでコピーするときは モノクロスタート を、カラーでコピーするときは カラースタート を押す

◆ ADF に原稿をセットしたときや、「オフ」または「ポスター」を選んだときは、コピーが開始されます。

◆ 原稿台ガラスに原稿をセットして「2 in 1」または「4 in 1」を選んだときは、原稿の読み取りが開始され、【次の原稿はありますか ？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください 】と表示されます。

7 1 を押す

8 次の原稿をセットし、OK を押す

コピーするすべての原稿に対して、手順 7、8 を繰り返し行います。

9 すべての原稿を読み取ったら、2 を押してコピーを終了する

第７章

フォトメディアキャプチャ

デジカメプリント

写真を印刷する前に 130
使用できるメモリーカード 130
メモリーカードをセットする 131
■ メモリーカードのアクセス状況 131

写真を見る・プリントする 132
メモリーカードの写真を見る・プリントする 132
インデックスプリントを印刷する 133
番号を指定して写真をプリントする 134
メモリーカード内の写真をすべて印刷する 135

いろいろなプリント方法 136
設定を変えて写真をプリントするには 136
例）L 判、2L 判、ハガキに写真を印刷する 138

スキャン TO カード

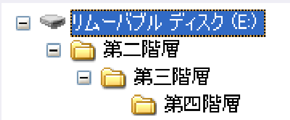
スキャンしたデータを保存する 139
スキャンしたデータをメモリーカードに保存する 139

写真を印刷する前に　デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真が保存されているメモリーカードを、本機のカードスロットに差し込んで写真を印刷します。パソコンがなくてもデジカメの写真を印刷できます。

注意

- ■ メモリーカードは正しくフォーマットされたものをお使いください。
- ■ 画像データのフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。（プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式の画像データには対応していません。）
- ■ 拡張子が「jpeg」「jpe」のファイルは認識しません。拡張子を「jpg」に変えてください。
- ■ 日本語のファイル名が付けられたデータは、インデックスプリント（⇒ 133 ページ「インデックスプリントを印刷する」）を行うと、ファイル名が正しく表示されません。画像データのファイル名を英数字に変えてください。
- ■ メモリーカード内の画像データは、4 階層までしか認識されません。メモリーカードにパソコン上から画像データを書き込んだ場合、5 階層以上のフォルダに保存しないでください。

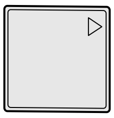


- ■ メモリーカード内の画像データは、フォルダとファイルを合わせて 999 個まで認識します。
- ■ フォトメディアキャプチャとパソコンからのメモリーカードの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。
- ■ Macintosh® の場合、デスクトップにメモリーカードのアイコンが表示されているときは、フォトメディアキャプチャが使用できません。デスクトップのメモリーカードアイコンをゴミ箱に移動したあと、フォトメディアキャプチャをお使いください。

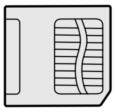
使用できるメモリーカード

本機では、下記のメモリーカードを使用できます。

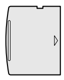
● コンパクトフラッシュ®
（TYPE1、最大 2GB）



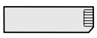
● スマートメディア®
（3.3V 最大 128MB）



● xD- ピクチャーカード TM
TypeM（高容量対応）

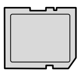


● メモリースティック®（最大 128MB）
メモリースティック Pro（最大 1GB）



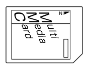
※ マジックゲート TM メモリースティック、メモリースティック Duo、メモリースティック Pro デュオも使用できます。
※ メモリースティック Duo 、メモリースティック Pro デュオを本機にセットするときは、アダプターが必要です。
※ マジックゲート機能（著作権保護機能）はご利用いただけません。

● SD メモリーカード TM
（最大 1GB）



※miniSD メモリーカード TM を本機にセットするときは、アダプターが必要です。

● マルチメディアカード TM
（最大 128MB）



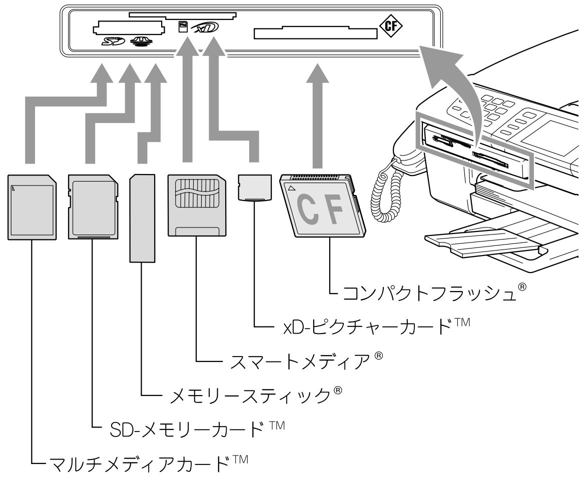
注意

- ■ 本機に対応しているスマートメディア® は 3.3V 専用です。（5V タイプは使用できません。）
- ■ マイクロドライブには対応していません。

メモリーカードをセットする

1 本機のカードスロットにメモリーカードを差し込む

メモリーカードは、正しいカードスロットにしっかりと差し込んでください。



◆ デジカメプリント が点灯します。

注意

- デジカメプリント が点滅しているときは、電源コードを抜いたり、メモリーカードの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードを壊す恐れがあります。
- カードスロットには、メモリーカード以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。
- コンパクトフラッシュ®はメーカーによって印刷表記が異なります。差し込む前に表裏をご確認ください。
- 2つのメモリーカードを同時に挿入しても、最初に挿入したカードしか読み込みません。

■ メモリーカードのアクセス状況

デジカメプリント の表示で、メモリーカードのアクセス状況がわかります。

● 点灯	メモリーカードが正しく差し込まれています。このときは、メモリーカードを取り出すことができます。
● 点滅	読み取り、または書き込みが行われています。このときはメモリーカードにさわらないでください。
● 消灯 デジカメプリント	メモリーカードが差し込まれていません。または、メモリーカードが正しく差し込まれていないため、本機に認識されていません。

メモリーカードが認識されないときは、記録した機器に戻して確認してください。

■ メモリーカードを取り出すときは

デジカメプリント が点滅していないことを確認して、そのまま引き抜きます。
パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードへのアクセスを終了してから、デジカメプリント が点滅していないことを確認して、メモリーカードを引き抜いてください。

■ パソコンからメモリーカードにアクセスする

本機のカードスロットにセットしたメモリーカードは、接続しているパソコンからもアクセスできます。
詳しくは、ユーザーズガイド（HTML 版）をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド（HTML 版）「フォトメディアキャプチャ」

第1章 ご使用の前に
第2章 電話
第3章 ファクス
第4章 電話帳
第5章 留守番機能
第6章 コピー
第7章 フォトメディアキャプチャ
第8章 こんなときは
付録

写真を見る・プリントする

デジタルカメラで撮影した写真が保存されているメモリーカードを本機のカードスロットに差し込んで写真をプリントします。

メモリーカードの写真を見る・プリントする

メモリーカードの写真を液晶ディスプレイで確認・プリントできます。

1 本機のカードスロットにメモリーカードを差し込む

⇒ 131 ページ「メモリーカードをセットする」

◆ デジカメプリント が点灯します。

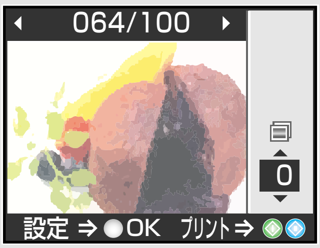
2 デジカメプリント を押す

◆ フォトメディアキャプチャメニューが表示されます。



3 で【写真プリント】を選び、OK を押す

◆ メモリーカード内の写真が表示されます。



写真のファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

写真を印刷する場合⇒ 4 へ

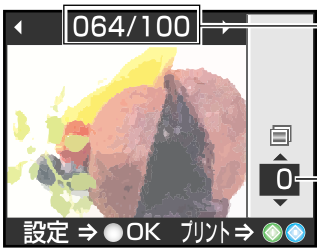
4 で印刷したい写真を選ぶ

を押すと、メモリーカード内の写真を順番に確認できます。

また、ダイヤルボタンで 3 桁の番号を入力すると、入力した番号の写真が表示されます。（例：003）

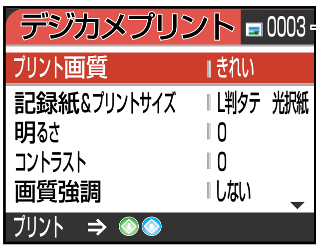
写真番号を確認するには、インデックスプリントを印刷してください。

⇒ 133 ページ「インデックスプリントを印刷する」



5 でプリント枚数を設定し、OK を押す

6 液晶ディスプレイでプリントの設定を確認する



で項目を選んで、設定を変えることもできます。

⇒ 136 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

7 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 写真が印刷されます。

■ DPOF を使用する場合

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、メモリーカードをセットすると、【DPOF で印刷しますか？／はい ⇒１を押してください／いいえ ⇒2 を押してください】というメッセージが表示されます。
DPOF でプリントする場合は、以下の手順で操作してください。

(1) 1 を押す

◆ デジカメプリントの設定画面が表示されます。

(2) で【記録紙＆プリントサイズ】を選び、OK を押す

◆【記録紙＆プリントサイズ】の設定値が表示されます。

(3) で記録紙の種類とプリントサイズを選び、OK を押す

で項目を選んで、他の設定を変更することもできます。ただし、【プリント画質】は DPOF で設定されているため、ここでは変更できません。

(4) モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ DPOF で指定したとおりに写真がプリントされます。

※ DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）とは、デジタルカメラの写真のプリントに関する規定です。印刷する写真の選択や印刷枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、印刷したい写真や枚数を本機側で指定する必要がありません。

インデックスプリントを印刷する

メモリーカードに保存されている画像データを、一覧にして印刷（インデックスプリント）できます。

1 メモリーカードをセットして、デジカメプリント を押す

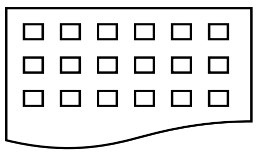
◆ フォトメディアキャプチャメニューが表示されます。

2 で【インデックスプリント】を選び、OK を押す

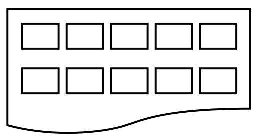
3 で１列に印刷される写真の数を選び、OK を押す

写真の数は、【速い／１行６個印刷】【きれい／１行５個印刷】から選びます。

●【速い／１行６個印刷】：
A4サイズの記録紙１ページ内に最大42個の画像を印刷します。



●【きれい／１行５個印刷】：
A4サイズの記録紙１ページ内に最大30個の画像を印刷します。



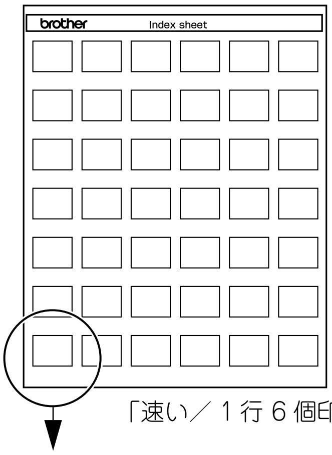
１行５個印刷の場合は、１行６個印刷の場合より、印刷速度が遅くなりますが、品質は良くなります。

4 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ インデックスプリントが印刷されます。
◆ インデックスプリント終了後は、手順２の画面に戻ります。

- デジタルカメラでつけた名称やパソコンでのファイル名が半角英数字 8 文字以内の場合は、ファイル名が認識されます。ファイル名が認識されない場合は、順番に、001、002、003 のように番号が割り振られます。
- インデックス（サムネール）で一度に印刷できるのは 999 画像までです。それ以上の画像が保存されていても無視されます。
- インデックス（サムネール）の設定は固定（A4、一部のみ印刷など）です。
- 印刷できる画像は JPEG ファイル形式（＊.jpg）だけです。

＜インデックスプリント＞



「速い／１行６個印刷」の場合



NO. 1　　2003 . 01. 01
DEI.JPG　　100KB

番号を指定して写真をプリントする

インデックスプリントに表示されている番号で、プリントする写真を指定できます。

1 メモリーカードをセットして、デジカメプリント を押す

◆ フォトメディアキャプチャメニューが表示されます。

2 で【番号指定プリント】を選び、OK を押す

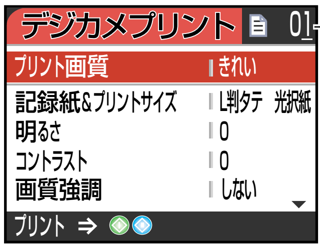
3 プリントしたい写真の番号を入力し、OK を押す

例 1) 1 番～ 5 番を印刷したいとき
1 # 5 ＊ の順番でダイヤルボタンを押す

例 2) 1 番、3 番、6 番を印刷したいとき
1 ＊ 3 ＊ 6
＊ の順番でダイヤルボタンを押す

入力できる文字は 12 文字までです。

4 液晶ディスプレイで設定を確認する



プリント枚数

- で項目を選んで、設定を変えることもできます。
⇒ 136 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

5 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力する

6 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 指定した番号の写真がプリントされます。

メモリーカード内の写真をすべて印刷する

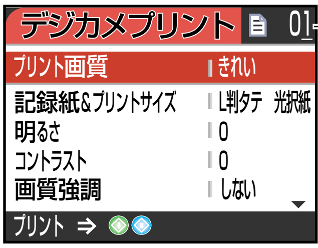
メモリーカードの写真をすべて印刷するときは、以下の手順で行います。

1 メモリーカードをセットして、デジカメプリント を押す

◆ フォトメディアキャプチャメニューが表示されます。

2 で【すべてプリント】を選び、OK を押す

3 液晶ディスプレイで設定を確認する



プリント枚数

で項目を選んで、設定を変えることもできます。
⇒ 136 ページ「設定を変えて写真をプリントするには」

4 ダイヤルボタンでプリント枚数を入力する

5 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ メモリーカード内のすべての写真がプリントされます。

いろいろなプリント方法

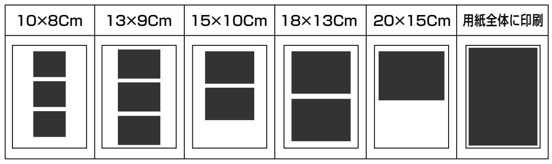
設定を変えて写真をプリントするには

フォトメディアキャプチャの設定画面で、写真をプリントする際の設定を変更できます。



① プリント画質
写真をプリントする際の画質を設定します。 ・【標準】 　速くプリントする場合に選びます。 ・【きれい】 　写真をよりきれいにプリントする場合に選びます。
② 記録紙＆プリントサイズ
記録紙の種類とプリントサイズを以下から選びます。 ・【L 判タテ 光沢紙】 ・【2L 判タテ 光沢紙】 ・【ハガキタテ 光沢紙】 ・【ハガキタテ インクジェット紙】 ・【ハガキタテ 普通紙】 ・【A4 光沢紙】*1 ・【A4 インクジェット紙】*1 ・【A4 普通紙】*1

*1 印刷サイズを以下の設定から選ぶことができます。



③ 明るさ
写真をプリントする際の明るさを調整します。5 段階の調整ができます。 を押すと明るくなり、 を押すと暗くなります。
④ コントラスト
写真をプリントする際のコントラストを調整します。5 段階の調整ができます。 を押すとコントラストが強くなり、 を押すとコントラストが弱くなります。

⑤ 画質強調

(1) で【する】を選ぶ

(2) で設定する項目を選び、OK を押す

項目は以下の３つから選びます。
- **【ホワイトバランス】**
  画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いに印刷できます。
- **【シャープネス】**
  画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- **【カラー調整】**
  画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(3) でレベルを調整し、OK を押す

手順２、３をくり返して、３つの項目を調整します。

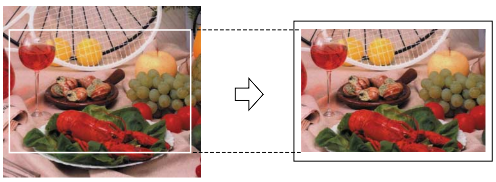
(4) 調整が終わったら、で【一覧へもどる】を選び、OK を押す

◆ フォトメディアキャプチャの設定画面に戻ります。

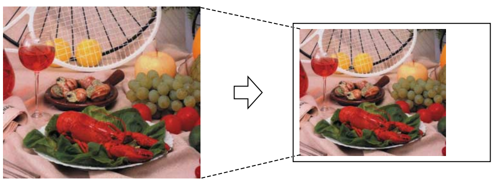
※ 画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像データに対して有効に働きます。
メガピクセル・クラスのカメラで撮影した写真は、そのまま印刷してください。
なお、画素数の多い画像データに画質強調を行うと、処理に数十分以上かかる場合があります。

⑥ 画像トリミング

プリント領域いっぱいに写真がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
- 【する】
  横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。



- 【しない】
  画像データを切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



⑦ ふちなし印刷

プリント領域いっぱいに写真をプリントします。【する】または【しない】を選びます。

■ 変更した設定を保持する

設定を変更した後で、【設定を保持する】を選び、OK を押します。【設定を保持しますか？／はい ⇒ １を押してください／いいえ ⇒ ２を押してください】と表示されるので 1 を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。
※ 初期値をお買い上げ時の状態に戻すには【設定をリセットする】を選びます。

例）L 判、2L 判、ハガキに写真を印刷する

写真をL 判サイズやハガキサイズの記録紙に印刷する手順を説明します。

1 記録紙をセットする

⇒31 ページ「記録紙のセットのしかた」

2 メモリーカードをセットして、デジカメプリント を押す

◆ フォトメディアキャプチャメニューが表示されます。



3 で【写真プリント】を選び、OK を押す

◆ メモリーカード内の写真が表示されます。



4 でプリントしたい写真を選ぶ

5 でプリントする枚数を設定し、OK を押す

を押すと、1 枚ずつ増えます。

◆ フォトメディアキャプチャの設定画面が表示されます。

6 で【記録紙&プリントサイズ】を選び、OK を押す



7 で使用する記録紙を選び、OK を押す

セットした記録紙のサイズに合わせて、【L 判タテ 光沢紙】【2L 判タテ光沢紙】【ハガキタテ 光沢紙】【ハガキタテ インクジェット紙】【ハガキタテ 普通紙】のいずれかを選びます。

◆ フォトメディアキャプチャの設定画面に戻ります。

◆ 他の設定も変更する場合は、手順 6、7 を繰り返します。

8 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 写真が印刷されます。

スキャンしたデータを保存する　スキャン TO カード

本機でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードに保存できます。TIFF ファイル形式（＊ .tif）または PDF ファイル形式（＊ .pdf）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンしたデータをメモリーカードに保存する

[スキャン　TO　カード]

1 メモリーカードをセットする

2 原稿をセットする

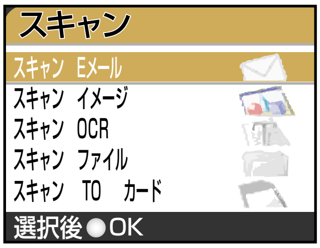
⇒ 35 ページ「原稿をセットする」

3 （スキャン）を押す

◆ スキャンメニューが表示されます。

4 （▲▼）で【スキャン TO カード】を選び、（OK）を押す

本機をパソコンと接続していない場合は、【スキャン TO カード】だけが表示されます。



5 （▲▼）で画質を選び、（OK）を押す

画質は以下から選びます。
【150dpi カラー／ 300dpi カラー／ 600dpi カラー／ 200 × 100dpi モノクロ／ 200dpi モノクロ】

6 （▲▼）で保存するファイル形式を選び、（OK）を押す

ファイル形式は以下から選びます。

● 手順 5 で、カラーを選んだ場合
【PDF ／ JPEG】

● 手順 5 で、モノクロを選んだ場合
【TIFF ／ PDF】

7 ダイヤルボタンで保存するファイルの名前を入力し、（OK）を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。

※ ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。ファイル名はアルファベットまたは数字で付けてください。

※ 間違って入力した場合は、（クリア）を押して消去します。

※ ファイル名は、スキャンした日付が自動的に付けられています。
例）2006 年 5 月 3 日の場合は、「060503XX」という名前が付けられます。（「XX」は通し番号です）

8 （モノクロスタート）または（カラースタート）を押す

◆ ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、スキャンを終了します。

◆ 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？ ／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合 ⇒ 11 へ

読み取る原稿が複数枚の場合 ⇒ 9 へ

9 （1 あ）を押す

10 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、（OK）を押す

メモリーカードに保存する原稿の枚数だけ、手順 9、10 を繰り返します。

11 すべての原稿をスキャンしたら、[2 か ABC] を押す

◆ スキャンを終了します。

注意

● [デジカメプリント] が点滅しているときは、メモリーカードの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードを壊す恐れがあります。

本機をスキャナとして使う操作については、ユーザーズガイド（HTML 版）をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド（HTML 版）「スキャナ」

パソコンで PDF ファイルを閲覧するには、Adobe® Acrobat® Reader® または Adobe® Acrobat® が必要です。

第8章
こんなときは

日常のお手入れ

本機が汚れたら 142
親機の外側を清掃する 142
原稿台ガラスを清掃する 142
キャビネット内部を清掃する 143
子機を清掃する 143
給紙ローラーを清掃する 143

紙がつまったときは 144
記録部につまった記録紙を取り除く 144
記録紙挿入口につまった記録紙を取り除く 145
ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは （MFC-840CLN のみ） 146
■ ADF （自動原稿送り装置）の出口でつまった原稿を取り除く 146
■ ADF （自動原稿送り装置）内でつまった原稿を取り除く 146

受話器を取り外してお使いになるときは 147

インクがなくなったときは 148
インクカートリッジを交換する 148
インク残量を確認する 150

印刷が汚いときは 151
定期メンテナンスについて 151
プリントヘッドをクリーニングする 151
印刷品質をチェックする 152
印刷位置のズレをチェックする 153

困ったときは

子機のバッテリーを交換するときは 154

消耗品を注文したいときは 155
ご注文シートを印刷する 155

設定内容や機能を知りたいときは 156
設定内容リストを印刷する 156
機能案内リストを印刷する 156

エラーメッセージ 157
■ 親機のエラーメッセージ 157
■ 子機のエラーメッセージ 159

故障かな？と思ったときは 160
特別な回線に合わせて設定する 170
回線状況に応じて設定する 170
安心通信モードに設定する 170
ダイヤルトーン検出の設定をする 171

初期状態に戻す 172
個人情報を消去する 172
機能設定を元に戻す 173
本機を強制リセットする（修理を依頼される前に） 173

通話がうまくいかないときは 174
通話や子機の使用に影響をおよぼす可能性のある環境 174

停電になったときは 176

本機を輸送するときは 177

廃棄

本機を廃棄するときは 178

本機が汚れたら

日常のお手入れ

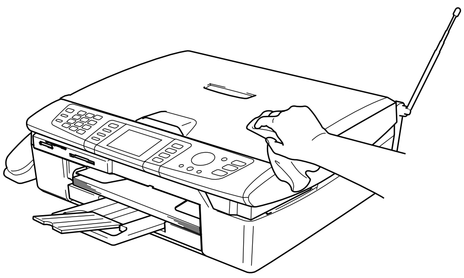
本機が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

親機の外側を清掃する

本機は乾いた布で軽く拭いてください。

注意

■ **ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。本機の操作パネルの文字が消えることがあります。**



原稿台ガラスを清掃する

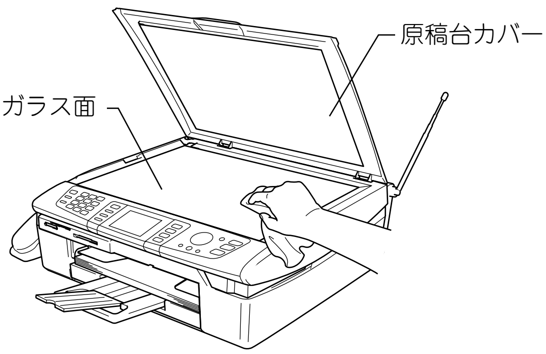
原稿台ガラスが汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめに原稿台を清掃してください。

注意

■ **ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。**

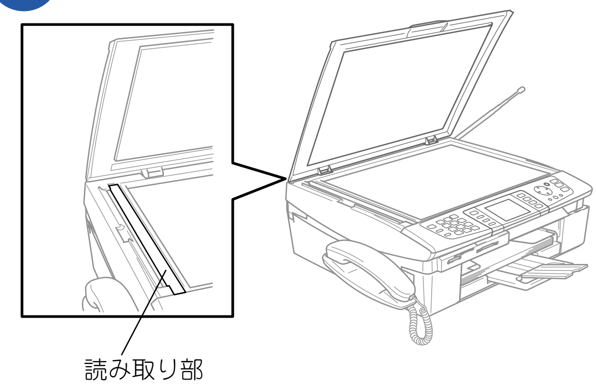
1 原稿台カバーを開け、原稿台ガラスと、原稿台カバーのプラスチック面を拭く

水を含ませて硬く絞った柔らかい布で拭きます。

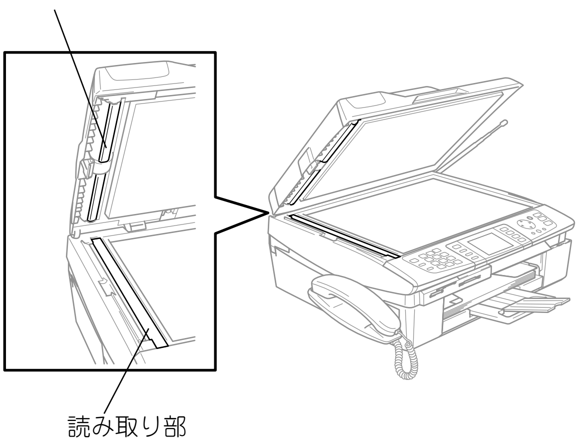


無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーなども使用できます。

2 読み取り部を拭く

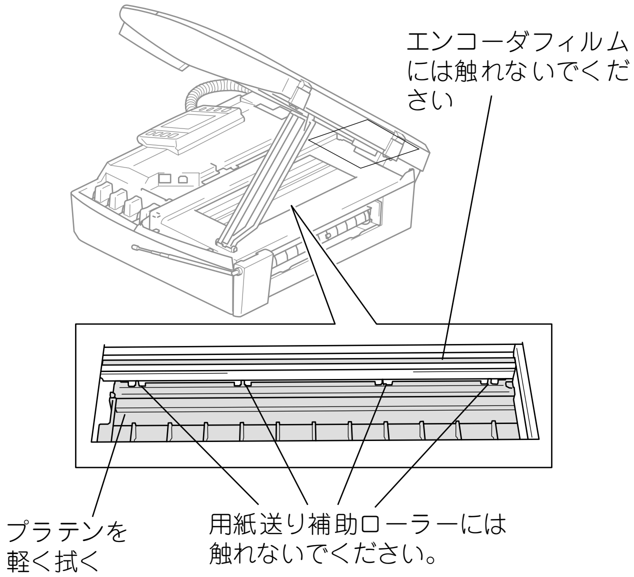


MFC-840CLN の場合は、白色バー（原稿押さえ）も拭いてください。



キャビネット内部を清掃する

記録紙の裏面が汚れる場合は、水を含ませて固く絞った布でプラテンを軽く拭きます。
インクがプラテンの周囲に飛び散っている場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

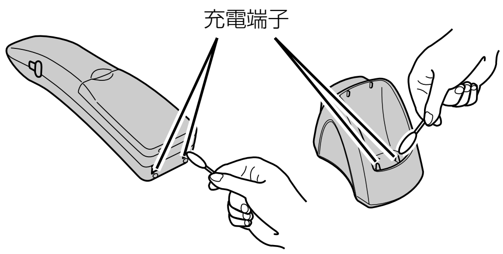


⚠注意

- **用紙送り補助ローラー、エンコーダフィルムには触れないでください。**
- **内部を清掃するときは、必ず清掃前に電源コードをコンセントから抜いてください。**

子機を清掃する

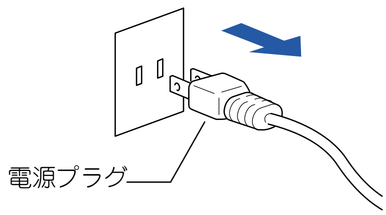
充電端子は定期的に綿棒などで清掃してください。子機の充電端子が汚れていると、充電できなかったり、勝手に使用中の状態になったりすることがあります。充電端子の汚れは、必ず拭き取ってください。



給紙ローラーを清掃する

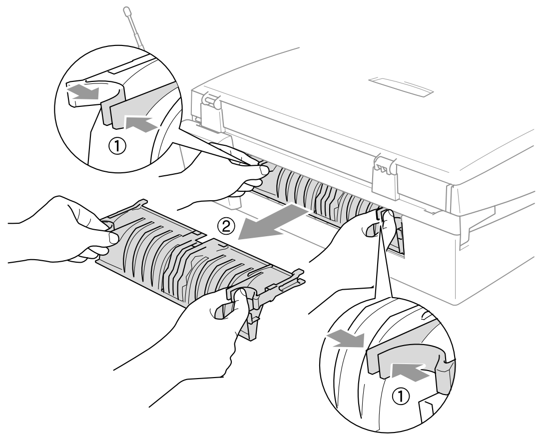
給紙ローラーが汚れていると、給紙しにくくなります。

1 電源コードをコンセントから外す

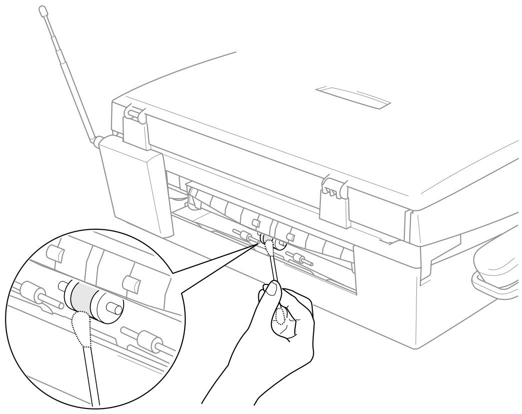


2 本機背面の紙づまり解除カバーを取り外す

両手で左右のつまみをつまんだまま（①）、手前に引いて（②）取り外します。



3 アルコールを含ませた綿棒で給紙ローラーを拭く



4 紙づまり解除カバーを取りつける

5 電源コードをコンセントに差し込む

紙がつまったときは

記録紙がつまると、ブザーが鳴って液晶ディスプレイに下記のメッセージが表示されます。

・【記録紙が詰まっています】

記録部につまった記録紙を取り除く

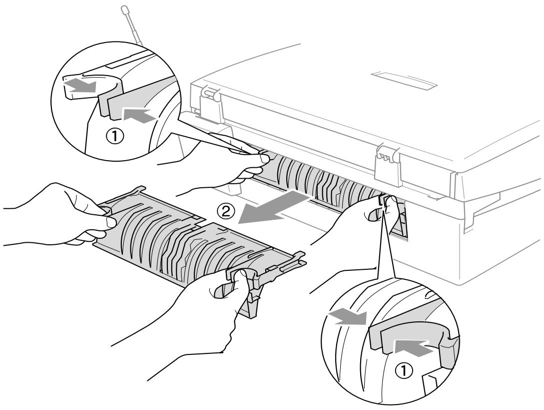
記録部に記録紙がつまったときは、以下の手順で記録紙を取り除きます。

注意

■ プリントヘッドの下に紙がつまったときは、電源を切ってからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。

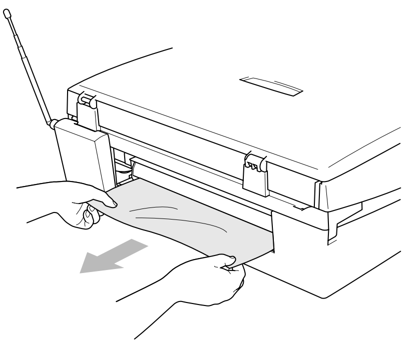
1 本体背面の紙づまり解除カバーを取り外す

両手で左右のつまみをつまんだまま（①）、手前に引いて（②）取り外します。



2 記録部入口につまった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

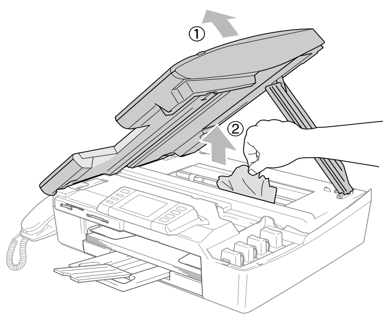


3 紙づまり解除カバーを取りつける

4 本体カバーを開けて、内部に記録紙が残っていないか確認する

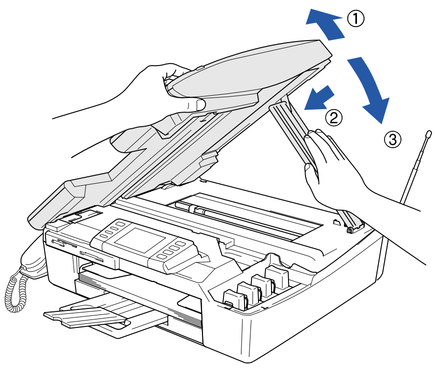
本体カバーはしっかりと固定される位置まで上げて（①）、残っている記録紙があれば取り除いてください（②）。

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。



5 本体カバーを閉める

固定をとるために少し本体カバーを持ち上げ（①）、本体カバーサポートをゆっくり押しながら（②）、本体カバーを閉めます（③）。



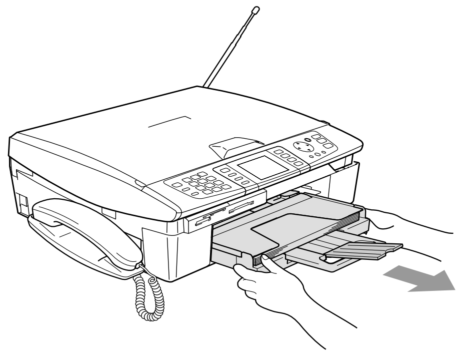
注意

■ 本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。

記録紙挿入口につまった記録紙を取り除く

記録紙挿入口に記録紙がつまったときは、以下の手順で記録紙を取り除きます。

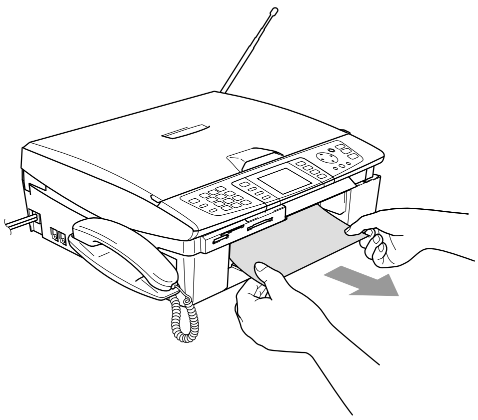
1 記録紙トレイをはずす



注意

■ 記録紙挿入口に繰り込まれている記録紙は、無理に引き抜かないでください。

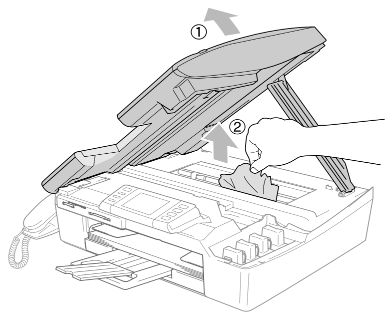
2 記録紙挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く



3 本体カバーを開けて、内部に記録紙が残っていないか確認する

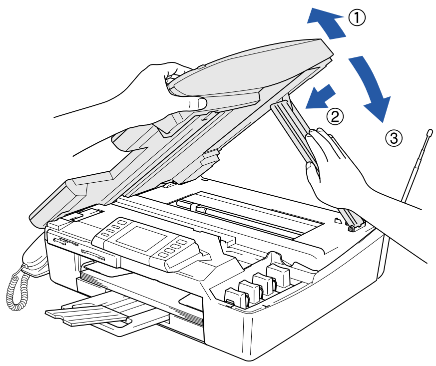
本体カバーはしっかりと固定される位置まで上げて（①）、残っている記録紙があれば取り除いてください（②）。

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。



4 本体カバーを閉める

固定をとるために少し本体カバーを持ち上げ（①）、本体カバーサポートをゆっくり押しながら（②）、本体カバーを閉めます（③）。



ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは （MFC-840CLN のみ）

MFC-840CLN をお使いの場合に、ADF（自動原稿送り装置）で原稿がつまったときは、ブザーが鳴って下記のメッセージが表示されます。

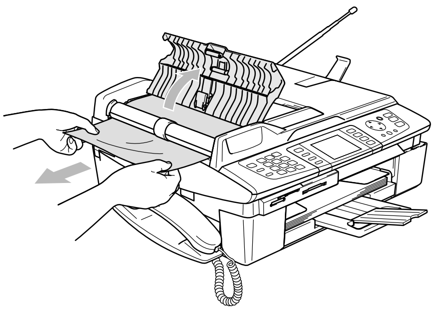
・【原稿が詰まっています／詰まった紙を取り除いて を押してください】

■ ADF（自動原稿送り装置）の出口でつまった原稿を取り除く

1 ADF（自動原稿送り装置）から、つまっていない原稿をすべて取り除く

2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまった原稿を抜き取る

原稿が破れないよう、静かに抜き取ります。



3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

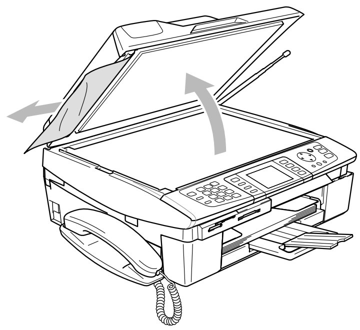
4 停止/終了 を押す

■ ADF（自動原稿送り装置）内でつまった原稿を取り除く

1 ADF（自動原稿送り装置）から、つまっていない原稿をすべて取り除く

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿を抜き取る

原稿が破れないよう、静かに抜き取ります。



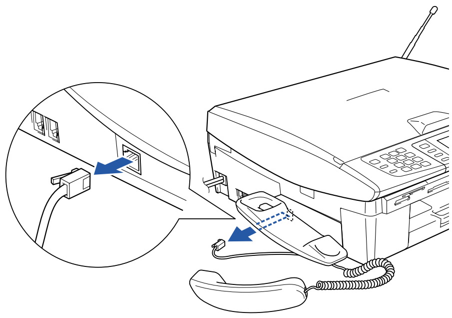
3 原稿台カバーを閉じる

4 停止/終了 を押す

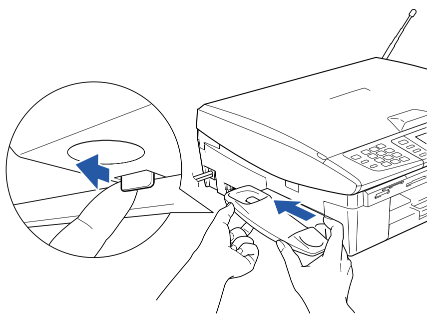
受話器を取り外してお使いになるときは

受話器をお使いにならない場合は、以下の手順で受話器台を取り外すことができます。

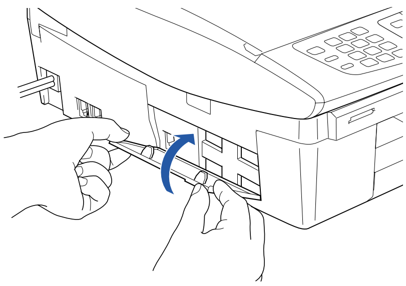
1 受話器コードを外す



2 つまみを手前に引き、受話器台を矢印の方向に外す

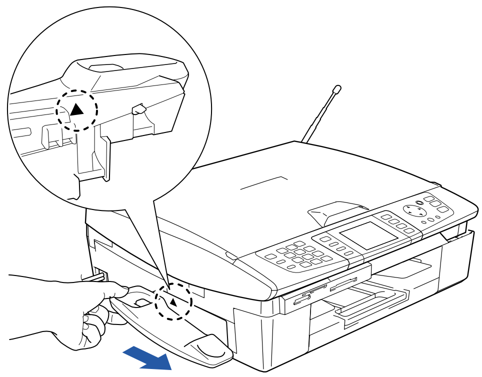


3 受話器台外し口カバーをつける



■ 受話器台を再度取り付ける場合

外した受話器台を取り付ける場合は、受話器台外し口カバーを外して、本機と受話器台の▲印を合わせて矢印の方向に引いて取り付けます。
受話器台外し口カバーを手で外すのが難しい場合は、コインなどを差し込んで外してください。



インクがなくなったときは

本機は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。インクの残りが少なくなると、文字のカスレなどが発生しやすくなります。
インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジを交換することをおすすめします。

· インクの残りが少なくなったとき（ブラックが少なくなったとき）：【まもなくインク切れ：ブラック】
· インクがなくなったとき：【インク切れ：ブラック】

注意

■ **どれか 1 つのインクがなくなった場合でも、【インク切れ：○○】と表示されたときは、インクカートリッジを交換するまで印刷できません。以下の手順でインクカートリッジを交換してください。**

- 必要なときに、インク残量を確認することもできます。⇒ 150 ページ「インク残量を確認する」
- インクカートリッジは、黒 LC09BK、シアン LC09C、マゼンタ LC09M、イエロー LC09Y をお買い求めください。お近くの販売店で交換用のインクカートリッジが手に入らないときは、「ご注文シート」などでご注文ください。
⇒ 155 ページ「消耗品を注文したいときは」

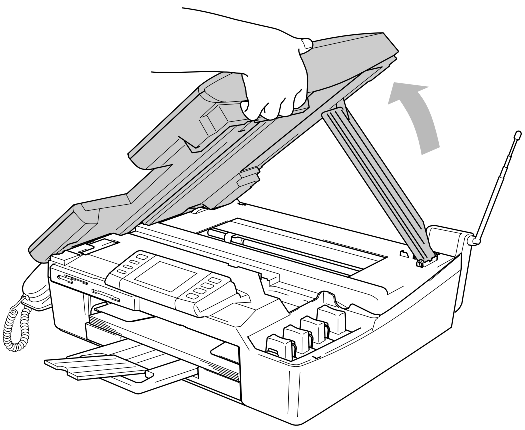
インクカートリッジを交換する

インクが少なくなったインクカートリッジを、新しいインクカートリッジに交換します。

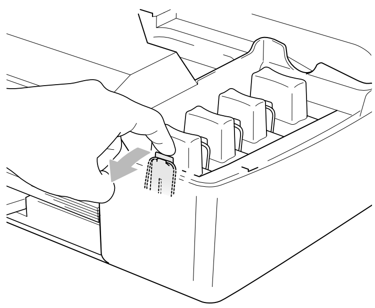
注意

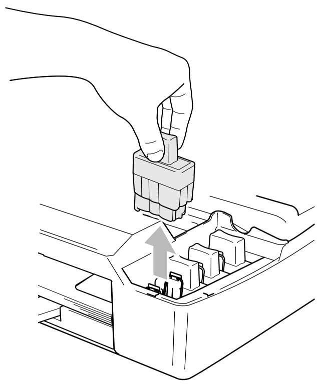
■ **開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。**
■ **インクカートリッジにインクを補充しないでください。プリントヘッドに障害を与える可能性があります。また、この場合は保証の対象外となります。**
■ **インクカートリッジを分解しないで下さい。インク漏れの原因になります。**

1 本体カバーを横から開き、しっかりと固定される位置まで上げる



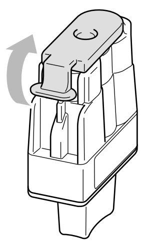
2 フックを外して、インクが少なくなったインクカートリッジを抜き取る





3 インクカートリッジを準備する

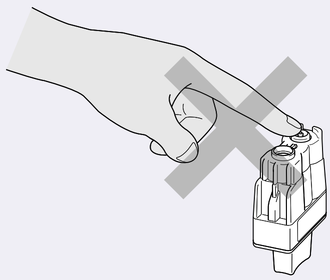
新品のインクカートリッジを開封し、キャップを取ります。



インクカートリッジの開封時にキャップが外れることがありますが、品質に影響はありませんので、そのまま取り付けてください。

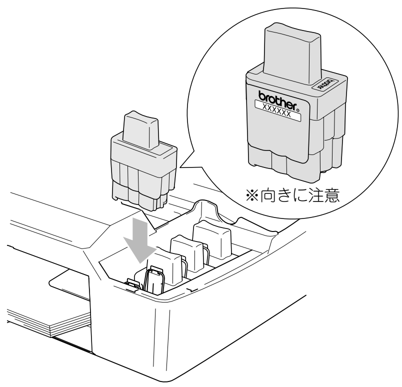
注意

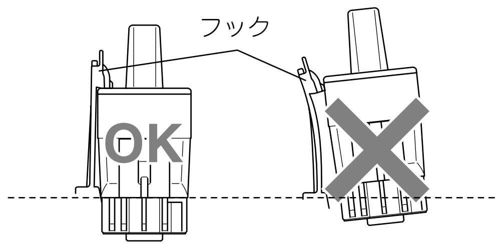
■ **インクカートリッジのインク開口部には手を触れないでください。インク開口部はインクで濡れています。衣類につくとシミになりますのでご注意ください。**



4 新しいインクカートリッジをインク挿入口に差し込む

本体側のフックがインクカートリッジの上面にかかるまで、まっすぐに押し込みます。





注意

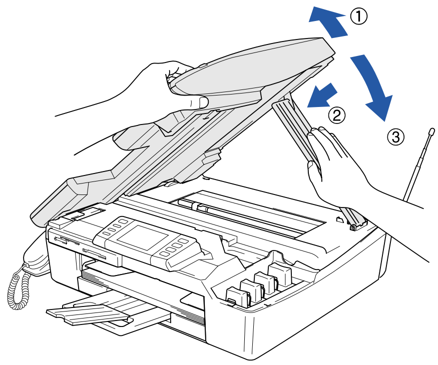
■ **インクカートリッジを何度も抜き差ししないでください。インクが漏れることがあります。**

5 本体カバーを閉じる

固定をとるために少し本体カバーを持ち上げ（①）、本体カバーサポートをゆっくり押しながら（②）、本体カバーを閉めます（③）。

注意

■ **本体カバーを閉めるときは、手をはさまないように注意して、最後まで本体カバーを持って閉めてください。**



◆ 待ち受け画面に戻ります。

注意

■ **新品のインクカートリッジに交換した場合、液晶ディスプレイに【インクを交換しましたか　ブラック／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されたときは、必ず、1 を押してください。1 を押さなかった場合、本機のインクドットカウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなります。**

【インク切れ】のメッセージが表示されているときにインクを交換した場合は、自動的にインクドットカウンターがリセットされます。

■ インクカートリッジを捨てるときは

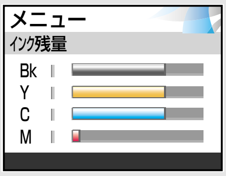
使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）

インク残量を確認する

本機では、以下の手順でインク残量を確認できます。

1 **メニュー を押し、 【インク】 OK 【インク残量】を選び、 OK を押す**

◆「ブラック／イエロー／シアン／マゼンタ」のインク残量が表示されます。



2 **停止/終了 を押す**

◆ 確認を終了します。

パソコンからも本機のインク残量を確認できます。詳しくは、ユーザーズガイド（HTML 版）をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド（HTML 版）「プリンタ」－「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニタ）」
⇒ユーザーズガイド（HTML 版）「パソコン活用」－「便利な使い方（ControlCenter2）」

印刷が汚いときは

横縞が目立つときなど、印刷画質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングや、印刷ズレを補正する必要があります。

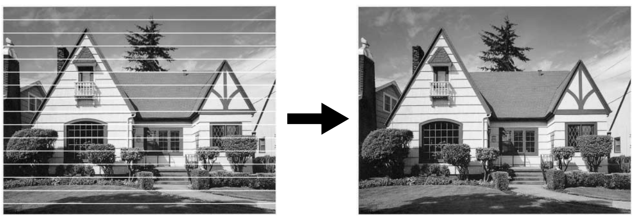
> 印刷したものに横縞が目立つときは、ヘッドクリーニングが効果的です。

定期メンテナンスについて

本機は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。印刷を開始するときなどに行われます。

プリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドをクリーニングします。1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口（コールセンター）「0570-031523」へご連絡ください。



目詰まり時　　　正常

> ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1 **メニュー を押し、【インク】 OK 【ヘッドクリーニング】を選び、OK を押す**

◆ **ヘッドクリーニングの設定画面が表示されます。**

2 **でクリーニングする色を選び、OK を押す**

色は、【ブラック】【カラー】【全色】から選択します。

◆ **プリントヘッドのクリーニングが開始されます。**

> 【ブラック】または【カラー】を選んだときは、クリーニングに約 30 秒かかります。【全色】を選んだときは、約 1 分かかります。

印刷品質をチェックする

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

1 メニュー を押し、 【インク】 OK 【テストプリント】を選び、 OK を押す

2 で【印刷品質】を選び、 OK を押す

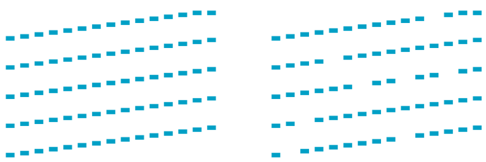
3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆「印刷品質チェックシート」が印刷されます。印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい ⇒1 を押してください／いいえ ⇒2 を押してください】と表示されます。

4 きれいに印刷されているときは 1 を、きれいに印刷されていないときは 2 を押す

1 色でも「悪い例」のような状態があるときは、2 を押します。

＜良い例＞　＜悪い例＞



◆ 1 を押した場合は、印刷品質チェックが終了します。

◆ 2 を押した場合は、【ブラックは OK ですか？／はい ⇒1 を押してください／いいえ ⇒2 を押してください】と表示されます。

5 黒色がきれいに印刷されているときは 1 を、きれいに印刷されていないときは 2 を押す

◆【カラーは OK ですか？／はい ⇒1 を押してください／いいえ ⇒2 を押してください】と表示されます。

6 カラーがきれいに印刷されているときは 1 を、きれいに印刷されていないときは 2 を押す

◆【クリーニング を開始しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

7 1 を押す

◆ プリントヘッドがクリーニングされます。

◆ クリーニングが終わると、【記録紙をセットして／ を押す】と表示されます。

8 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ もう一度、「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

◆ 印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい ⇒1を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。きれいに印刷されていたら、1 を押して、印刷品質チェックを終了します。きれいに印刷されていない場合は、手順 5 に戻ります。

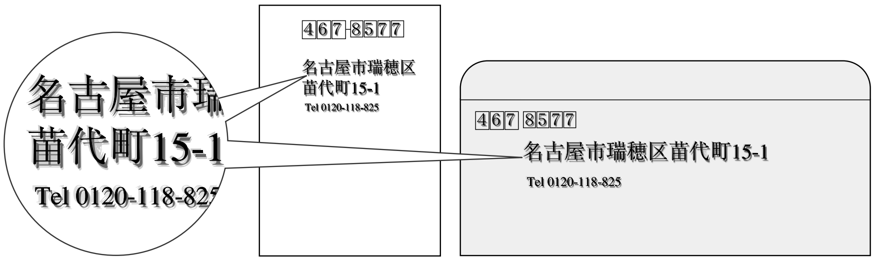
◆ 印刷品質のテストを終了します。

注意

■ 上記の操作を行っても正しく印刷されない場合は、インクカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

印刷位置のズレをチェックする

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて修正します。



1 メニュー を押し、【インク】OK【テストプリント】を選び、OK を押す

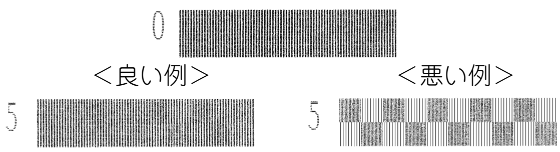
2 で【印刷位置】を選び、OK を押す

3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆「印刷位置チェックシート」が印刷されます。印刷後は、【印刷位置は OK ですか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

4 600dpi、1200dpi とも「No.0」と最も似ている印字パターンが「No.5」のときは 1 を、「No.5」以外のときは 2 を押す

「No.0」と最も似ているのが「No.5」であれば正常です。



◆ 1 を押した場合は、印刷位置チェックが終了します。

◆ 2 を押した場合は、【600DPI の補正番号選択（1-8）】と表示されるので、手順 5 に進みます。

5 600dpi について、「No.0」と最も似ている印字パターンの番号を入力する

◆【1200DPI の補正番号選択（1-8）】と表示されます。

6 1200dpi について、「No.0」と最も似ている印字パターンの番号を入力する

7 停止/終了 を押す

◆ 印刷位置チェックが終了します。

子機のバッテリーを交換するときは

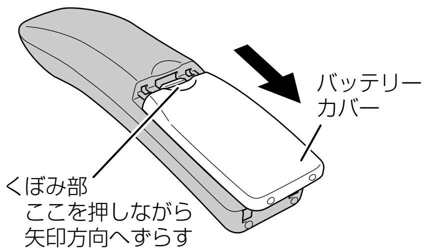
子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約 1 年です。交換バッテリー（型名：BCL-BT）は、本機または子機をお買い上げの販売店でお買い求めください。

注意

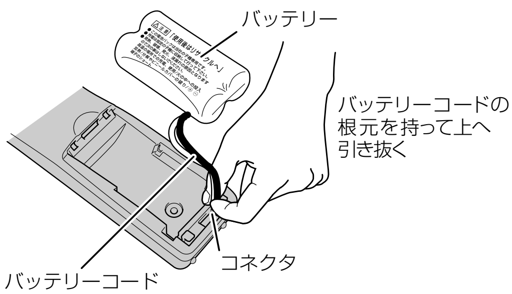
- ■ **バッテリーを交換したら必ず 15 時間以上充電してください。**
- ■ **バッテリーを覆っているビニールカバーをはがさないでください。**

1 バッテリーカバーを開ける

バッテリーカバーのくぼみ部を押しながら、矢印の方向へずらします。バッテリーカバーの後端部を持ち上げ、バッテリーカバーを外します。

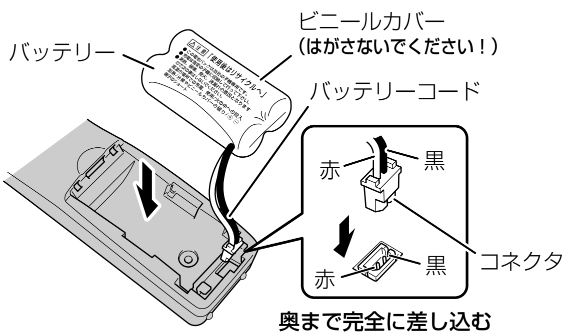


2 バッテリーを取り出し、コネクタを上へ引き抜く

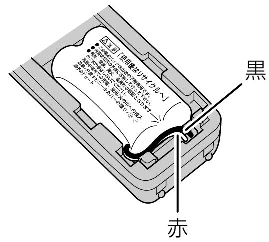


3 新しいバッテリーのコネクタを差し込む

コネクタは下図の向きに差し込みます。向きを間違えないように注意してください。

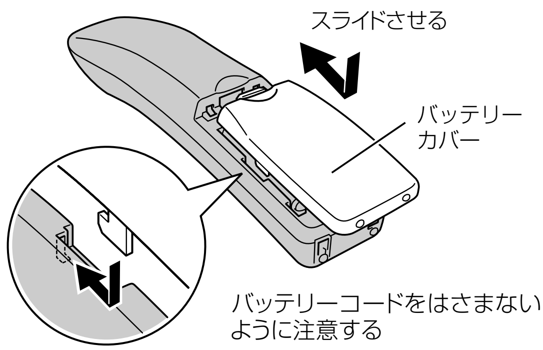


4 バッテリーを子機に入れる



5 バッテリーカバーを閉める

バッテリーコードをはさまないように注意してください。



注意

- ■ **バッテリーには充電式ニカド電池を使用しています。不要になったニカド電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店または弊社回収拠点にお持ちください。**
  - ・ ビニールカバーははがさないでリサイクル箱へ
  - ・ 分解しないでリサイクル箱へ
  - ・ コード先端をテープなどで絶縁して、リサイクル箱へ
- ■ **使用済み電池の届け出先は 205 ページをご覧ください。**

Ni-Cd

消耗品を注文したいときは

- 消耗品は、お近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、当社にてインターネット、電話、ファクスによるご注文も承っております。
- ファクスにてご注文される場合は、ご注文シートにご記入の上、お申し込みください。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上の場合は全国無料です。
- 5,000 円未満の場合は、500 円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 納期については土･日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

＜代引き＞ ・・・**ご注文後 2 ～ 3 営業日後の商品発送**
※配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。
＜お振込（銀行･郵便）＞ ・・・**ご入金確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送**
※代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。）
※振込手数料はお客様負担となります。
＜クレジットカード＞ ・・・**カード番号確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送**
※カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせていただきます。

● **ご注文先**
ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ
ホームページ：http://direct.brother.co.jp
住所　：〒 467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町 15-1
TEL　：0120-118-825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9：00 ～ 12：00　13：00～ 17：00）
FAX　：052-825-0311
振込先：口座名義：ブラザー販売株式会社
銀行　：三井住友銀行上前津（カミマエヅ）支店普通 6428357
郵便　：振り込み番号 00860-1-27600

消耗品について⇒ 206 ページ「関連製品のご案内」

ご注文シートを印刷する

巻末のご注文シートをコピーしてお使いいただくこともできます。

1 記録紙をセットする

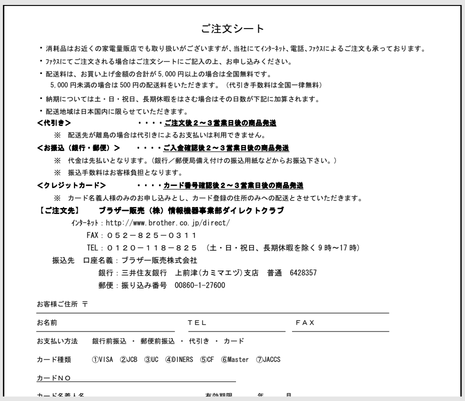
⇒ 31 ページ「記録紙のセットのしかた」

2 メニュー を押し、【レポート印刷】 OK【ご注文シート】を選び、OK を押す

⇒ 22 ページ「メニュー画面の操作」

3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ **ご注文シートが印刷されます。**


ご注文シート
・消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、当社にてｲﾝﾀｰﾈｯﾄ、電話、ﾌｧｸｽによるご注文も承っております。
・ﾌｧｸｽにてご注文される場合はご注文シートにご記入の上、お申し込みください。
・配送料は、お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上の場合は全国無料です。
5,000 円未満の場合は 500 円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）
・納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
・配送地域は日本国内に限らせていただきます。
＜代引き＞ ・・・・**ご注文後２～３営業日後の商品発送**
※　配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。
＜お振込（銀行・郵便）＞ ・・・・**ご入金確認後２～３営業日後の商品発送**
※　代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振込下さい。）
※　振込手数料はお客様負担となります。
＜クレジットカード＞ ・・・・**カード番号確認後２～３営業日後の商品発送**
※　カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせていただきます。
【ご注文先】　ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ：http://www.brother.co.jp/direct/
FAX：０５２－８２５－０３１１
TEL：０１２０－１１８－８２５　（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～17 時）
振込先　口座名義：ブラザー販売株式会社
銀行：三井住友銀行　上前津(カミマエヅ)支店　普通　6428357
郵便：振り込み番号　00860-1-27600
お客様ご住所 〒
お名前　　TEL　　FAX
お支払い方法　銀行前振込 ・ 郵便前振込 ・ 代引き ・ カード
カード種類　①VISA ②JCB ③UC ④DINERS ⑤CF ⑥Master ⑦JACCS
カードNO
カード名義人名　　有効期限　年　月

設定内容や機能を知りたいときは

設定内容リストを印刷する

現在設定されている内容を印刷します。設定内容を確認するときなどにお使いいただくと便利です。

1 記録紙をセットする

⇒31 ページ「記録紙のセットのしかた」

2 メニュー を押し、【レポート印刷】OK【設定内容リスト】を選び、OK を押す

⇒22 ページ「メニュー画面の操作」

3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 設定内容リストが印刷されます。

機能案内リストを印刷する

機能の解説を印刷します。操作方法を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。

1 記録紙をセットする

⇒31 ページ「記録紙のセットのしかた」

2 メニュー を押し、【レポート印刷】OK【機能案内】を選び、OK を押す

⇒22 ページ「メニュー画面の操作」

3 モノクロスタート または カラースタート を押す

◆ 機能案内リストが印刷されます。

エラーメッセージ

本機や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージと処置方法が液晶ディスプレイに表示されます。ディスプレイに表示された処置方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）0570-031523」へご連絡ください。

■ 親機のエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	対処
まもなくインク切れ： ブラック／イエロー／シアン／マゼンタ	インクの残りが少なくなっている。 このとき、カラーファクスの受信は中止されるため、カラーファクスが送られてきても、モノクロで受信されます。また、一部のファクシミリからは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。	カラーファクスを受信したいときは、新しいインクカートリッジに交換してください。⇒ 148 ページ「インクカートリッジを交換する」 「ご注文シート」を使って購入することもできます。⇒ 155 ページ「消耗品を注文したいときは」 なお、モノクロでのファクス受信やカラーコピーに影響はありません。【インク切れ】になるまで、利用できます。
インク切れ： ブラック／イエロー／シアン／マゼンタ	インク切れ。 1色でもインクがなくなると、印刷できなくなります。このとき、ファクスメッセージはメモリーに記憶されます。また、カラーファクスの受信は中止しています。	液晶ディスプレイに表示されている色のインクカートリッジを交換してください。⇒ 148 ページ「インクカートリッジを交換する」
印刷 できません 初期化できません スキャンできません クリーニングできません ヘッド動作できません エラー No.XX	機械内部で記録紙の破片や異物がつまっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、つまった記録紙の破片や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。問題が解決されない場合は、電源コードをいったん抜いて、接続し直してください。それでも問題が解決されない場合は、本機のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送した後、お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）へご連絡ください。 **別のファクシミリに転送する場合** （1）停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる （2）メニュー ◯ 【サービス】OK【データ転送】OK【ファクス転送】OK を押す 【受信データはありません】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。 ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順 (3) に進んでください。 （3）転送先のファクス番号を入力し、モノクロスタート を押す （注意）発信元登録がされていないと転送ができません。 （注意）転送先のファクシミリがカラーファクス受信できない場合は、カラーファクスの転送はできません。 **本機と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合** （1）停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる （2）メニュー ◯ 【ファクス】OK【応用機能】OK【転送／メモリー受信】OK を押す （3）◯ で【PC ファクス受信】を選び、OK を押す メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスをPCに転送しますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒ 2 を押してください】と表示されます。 （4）1 を押す （5）停止/終了 を押す （注意）カラーファクスは、パソコンに転送できません。 **通信管理レポートを別のファクシミリに転送する場合** （1）停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる （2）メニュー ◯ 【サービス】OK【データ転送】OK【レポート転送】OK を押す （3）転送先のファクス番号を入力し、モノクロスタート を押す

第1章 ご使用の前に
第2章 電話
第3章 ファクス
第4章 電話帳
第5章 留守番機能
第6章 コピー
第7章 フォトメディアキャプチャ
第8章 こんなときは
付録

エラーメッセージ	原因	対処
回線設定してください	ＡＤＳＬのＩＰフォンに接続している。 ＰＢＸに接続している。 マンションアダプタ回線に接続している。	手動で回線種別を設定し直してください。⇒27ページ「回線種別を設定する」
カートリッジがありません	インクカートリッジが装着されていません。	インクカートリッジを装着してください。⇒148ページ「インクカートリッジを交換する」
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	本体カバーが完全に閉まっていない。	本体カバーを再度閉め直してください。
記録紙が詰まっています	記録紙が記録部につまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。⇒144ページ「紙がつまったときは」
記録紙サイズを確認してください A4サイズの記録紙をセットして を押してください	記録紙トレイにA4サイズ以外の記録紙がセットされている。	A4サイズの記録紙をセットして モノクロスタート または カラースタート を押してください。
記録紙を送れません 記録紙を入れ直して を押してください	記録紙がないか、正しくセットされていない。	記録紙を補給するか、正しくセットして、モノクロスタート または カラースタート を押してください。
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。⇒151ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
室温が高すぎます 室温を下げてください	室温が高くなっている。	室温を下げてお使いください。
室温が低すぎます 室温を上げてください	室温が低くなっている。	室温を上げてお使いください。
切断されました	通信中に相手機から回線が切断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
通信エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
	インターネット電話やIPフォンなど、IP網を使用している。（相手側を含む）	インターネット電話やIPフォンなど、IP網の状況によりファクス送信／受信ができないことがありますので、IP網を使わずに送信／受信してください。 不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
データが残っています	パソコンから本機に印刷するデータを送っている途中でケーブルが抜けた。 パソコン側がハングアップした。	停止/終了 を押してください。 （印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。）
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
転送できません データがいっぱいです／通信エラー	電波障害、子機の電話帳がフルなどの理由により、子機への電話帳転送ができなかった。	子機の電話帳に空きがあることを確認し、もう一度、操作をやり直してください。
電話機コードを 接続してください	電話機コードが接続されていない。	電話機コードを接続してください。⇒かんたん設置ガイド
話し中／応答がありません	相手先が話し中か、応答がなかった。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。 相手がファクスではない場合は応答しないので、再ダイヤルを繰り返したあと、【話し中／応答がありません】になります。
ファイルがありません	メモリーカード内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードに保存されているファイル形式を確認してください。
プリンタ使用中	本機のプリンタが、動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。
メモリーカードが認識できません メモリーカードのタイプを確認して挿入しなおしてください	メモリーカードがフォーマットされていない。 メモリーカードが壊れている。	メモリーカードを抜き、正しいメモリーカードを差し込んでください。
	メモリーカードがカードスロットに正しく差し込まれていない。	メモリーカードを抜いて、差し込み直してください。

エラーメッセージ	原因	対処
メモリーがいっぱいです	本機のメモリーがいっぱいで、メモリーカード内のファイルが読み取れない。	本機のメモリーをクリアするかメモリーカード内の画像データのサイズを小さくしてください。
メモリーがいっぱいです 読み取り分コピー⇒ 中止⇒	空きメモリーが不足している。 （コピー中に表示される）	モノクロスタート または カラースタート を押すと、すでに読み込んだ原稿をコピーします。 コピーを中止するには 停止/終了 を押してください。
メモリーがいっぱいです 読み取り分送信⇒ 中止⇒	空きメモリーが不足している。	空きメモリーが不足しています。ファクスメッセージや留守録データを消去してください。モノクロスタート または カラースタート を押すと、すでに読み込んだ原稿を送信します。停止/終了 を押すと送信を中止します。
メモリーがいっぱいです を押してください	空きメモリーが不足している。	メモリーに記録されている音声メッセージやファクスメッセージを消去してください。

■ 子機のエラーメッセージ

エラーメッセージ	原因	対処
ｵﾔｷ ｼﾖｳﾁｭｳ	親機が使用中。	使い終わるのを待ってください。
《ﾂｳﾜ ｹﾝｶﾞｲ》 ｵﾔｷﾆ ﾁｶﾂﾞｲﾃ ｸﾀﾞｻｲ	通話中のコードレス子機の使用圏内（親機から、障害物のない直線距離で約100m以内）を越えた。	約 15 秒以内に使用圏内に戻ってください。
ｵﾔｷｦ ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	他の子機を使用している。 親機がコピー中、またはファクス中。 電波状態が悪い、親機の電源が入っていない。	親機の状態を確認してください。
《ﾃﾞﾝﾁﾉｺﾘﾅｼ》 ｼﾞｭｳﾃﾞﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	バッテリーがなくなった。	充電器に置いて充電してください。通話中にこのメッセージが出たときは、約 10 秒以内に 内線/クリア 保留 を押して充電器に置き、親機の受話器を取って通話を続けてください。
ｶﾞｲｾﾝﾎﾞﾀﾝｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	子機または充電器の充電端子が汚れている可能性がある。（ただし、充電器から子機をとり、何も操作しないまま約60 秒経過したときも表示されます。）	子機および充電器の充電端子は定期的に掃除してください。⇒ 143 ページ「子機を清掃する」 充電器に子機を戻す、または 切 を押すと表示が消えます。
ｺｷｶﾞ ﾊｽﾞﾚﾃｲﾏｽ		
ﾃﾝｿｳ ﾃﾞｷﾏｾﾝ ｵﾔｷ ｹﾝｽｳﾌﾙ ﾏﾀﾊ ﾃﾝｿｳｴﾗｰ	電波障害、親機の電話帳に登録できる件数を超えているなどの理由により、その他の操作ができなかった。	親機の電話帳に空きがあることを確認し、もう一度操作をし直してください。
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ!	登録できる件数を超えている。	不要な電話番号を消去してください。
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾆ ﾄｳﾛｸｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	電話帳に登録がない。	電話帳を登録してください。 ⇒ 109 ページ「子機の電話帳を利用する」
ﾃﾝｿｳｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽ	親機に電話帳を転送しているとき、切 を押した。	もう一度操作をやり直してください。
ﾊｯｼﾝﾘﾚｷﾅｼ	発信履歴に電話番号がない。	そのまま、お使いください。

故障かな？と思ったときは

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートページ、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）のQ&Aをチェックしてください。それでも異常があるときは、「お客様相談窓口 0570-031523」へご連絡ください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない。	回線種別が正しく設定されていますか。	【ダイヤル回線 10PPS】の場合は、手動で回線種別を設定してください。⇒ 27 ページ「回線種別を設定する」
	電話をかけられない場合がある。（インターネット電話やIPフォンなどのIP網を使用している場合）	回線種別が正しく設定されていますか。	本機をIP網で使用する場合は、手動で回線種別を設定してください。⇒ 27 ページ「回線種別を設定する」
		電話帳機能を利用して、電話をかけていませんか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTTなど）を選んでかけている場合は、番号の後に 再ダイヤル/ポーズ（親機）または 発信履歴/P/文字切替（子機）を押して、ポーズ（約3秒間の待ち時間）を入れてください。
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTTなど）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルした後、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、電話をかけられない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「ー」または「P」が入っていませんか。	「ー」または「P」を削除して登録してください。
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい。	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。⇒ 41 ページ「親機の音量を設定する」
	通話中に ◯ で受話音量の設定ができない。	機能設定中に電話を受けましたか。	機能設定中に電話を受けた場合は、停止/終了 を押してから ◯ で受話音量を変更してください。
	電話の着信音が小さい。	着信音量の設定が小さくないですか。	着信音量を大きくしてください。⇒ 41 ページ「親機の音量を設定する」
	受話器からの相手の声が聞き取りにくい。	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。⇒ 41 ページ「親機の音量を設定する」
	相手に声が聞こえないと言われる。	受話器の送話口（マイク）をふさいでいませんか。	送話口（マイク）をふさがないでください。
	子機でスピーカーホン通話がうまくできない。	まわりの音がうるさくないですか。	◯ を押して子機を持って話してください。
	電話がかかってきても応答しない／着信音が鳴らない。	呼出回数が 0 回になっていませんか。	呼出回数を確認してください。⇒ 39 ページ「呼出回数を設定する」
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が【あり】になっていませんか。	ナンバー・ディスプレイの設定を【なし】にしてください。⇒ 67 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」
		電源オフ設定が【呼び出しをしない】の状態で、本機の電源がオフになっていませんか。	電源オフ設定を【呼び出しをする】にしてください。⇒ 26 ページ「電源 オフ時の動作を設定する」
	受話器から「ツー」という音が聞こえない。	オンフック（親機）を押して、スピーカーから「ツー」という音が聞こえていますか。	「ツー」という音が聞こえている場合は、受話器コードが親機にしっかり接続されているか確認してください。 「ツー」という音が聞こえていない場合は、電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているか確認してください。
		電話機コードが正しく接続されていますか。	電源コードと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているか確認してください。
		電源オフ設定が【呼び出しをしない】の状態で、本機の電源がオフになっていませんか。	電源オフ設定を【呼び出しをする】にしてください。⇒ 26 ページ「電源 オフ時の動作を設定する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	声が途切れる。	インターネット電話やIPフォンなど、IP網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話やIPフォンなど、IP網の状況により声が途切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を【しない】に設定してください。⇒ 95ページ「電話に出ると自動的に受ける」 ※ このときは、ファクスは手動で受信します。⇒ 84ページ「自動的に受ける」
		インターネット電話やIPフォンなど、IP網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話やIPフォンなど、IP網の状況により通話が切れることがありますので、IP網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が【なし】になっていませんか。	ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。⇒ 67ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」
	通話中に雑音が入る。	音質調整の設定を変更してみてください。⇒ 170ページ「回線状況に応じて設定する」	
	本機のメロディが鳴りだして止まらない。	電話回線に接続されていますか。	電話機コードを使って、電話回線に接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド それでも止まらないときは、（ファクス）と（コピー）を同時に押してください。
キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。⇒かんたん設置ガイド
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。⇒かんたん設置ガイド
	電話番号は表示されるが、着信音がメロディにならない。	着信鳴り分けが【ベル】に設定されていませんか。	着信鳴り分けの設定を確認してください。⇒ 69ページ「相手によって着信音を変える」
キャッチホン・ディスプレイ	キャッチホンが入ったとき、雑音が入り、電話番号が表示されない。	キャッチホン・ディスプレイの設定が【なし】に設定されていませんか。	キャッチホン・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。⇒ 75ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」
ISDN	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい。	ISDN回線のターミナルアダプタに接続していませんか	ターミナルアダプタに受話音量の設定がある場合は、受話音量【小】に設定してください。また、本機の受話音量を小さくしてください。⇒ 41ページ「音量を設定する」
	電話がかけられない。	回線種別が【プッシュ回線】に設定されていますか。	回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。⇒ 27ページ「回線種別を設定する」
		本機が接続されているアナログポート（ターミナルアダプタやダイヤルアップルータの接続口）を「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
	電話がかかってきても本機の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているか確認してください。
		電源が入っていますか。	電源コードを接続してください。
		本機に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプタが正しく設定されていません。ターミナルアダプタの設定を確認してください。また、ターミナルアダプタの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプタの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号およびi・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	本機が接続されているアナログポートに1～2回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプタやダイヤルアップルータの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	本機に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本機を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。（初期値のままで使用可能です。）
			契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合は､以下のように設定してください。 ・ サブアドレスなし着信：「着信する」 ・ HLC 設定：「HLC 設定しない」 ・ 識別着信：「識別着信しない」
			i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本機を接続している場合は、以下のように設定してください。 ・ サブアドレスなし着信：「着信する」 ・ HLC 設定：「HLC 設定しない」 ・ 識別着信：「識別着信しない」
		相手側のターミナルアダプタの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプタの設定が誤っていることもあります。この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本機を接続しているターミナルアダプタの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。
	契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	グローバル着信は「しない」に設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を【ISDN】にしてください。⇒ 170 ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口 0570-031523 へご連絡ください。
	ファクス送受信ができない。（電話も使えない）	ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。 回線に異常がなければ、お客様相談窓口 0570-031523 へご連絡ください。
ADSL	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善する場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
子機	動作しない／着信音が鳴らない。	バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。⇒ 154 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		バッテリーの残量がなくなっていませんか。	バッテリーを充電してください。⇒ 154 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 27 ページ「回線種別を設定する」
		着信音量が「OFF」になっていませんか。	着信音量を「OFF」以外に設定してください。 ⇒ 42 ページ「着信音量を設定する」
		親機から離れすぎていませんか。	着信音が鳴る範囲まで、（子機を）親機に近づけてください。
		近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。	電気製品などから離してください。 親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。⇒ 174 ページ「通話がうまくいかないときは」
		親機で機能の設定や変更、登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。
		親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		親機のアンテナと子機用 AC アダプタのコードが近くにありませんか。	親機のアンテナから子機用 AC アダプタのコードを遠ざけてください。（アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。）

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	声が途切れる。	インターネット電話やIPフォンなど、IP網を使用していませんか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	インターネット電話やIPフォンなど,IP網の状況により声が途切れることがありますのでIP網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を【しない】に設定してください。⇒ 95 ページ「電話に出ると自動的に受ける」 ※ このときは、ファクスは手動で受信します。⇒ 84 ページ「自動的に受ける」
		インターネット電話やIPフォンなど、IP網を使用していませんか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	インターネット電話やIPフォンなど,IP網の状況により声が途切れることがありますのでIP網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が【なし】になっていませんか。	親機で、ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。⇒67ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」
	雑音が入りやすい。	近くに電気製品や障害物はありませんか。	設置環境を確認してください。⇒ 174 ページ「通話がうまくいかないときは」
			親機のアンテナをのばし、向きを前後／右側に変えてみてください。
			親機の置き場所や向きを変えてみてください。
			親機のアンテナから子機用ACアダプタのコードを遠ざけてください。(アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。)
			親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。
		放送局、高圧線などが近くにありませんか。	親機の置き場所や向きを変えてみてください。
		自動車、オートバイ、飛行機が近くを通っていませんか。	雑音が消えるまでしばらくお待ちください。または、一時的に親機をご使用ください。
		蛍光灯のスイッチを「入」「切」していませんか。	
		ご近所、同じマンション内で別のコードレス電話機を使用していませんか。	
		移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。
		親機を使っても同様に雑音が入りますか。	音質調整の設定を変更してみてください。 ⇒ 170 ページ「回線状況に応じて設定する」
	通話中、キャッチホンが入ると雑音がする。	キャッチホン・ディスプレイサービスをご利用ですか。	キャッチホン・ディスプレイサービスをご利用の場合、データ通信の信号音(「ピポッ、ザー」)が聞こえ、通話が一時途切れます。異常ではありませんので、そのままお使いください。
	相手の声が聞こえにくい。	受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。
	相手から聞こえないと言われる。	送話口(マイク)をふさいでいませんか。	受話口、送話口(マイク)をふさがないでください。
	子機の着信音が遅れて鳴る。	故障ではありません。(電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の着信音が鳴り、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。)	そのままお使いください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	充電器に置いても「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾁｭｳ」と表示されない。	充電器の子機用 AC アダプタは確実に差し込まれていますか。	AC アダプタの電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。
		バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。⇒ 154 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		充電器に正しく置かれていますか。	液晶ディスプレイが正面に見える方向に、子機を置いてください。
		充電端子が汚れていませんか。	充電端子をきれいに拭いてください。⇒ 143 ページ「子機を清掃する」
		バッテリーを交換しましたか。	新しいバッテリーは充電されていません。子機を充電器に置いて約 1 分後に「ｼﾞｭｳﾃﾞﾝﾁｭｳ」と表示された場合は、そのままバッテリーの充電をしてください。初めて充電するときは 15 時間以上行ってください。
	子機が温かい。	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。	そのままお使いください。
	充電器からとったり、[外線]を押すと、「ピーピーピー」と鳴り、[外線]が消灯する。	親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		親機から離れすぎていませんか。	親機の近くに（通話圏内）に戻ってください。
		電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	通話できる位置まで移動してください。
	充電してもバッテリー警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴り、ディスプレイに「<< ﾃﾞﾝﾁﾉｺﾘｶﾞ >> ｼﾞｭｳﾃﾞﾝしてください」と表示される。	充電器の子機用 AC アダプタは確実に差し込まれていますか。	AC アダプタの電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください⇒ 154 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。⇒ 154 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。⇒ 154 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
	警告音（ピピッピピッ）が鳴り、ディスプレイに「ｺｷｶﾞ ﾊｽﾞﾚﾃｲﾏｽ」と表示される。	充電端子が汚れていませんか。	充電端子をきれいに拭いてください。⇒ 143 ページ「子機を清掃する」
		充電器から子機を取り、ダイヤル操作なしで60秒経過していませんか。	子機を充電器に戻してください。
	通話開始後、約 1 分たつと警告音（ピピッピピッ）が鳴り、液晶ディスプレイに「ｺｷｶﾞ ﾊｽﾞﾚﾃｲﾏｽ」と表示される。	親機から子機へ電話を取り次ぐとき、[保留/子機]を押さずに受話器を戻していませんか。	親機から子機へ電話を取り次ぐときは、[保留/子機]を押してから取り次いでください。⇒ 60 ページ「親機から子機へ電話を取り次ぐ」
	通話中に警告音（ピッピッピッ）が鳴る。	子機で通話中に電波の届かない所に出ていませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
	通話中に警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴る。	バッテリーが少なくなっていませんか。	通話を終了して子機を充電器に戻してください。
			通話を保留にして子機を充電器に戻し、親機で通話を続けてください。
留守番機能	外出先からの操作ができない。	トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
	メッセージが録音の途中で切れている。	録音中に 8 秒以上無音が続きませんでしたか。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
	メッセージが録音できない。	空きメモリーが不足していませんか。	音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを消去してください。
ファクス／コピー	スタートボタンを押しても送信／受信しない。	[モノクロスタート]または[カラースタート]を押す前に、受話器を戻していませんか。	[モノクロスタート]または[カラースタート]を押してから受話器を戻してください。⇒ 83 ページ「話をしてから送る」
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。⇒27 ページ「回線種別を設定する」
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。（ISDN回線の場合）	ターミナルアダプタの設定を確認してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	ファクス送信／受信ができない。	インターネット電話やIP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信／ 受信ができないことがあります。IP 網を使わずに送信／受信してください。不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
			安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心】の順にお試しください。⇒ 170 ページ「安心通信モードに設定する」
		ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか。	安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心】の順にお試しください。⇒ 170 ページ「安心通信モードに設定する」
		音質調整の設定を変更してみてください。⇒ 170ページ「回線状況に応じて設定する」	
	ファクスを受信できない。	転送電話（ボイスワープ）の契約をしていませんか。	転送電話（ボイスワープ）の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	カラーファクス受信ができない。	下記の機能を設定しているときは、カラーファクスの受信ができません。 ・安心通信モード ・メモリー受信／ファクス転送	カラーで受信したいときは、これらの設定を解除してください。 ・安心通信モード：【標準】にする⇒ 170 ページ「安心通信モードに設定する」 ・メモリー受信／ファクス転送：【オフ】にする ⇒ 97 ページ「ファクスを転送する」 ⇒ 98 ページ「受信したファクスをパソコンに送る」
		インクが残り少なくなるとカラーファクスの受信ができません。	カラーファクスを受信したいときは、新しいインクカートリッジに交換してください。⇒ 148 ページ「インクカートリッジを交換する」
	ファクスを送信できない場合がある。（IP網を使用している場合）	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号の後に 再ダイヤル/ポーズ を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		自動送信機能を利用していますか。	
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルした後、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、ファクスが送信できない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「ー」が入っていませんか。	「ー」を削除して登録してください。
	ファクスを複数枚送信できない。	リアルタイム送信を【する】にしていませんか。	リアルタイム送信を【しない】にしてください。⇒ 90 ページ「原稿をすぐに送る」
		オンフック を押してファクスを送信していませんか。	オンフック を押さずに送信してください。
	送信後、相手から画像が乱れていると連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。⇒ 142 ページ「原稿台ガラスを清掃する」
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認してください。または、別のファクスから相手先に送信してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整してください。 ⇒ 87 ページ「画質や濃度を変更する」
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。⇒ 64 ページ「キャッチホンサービスを利用する」 「キャッチホンⅡ」のご利用をお勧めします。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないようにしてください。⇒かんたん設置ガイド
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本機の読み取り部分、または受信側ファクシミリのプリンタのヘッドが汚れていませんか。	読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。（142 ページ）それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	受信／コピーしても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、本体カバーを正しくセットしてください。⇒ 31 ページ「記録紙のセットのしかた」
		記録紙がなくなっていませんか。	
		本体カバーまたはインク挿入口カバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙がつまっていませんか。	つまった記録紙を取り除いてください。⇒ 144 ページ「紙がつまったときは」
		インクの残量は十分ですか。	インク残量を確認してください。⇒ 150 ページ「インク残量を確認する」
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる。	相手が原稿を裏返しに送信していませんか。	相手に確認し、もう一度送信し直してもらってください。
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認してください。⇒ 123 ページ「コピーする」
	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いときに起こります。	相手にもう一度、送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、もう一度送信し直してもらってください。
	きれいにコピーできない	読み取り部が汚れていませんか。	読み取り部を清掃してください。⇒ 142 ページ「原稿台ガラスを清掃する」
	2 枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿がA4より長くありませんか。	自動縮小の設定を【する】にしてください。⇒ 95 ページ「自動的に縮小して受ける」
	自動受信できない。	着信回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは着信回数を 6 回以下に、留守モードのときは着信回数を 2 回以下に設定してください。（⇒ 39 ページ「呼出回数を設定する」）または  または  を押して手動で受信してください。
	構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない。	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認します。	特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。（⇒ 170 ページ「特別な回線に合わせて設定する」）それでも受信できないときは、「お客様相談窓口 0570-031523」にご連絡ください。
	ADF （自動原稿送り装置）使用時、原稿が送り込まれていかない。	原稿の先が軽く当たるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実にセットしてください。
		ADF（自動原稿送り装置）カバーは確実に閉まっていますか。	ADF （自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスまたはコピーしてください。
		原稿が小さすぎませんか。	小さすぎる原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	ADF （自動原稿送り装置）カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。
	ADF （自動原稿送り装置）使用時、原稿が斜めになってしまう。	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	原稿ガイドを確実に原稿に合わせてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	ADF （自動原稿送り装置）カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。
	ADF（自動原稿送り装置）を使ってきれいにコピーできない。	原稿台ガラスからコピーしてください。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント （印刷）	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をほぐして入れ直してください。 ⇒ 31 ページ「記録紙のセットのしかた」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	同じ種類の記録紙のみセットしてください。
	本機が印刷しない。	本機の電源が入っていますか。	電源を入れてください。
		インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取りつけてください。⇒ 148 ページ「インクカートリッジを交換する」
		USB ケーブルまたはネットワークケーブルが正しく接続されていますか。	USBケーブルまたはネットワークケーブルを正しく接続してください。⇒かんたん設置ガイド
	印刷された画像に規則的に横縞（バンディング）が現れる。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタドライバの【基本設定】タブの「印刷品質」の［設定］をクリックして表示される画面で、「標準（きれい）印刷」を ON にしてみてください。それでも改善されない場合は、「用紙種類」を「乾きにくい紙」に設定してください。
	印刷速度が極端に遅い。	「画質強調」が設定されていませんか。	プリンタドライバの「基本設定」タブの「印刷品質」の［設定］をクリックして表示される画面で、「画質強調」を OFF にしてみてください。または、「画質強調」の［詳細設定］をクリックして表示される画面で、「自動イメージ処理」を OFF にしてみてください。
	「画質強調」が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では「画質強調」は機能しません。この機能をご利用になるには少なくとも 24 ビットカラー以上をご使用ください。Windows の［スタート］メニューから（［設定］ー）［コントロールパネル］ー［画面］ー［設定］を選び、画面の色を 24 ビット以上に設定してください。
	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口 0570-031523 にご連絡ください。
	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていないですか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 外装箱に有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		温度が高すぎる、または低すぎませんか。	本機の使用環境温度内でご利用ください。
	インクがにじむ。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
	印刷面に白い筋が入る。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。（151 ページ）
	カラーで受信したはずのファクスがモノクロでしか印刷されない。	カラーインクカートリッジが空かほとんど空になっていませんか。	カラー用のカートリッジを交換してください。
	印刷ページの端や中央がかすむ。	本機が平らで、水平な場所に置かれているか確認してください。	問題が改善されない場合は、ヘッドクリーニングを数回します。もう一度印刷し直しても、印刷の質が良くならない場合は、インクカートリッジを交換してください。 インクカートリッジを交換してもまだ印刷の質に問題がある場合、お客様相談窓口　0570-031523 にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。 それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。⇒ 148 ページ「インクカートリッジを交換する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	「2 ページ」プリントがうまくプリントできない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタドライバの設定を確認してください。	アプリケーションで「2 ページ」を設定している場合は、プリンタドライバの「2 ページ」の設定を解除してください。
	マイクロソフト「エクセル」または「パワーポイント」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできない。	プリンタドライバの［拡張機能］タブで［イメージタイプ］の設定を確認してください。	「イメージタイプ」の設定を「写真」にしてください。
スキャナ	スキャン中にTWAINエラーが表示される。	ブラザーTWAINドライバが選択されていますか。	アプリケーションで［ファイル］-［TWAIN 対応機器の選択］の選択をして、ブラザー TWAIN ドライバを選択し、「選択」をクリックしてください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	Windows® XP をお使いの場合、スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
	ADF（自動原稿送り装置）を使ってきれいにスキャンできない。	原稿台ガラスからスキャンしてください。	
ソフト（Windows®）	「本製品接続エラー」か「本製品はビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。	本機の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USB ケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付 CD-ROM、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。
	アドビ・イラストレーターを使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	ＢＲＵＳＢ： ＵＳＢＸＸＸ： への書き込みエラーが表示される。	インク切れを確認してください。	液晶ディスプレイに表示されている色のインクカートリッジを交換してください。
	メモリーカードがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。	ドライバがインストールされていますか。	ドライバをインストールしてください。インストール方法については、かんたん設置ガイドをご覧ください。
		メモリーカードが停止状態になっていませんか。	メモリーカードを取り出し、再度挿入してください。 メモリーカードの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカード内のファイルを開いていたり、エクスプローラでメモリーカード内のフォルダを表示していませんか。	パソコン上で「取り出し」操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在カードにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。（メモリーカードを使用中のアプリケーションやエクスプローラをすべて閉じないと、「取り出し」操作はできません。）
		一度、パソコンと本機の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本機の電源を切って電源コードを抜いてください。電源コードを入れなおし、電源を入れてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本機）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザーズガイド（HTML 版）「ネットワーク設定」-「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト（Macintosh®）	Brother Ink がセレクタに表示されない。	プリンタの電源が入っていますか。	プリンタの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。⇒かんたん設置ガイド
		プリンタドライバが正しくインストールされていますか。	プリンタドライバを正しくインストールしてください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	供給されている Macintosh® のプリンタドライバがシステムフォルダに正しくインストールされていますか、また、セレクタで選択されていますか。	供給されている Macintosh® のプリンタドライバをシステムフォルダに正しくインストールして、セレクタで選択してください。
その他	電源が入らない。	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグを確実に差し込んでください。雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。
	操作をしていないのに、本機が動き出す。	本機は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	①出力された記録紙の下端が汚れる。 ②出力された記録紙が揃わない。	記録紙ストッパーを閉じたままにしていませんか。	記録紙ストッパーは常時開いた状態で使います。記録紙ストッパーを開いてください。 ⇒ 31 ページ「記録紙のセットのしかた」
	液晶ディスプレイの文字が読みにくい	液晶ディスプレイのコントラストが【薄く】になっていませんか。	液晶ディスプレイのコントラストを【濃く】に設定してください。⇒ 48 ページ「液晶ディスプレイの設定を変更する」

特別な回線に合わせて設定する

[特別回線対応]

ファクスがうまく送信・受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。お買い上げ時は【一般】に設定されています。

1 メニュー を押し、【初期設定】OK【特別回線対応】を選び、OK を押す

⇒22 ページ「メニュー画面の操作」

◆ 設定値の一覧が表示されます。

2 で回線種別を選び、OK を押す

回線種別は、お使いの環境に合わせて、【一般】、【ISDN】、【PBX】から選びます。

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

【PBX】に設定すると、自動的にナンバー・ディスプレイの設定が【なし】になります。ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にするときは、特別回線対応の設定を【一般】にしてください。

回線状況に応じて設定する

[音質調整]

ご利用の回線状況によって、通話中に雑音が入ることがあります。親機での通話で雑音が入る場合やファクスの通信エラーがよく発生する場合、本機の設定を変えることにより、通信状態が改善することがあります。以下の手順をお試しください。

1 メニュー を押し、【初期設定】OK【音質調整】を選び、OK を押す

⇒22 ページ「メニュー画面の操作」

◆ 設定値の一覧が表示されます。

2 で現在の設定とは異なるレベルを選び、OK を押す

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

安心通信モードに設定する

[安心通信モード]

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、「安心通信モード」の設定を変えます。

- MFC-830CLN、MFC-830CLWN の場合
  お買い上げ時は【標準】に設定されているので、【安心】に設定してお試しください。
- MFC-840CLN の場合
  お買い上げ時は【高速】に設定されているので、【標準】、【安心】の順に設定してお試しください。

1 メニュー を押し、【ファクス】OK【安心通信モード】を選び、OK を押す

⇒22 ページ「メニュー画面の操作」

◆ 設定値の一覧が表示されます。

2 で設定を選び、OK を押す

- MFC-830CLN、MFC-830CLWN の場合
  【安心】に設定してお試しください。
- MFC-840CLN の場合
  まずは【標準】でお試しください。うまくいかない場合は【安心】でお試しください。

注意

■ 【安心】に設定すると、カラーファクスの受信ができません。(相手のファクシミリによっては、モノクロに変換して受信します。)

3 停止/終了 を押す

◆ 設定を終了します。

ファクスの送信・受信にかかる時間は、【高速】→【標準】→【安心】の順に、長くなります。

IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」(ゼロを4つ)付けておかけください。このとき、通信料は NTT などの一般の加入電話からの請求になります。

ファクスの通信エラーは、本機の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本機の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。

- 通信回線の品質
- 信号レベル
- 通信相手機の影響
- 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

ファクス送信時に、「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく自動送信ができない場合は、ダイヤルトーンを【検知する】に設定してください。お買い上げ時は【検知しない】に設定されています。

注意

■ 使用している PBX や IP 電話のアダプタによっては、【検知する】に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は【検知しない】のままお使いください。

1 **メニュー を押し、 【初期設定】 OK 【ダイヤルトーン設定】を選び、 OK を押す**

⇒ 22 ページ「メニュー画面の操作」

◆ 設定値の一覧が表示されます。

2 **で【検知する】または【検知しない】を選び、 OK を押す**

3 **停止/終了 を押す**

◆ 設定を終了します。

初期状態に戻す

登録した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、電話帳に登録した内容をすべて消去することができます。

注意

- ■ メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかをご確認の上、操作してください。
(⇒ 85 ページ「受信したファクスをディスプレイで見る」、⇒ 99 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」)
- ■ 子機に登録された個人データ（電話帳、発信履歴、着信履歴）は消去されません。個別に消去してください。
(⇒ 110 ページ「電話帳の内容をすべて削除する」、⇒ 53 ページ「発信履歴をすべて削除する」、⇒ 73 ページ「着信履歴をすべて削除する」)
- ■ 初期状態に戻してしまうと、設定・電話帳などの内容は元に戻せません。初期状態に戻す前に、電話帳に登録されている電話番号は印刷して保存しておいてください。⇒ 108 ページ「電話帳リストを印刷する」

個人情報を消去する

次の内容を一度にすべて消去することができます。
- お客様の名前・電話番号（⇒28 ページ「名前とファクス番号を設定する」）
- 電話帳の内容（⇒ 104 ページ「親機の電話帳を利用する」）
- グループダイヤルの内容（⇒ 107 ページ「グループダイヤルを登録する」）
- 発信履歴（再ダイヤル機能）の内容
- ファクス転送先の内容と転送設定解除（⇒ 120 ページ「外出先に転送する」）
- 暗証番号（⇒ 118 ページ「暗証番号を設定する」）
- メモリーの内容（受信データと音声メッセージも消去されます。）
- 見るだけ受信したファクス
- PC-FAX 受信データの未転送分（パソコンに転送したファクスのデータは消去されません。）
- ポーリング待機中の原稿の内容
- 応答メッセージ
- タイマー送信する相手先の内容（⇒88 ページ「時間を指定して送る」）
- 一括に送信する相手先の内容（⇒93 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」）
- 着信履歴の内容（⇒72 ページ「親機の着信履歴を利用する」）
- 通信管理レポートの内容（⇒ 100 ページ「通信管理レポートを印刷する」）

1 **メニュー を押し、◯【初期設定】OK【個人情報クリア】を選び、OK を押す**

⇒22 ページ「メニュー画面の操作」

◆【個人情報をクリアしますか？／はい ⇒1 を押してください／いいえ ⇒2 を押してください】と表示されます。

2 **1 を押す**

◆【決定 ⇒1 を押してください／キャンセル ⇒ 2 を押してください】と表示されます。

3 **もう一度 1 を押す**

◆【受付けました】と表示されたあと、【お待ちください】と表示されます。
個人情報が消去されたあと、待ち受け画面に戻ります。

機能設定を元に戻す

本機の以下の設定を一度にお買い上げ時の状態に戻すことができます。ただし、個人情報は消去されません。

- 回線種別の設定
  （⇒ 27 ページ「回線種別を設定する」）
- 現在の日付と時刻
  （⇒ 27 ページ「日付と時刻を設定する」）

1 **（メニュー）を押し、（▲▼）【初期設定】（OK）【機能設定リセット】を選び、（OK）を押す**

⇒ 22 ページ「メニュー画面の操作」

◆【機能設定をリセットしますか？／はい ⇒ 1 を押してください／いいえ ⇒2を押してください】と表示されます。

2 **（1）を押す**

◆【決定 ⇒1 を押してください／キャンセル ⇒ 2を押してください】と表示されます。

3 **（1）を押す**

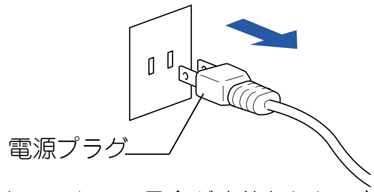
◆【受付けました】と表示されたあと、【お待ちください】と表示されます。
設定した機能が消去されたあと、回線種別の自動設定が始まります。

本機を強制リセットする（修理を依頼される前に）

本機に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動しているおそれがあります。

- ディスプレイが正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 電話帳リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、**電源コードを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。**これだけでも、改善される場合があります。
（ただし、着信履歴、通信管理レポート、送信メモリー文書、受信メモリー文書は消去されます。）

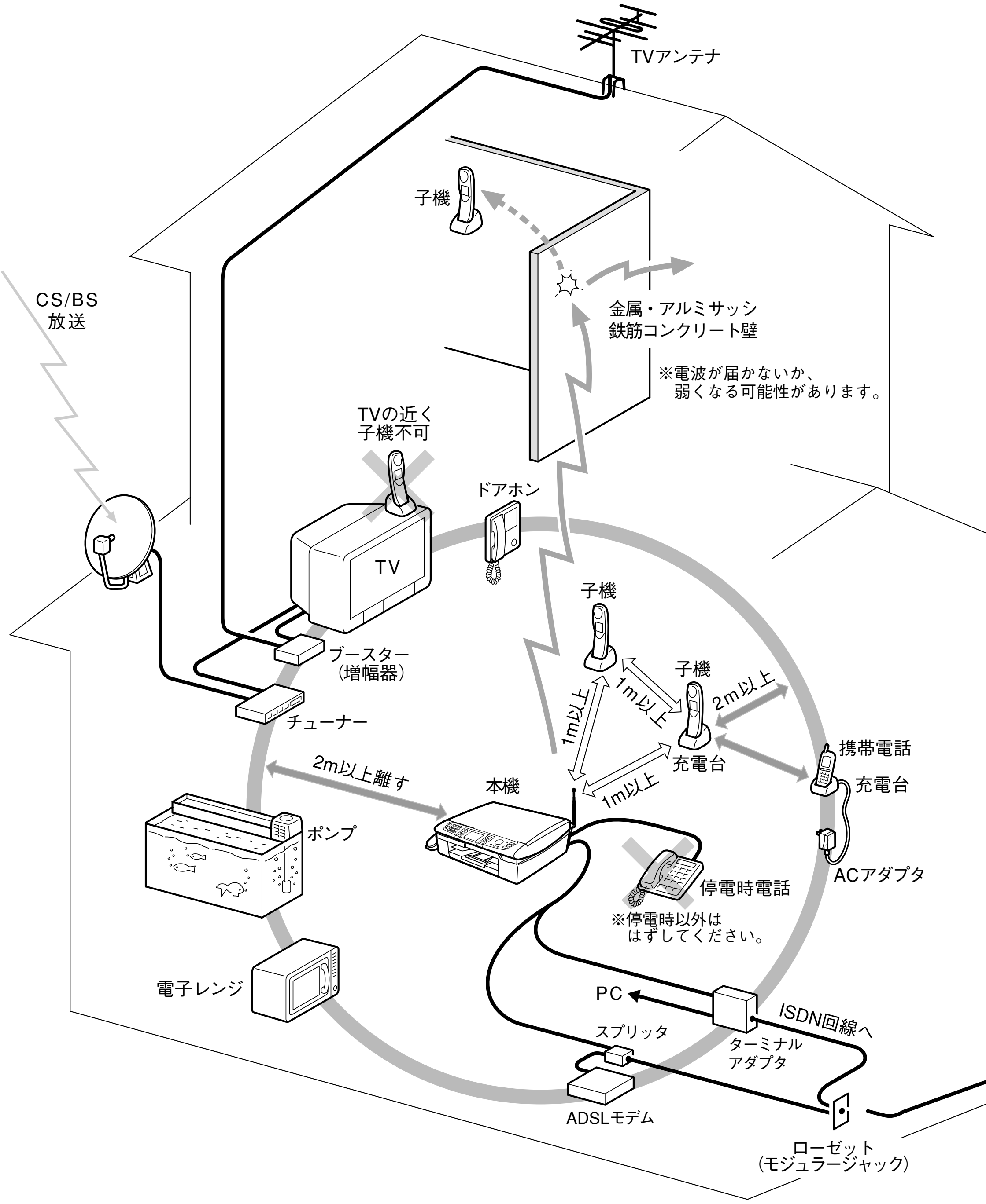


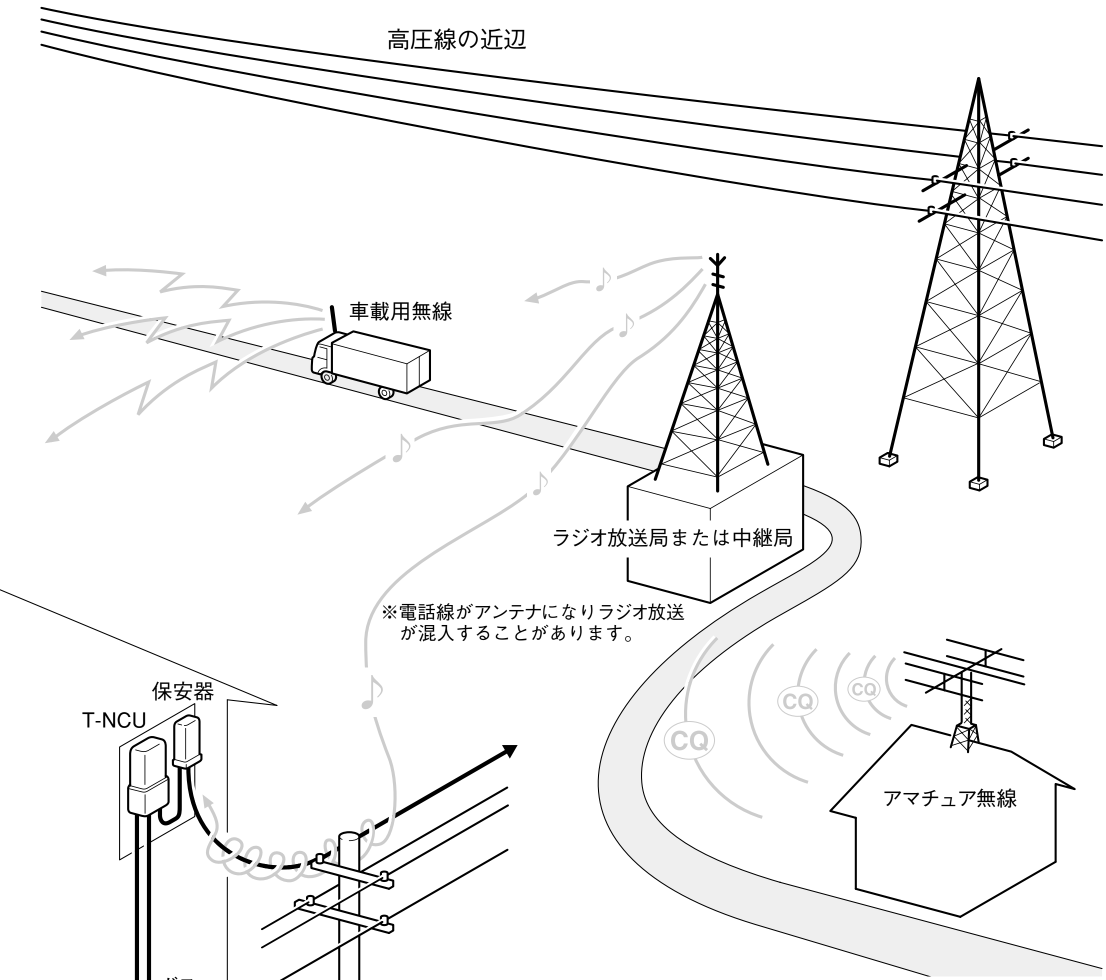
強制リセットをしても、不具合が改善されないときは「お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）：0570-031523」へご連絡ください。

通話がうまくいかないときは

通話や子機の使用に影響をおよぼす可能性のある環境

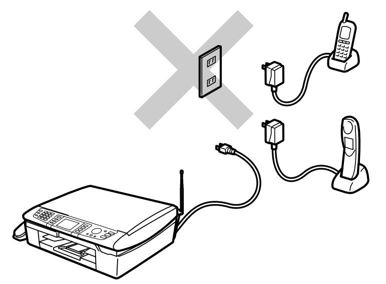
親機や子機の近くに微弱な電波を発する電気製品がある場合や、自宅周辺に強力な電波を発する設備（ラジオ放送局、アマチュア無線など）がある場合、通話や子機の使用に影響を受けることがあります。また、ご使用のパソコンやハードウェアによっては、本機の近くに設置すると通話や子機の使用に影響を与える可能性があります。通話状況が良くないときは、以下の環境をご確認ください。





電源コードの接続のしかたも確認

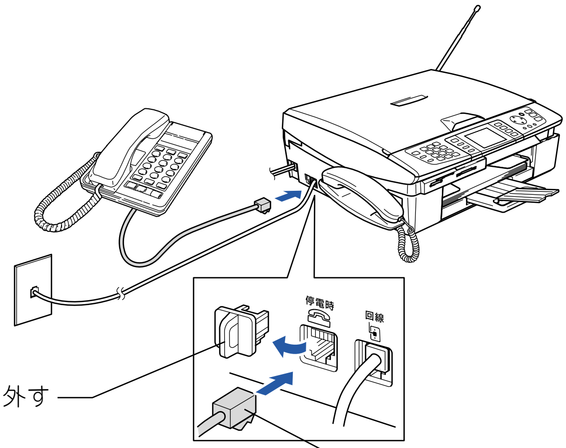
下図にあるような電気製品などと同じコンセントに接続すると、通話や子機の使用に問題が起こる場合があります。



停電になったときは

本機はAC電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC電源を必要としない電話機）を保管することをおすすめします。停電用電話機を親機の停電用電話機接続端子に接続すると、停電時に停電用電話機で電話をかけたり受けることができます。
停電したときは以下のようにデータが消去されます。

消去されないデータ	電話帳（親機、子機）、各種登録・設定内容、着信履歴（子機）、発信履歴（子機）
停電が数時間以上続くと消去されるデータ	着信履歴（親機）、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ、送信メモリー文書



注意

- ■ **停電時以外は停電用電話機を接続しないでください。誤動作により正常に使用できないことがあります。**
- ■ **日付と時刻は再度設定し直してください。****⇒27ページ「日付と時刻を設定する」**
- ■ **停電によって消去されたデータを復活させることはできません。**
- ■ **通話中に停電になったときは、親機、子機ともに電話は切れます。**
- ■ **留守モード時、メッセージを録音中に停電になったときは、録音中の内容は保存されません。**

■ ナンバー・ディスプレイサービスをご利用いただいているときは

停電中に電話がかってくると、停電用電話機のみ、着信音が短く5～6回鳴ります。その後、通常の着信音に変わりますので、音が変わったら停電用電話機の受話器をとって電話を受けてください。最初の短い着信音のときに受話器をとると、通話できません。

本機を輸送するときは

引っ越しなどで本機を輸送するときは、以下の点に注意してください。

- インクカートリッジをすべて抜き取り、保護部材を取り付けてください。
  保護部材は、本機をお買い上げの際に入っていた物をご使用ください。

- 保護部材がない場合は、インクカートリッジを入れたまま輸送してください。
  保護部材またはインクカートリッジを取り付けずに本機を輸送すると、本機に障害を与える可能性があります。

- USB ケーブル、ネットワークケーブル（LAN ケーブル）は本機から外してください。

本機を廃棄するときは

廃棄

本機には充電式ニッケル水素電池が組み込まれています。本機を廃棄するときは、本機に組み込まれている電池を取り外してください。また、取り外した電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店または弊社回収拠点にお持ちください。

- 被覆ははがさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ
- コード先端をテープなどで絶縁して、リサイクル箱へ

※ 使用済みの電池の届け出先
⇒ 205 ページ「使用済み電池の届け出：」

Ni-MH

本機のバッテリーは以下の手順で取り外します。

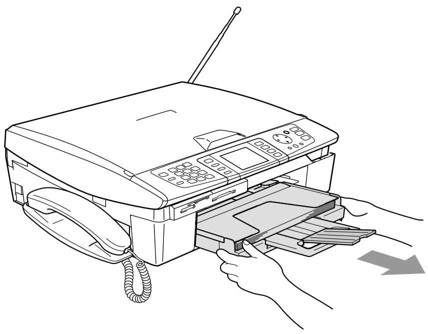
注意

- **バックアップ用のバッテリーは、本機を廃棄するとき以外は外さないでください。本機が使用できなくなります。**

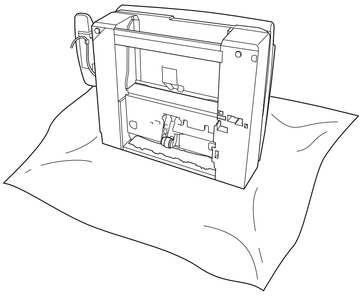
<用意するもの>
- マイナスドライバー（小）
- はさみ

1 記録紙トレイをはずす

記録紙トレイは、少し上方に持ち上げるようにして引き出してください。



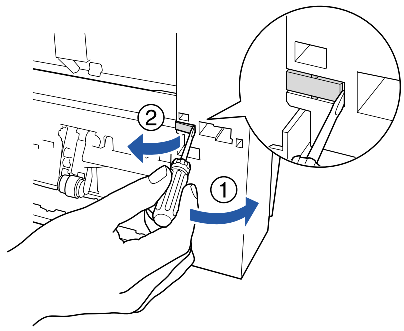
2 底面を持ち上げて、本機を立てる



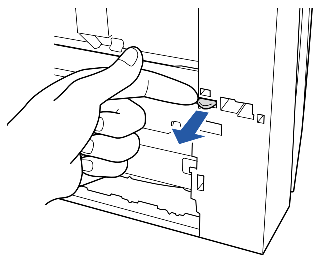
注意

- **本機が倒れないよう、安定した場所で作業してください。**
- **インクが漏れる場合がありますので、次の点に注意して作業してください。**
  - 汚れてもよいビニールシートなどを敷いて作業してください。
  - 作業後は本機を立てた状態から戻してください。（立てた状態で放置しないでください。）
  - インクカートリッジを外して作業してください。

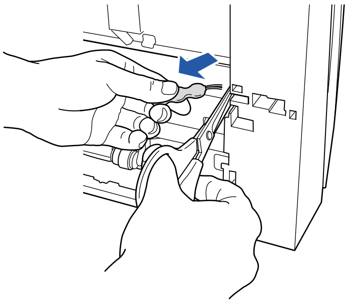
3 バッテリーの入っている溝にマイナスドライバーを差し込み、矢印 ① 方向に倒してバッテリーカバーのツメを折り、矢印 ② 方向にバッテリーカバーを開ける



4 バッテリーカバーをさらに大きく開き、中からバッテリーを引き出す



5 引き出したバッテリーのコードの部分をはさみで切って、バッテリーを取り外す



Memo

付　録

親機での文字の入れかた **182**
- 入力できる文字と入力制限 182
  - ■ 入力できる文字　（文字列一覧表） 182
  - ■ 入力できる文字の種類や文字数 182
- 文字の入力方法 183
- 文字の入れかた（変更のしかた） 183
  - ■ 入力例 183

子機での文字の入れかた **184**
- 子機で入力できる文字 184
- 文字の入れかた（変更のしかた） 184
- 入力例 184

機能一覧 **185**
- 親　機 185
- 子　機 193

仕様 **194**
- 親　機 194
- 子　機 195

使用環境 **196**
- Windows® の場合 196
- Macintosh® の場合 196

用語解説 **197**

索　引 **199**

リモコンアクセスカード **203**

特許、規制 **205**
- 国際エネルギースタープログラム 205
- VCCI 規格 205

商標について **205**

関連製品のご案内 **206**
- 消耗品 206
  - ■ インクカートリッジ 206
- 専用紙・推奨紙 206

親機での文字の入れかた

発信元登録、電話帳の登録では、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。親機で入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

入力できる文字と入力制限

■ 入力できる文字 （文字列一覧表）

ボタン	ひらがな	カタカナ	英字	数字
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	—	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	abcABC	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	defDEF	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	ghiGHI	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	jklJKL	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	mnoMNO	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	pqrsPQRS	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	tuvTUV	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	wxyzWXYZ	9
0 わ 、。	わをん、。ー（スペース）	ワヲン、。ー		0
＊ ゛゜ トーン ⏮	゛ ゜	゛ ゜	-/(半角スペース).,:@;!?	＊
# 記号 ⏭	，．　・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿○‐―／＼ ～‖｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》 「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴ ♂♀°′″℃￥＄￠￡％＃＆＊＠§☆★○●◎ ◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓⇒⇔≡≒≪≫ √♯♭♪		"#$%&'()*+<>=[]^¥{I}	#

■ 入力できる文字の種類や文字数

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○（＊ 1）	20
読み仮名	×	○	○	16
名前（＊ 2）	○	○	○	10

＊ 1： 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは 再ダイヤル/ポーズ で入力します。入力したポーズはディスプレイに「ー」（ハイフン）で表示されます。
クリア を押すと、カーソル以降の文字がすべて削除されます。
発信元登録での電話番号入力時は 0 ～ 9 「＋」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。

＊ 2： 発信元登録では、16 文字まで入力できます。

漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

文字の入力方法

入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
▲	入力できる文字の種類を切り替えます。押すたびに ひらがな→カタカナ→英字→数字 の順で切り替わります。
▼	ひらがなを漢字に変換します。
OK	入力した文字を確定します。
クリア	選択中の文字を消去します。

変換範囲を変更することはできません。

文字の入れかた（変更のしかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
文字を入れる	0 〜 9、* 、# を押す
漢字の変換候補を切り替える	▼ を押して変換候補を切り替える
文字の種類を切り替える	▲ を押す （ひらがな→カタカナ→英字→数字）
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ ポーズ（約3秒の待ち時間）	再ダイヤル/ポーズ を押す ※ 入力したポーズは電話帳やダイヤル入力時は「－」（ハイフン）で表示されます。
文字を削除する	◀ を押して削除したい文字まで ▮（カーソル）を移動し クリア を押す ※ 選択している文字を削除します。
文字を挿入する	◀ を押して ▮（カーソル）を戻し、文字を入力する ※ ▮（カーソル）の左側に文字が挿入されます。

したいこと	操作のしかた
スペース（空白）を入れる	▶ を押して ▮（カーソル）を右に移動させる （ひらがな入力のときは 0 （7回押）でもスペースを入れることができます）
記号を入力する	ひらがな、カタカナ入力のときは、# を押して記号を選ぶ 英字入力のときは、* または # を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▶ を押して、▮（カーソル）を1文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	OK を押す

■ 入力例

「鈴木エリ」と入力するときは、以下のように操作します。

操作のしかた	ディスプレイ表示
3 を3回押す	す
▶ を1回押す	す＿
3 を3回押す	すす
* を1回押す	すず
2 を2回押す	すずき
▼ を1回押す	鈴木 スズキ すずき ※ 画面に変換候補が表示される
▼ で候補を選び OK を押す	鈴木
▲ を1回押す	※ 入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
1 を4回押す	鈴木エ
9 を2回押す	鈴木エリ

子機での文字の入れかた

電話帳の登録では、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。子機で入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

子機で入力できる文字

子機では下記の文字や記号を入力できます。

ボタン	カタカナ	英・数字
ア1	アイウエオァィゥェォ	1
ABC カ2	カキクケコ	abcＡＢＣ 2
DEF サ3	サシスセソ	defＤＥＦ 3
GHI タ4	タチツテトッ	ghiＧＨＩ 4
JKL ナ5	ナニヌネノ	jklＪＫＬ 5
MNO ハ6	ハヒフヘホ	mnoＭＮＯ 6
PQRS マ7	マミムメモ	pqrsＰＱＲＳ 7
TUV ヤ8	ヤユヨャュョ	tuvＴＵＶ 8
WXYZ ラ9	ラリルレロ	wxyzＷＸＹＺ 9
ワ0	ワヲン゛゜、。ー	0
記号1 ＊	ー／．（スペース）！"＃＄％＆'（）＊＋，	
記号2 ＃	_:@;< = >?[ ]^	

文字の入れかた（変更のしかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
カタカナと英数字を切り換える	発信履歴/P/文字切替 を押す ※ 押すたびにカナ（半角カタカナ）、英数（アルファベット・数字）が切り替わります。
文字を入れる	ワ0～WXYZ ラ9、記号1 ＊、記号2 ＃を押す
電話番号に「ポーズ」を入れる ※ ポーズ（約３秒の待ち時間）	発信履歴/P/文字切替 を押す
文字を削除する	◀▶を押して削除したい文字まで＿（カーソル）を移動し、内線/クリア 保留 を押す
文字を変更する	◀▶を押して変更したい文字まで＿（カーソル）を移動し、文字を削除して入力し直す
文字や電話番号の間を開ける（スペースを入れる）	▶を２回押す （文字のときは記号1 ＊（４回押）でもスペースを入れることができます）
記号を入力する	入力したい記号ボタン（記号1 ＊または記号2 ＃）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	▶を押して、＿（カーソル）を１文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	機能/確定 を押す

入力例

電話帳に「スズキ　ケイコ」と入力するときは下記のように操作します。

操作のしかた	ディスプレイ表示
発信履歴/P/文字切替 を押して、「カナ」を表示させる	カナ
DEF サ3を３回押す	ス
▶を１回押す	ス＿
DEF サ3を３回押す	スス
ワ0を４回押す	スス゛
ABC カ2を２回押す	スズ キ
▶を２回押す （または記号1 ＊を４回押す）	スズ キ ＿
ABC カ2を４回押す	スズ キ ケ
ア1を２回押す	スズ キ ケイ
ABC カ2を５回押す	スズ キ ケイコ

機能一覧

本機で設定できる機能や設定は次のようになります。ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

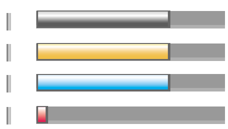
親　機

■ メニュー から操作する機能

＜基本的な設定＞

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
基本設定	モードタイマー		ファクスモードに戻る時間を設定します。「切」を選ぶと最後に使ったモードを保持します。	切／0秒／30秒／1分／**2分**／5分	25 ページ
	記録紙タイプ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて、設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／光沢紙／OHP フィルム	34 ページ
	音量	着信音量	着信音の音量を設定します。	切／小／**中**／大	41 ページ
		ボタン確認音量	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／**小**／中／大	
		スピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。	切／小／**中**／大	
		受話音量	受話器を持って通話するときの音量を設定します。	小／**中**／大	
	電源オフ設定		電源をオフにしたときの動作を設定します。	**呼び出しをする**／呼び出しをしない	26 ページ
	画面の設定	画面のコントラスト	画面のコントラストを設定します。	薄く／**標準**／濃く	48 ページ
		画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	**明るく**／やや暗く／暗く	
		照明ダウンタイマー	液晶ディスプレイのライトを暗くするまでの時間を設定します。	切／10 秒／20 秒／**30 秒**	
		照明オフタイマー	液晶ディスプレイのライトを消灯するまでの時間を設定します。	**切**／1 分／2 分／3 分／5 分／10 分／30 分	

＜インク＞

機能	設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照ページ
インク	テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質／印刷位置	152 ページ
	ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	151 ページ
	インク残量	インク残量を確認します。	Bk Y C M 	150 ページ

＜ファクス機能＞

機能	設定項目		機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）		参照ページ
ファクス	受信設定	呼出回数	「在宅モード」「留守モード」ごとに、着信してから本機が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。	在宅モード	0 から 15 ／無制限 （初期設定は **8**）	39 ページ
				留守モード	0から7／トールセーバー （初期設定は **2**）	
		再呼出設定	在宅モード時に電話がかかってきた場合の対応を設定します。	**オン** **（電話呼出）**	相手にベル／ **相手にメッセージ**	40 ページ
				オフ（ファクス専用）		
		親切受信	自動受信する前に電話を取った場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。	**する**／しない		95 ページ
		みるだけ受信	受信したファクスを液晶ディスプレイで確認できます。	**する**／しない		85 ページ
		自動縮小	A4 サイズより長い原稿が送られてきたとき、自動的に縮小するかしないかを設定します。	**する**／しない		95 ページ
	電話帳登録	電話帳／短縮	2 桁の短縮番号に、相手先番号と名前を登録します。			104 ページ
		電話帳／グループ	複数の相手先を「グループ」として登録します。			107 ページ
		子機に転送	親機に登録した電話番号を子機に転送します。			111 ページ
	レポート 設定	送信レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	オン／オン＋イメージ／オフ／**オフ＋イメージ**		101 ページ
		通信管理レポート	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	レポート出力しない／**50 件ごと**／6 時間ごと／ 12 時間ごと／ 24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと		100 ページ
	応用機能	転送／メモリー受信	ファクスを転送したり、メモリー受信の設定を行います。	**オフ**／ファクス転送／留守録転送／メモリー受信／ PC ファクス受信		97 ページ 99 ページ 120 ページ
		暗証番号	外出先から本機を操作するための暗証番号を設定します。	暗証番号：－－－＊		118 ページ
		ファクス出力	メモリーに蓄積されたファクスを印刷します。			99 ページ
	通信待ち確認		タイマー送信などの設定を確認したり解除したりできます。			102 ページ
	メロディ設定	着信音	着信音を選びます。	**ベル 1** ～ 4 ／メロディ 1 ～ 30		43 ページ
		保留メロディ	保留音を選びます。	メロディ 1 ～ 30 **（花のワルツ）**		43 ページ
	留守番電話設定	応答メッセージ	留守応答メッセージ、在宅応答メッセージの録音／再生／削除をします。	留守応答 1 ／留守応答 2 ／在宅応答		115 ページ
		録音時間	1 件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	30 ／ **60** ／ 120 ／ 180 秒		114 ページ
		留守録モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる／聞こえないの設定をします。	**する**／しない		115 ページ
	安心通信モード		安心通信モードに設定します。	（MFC-830CLN ／ CLWN） **標準**／安心 （MFC-840CLN） **高速**／標準／安心		170 ページ

＜ネットワーク設定＞

本機をネットワーク環境で使用する場合の詳細については、ユーザーズガイド（HTML 版）をご覧ください。

機能		設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）
LAN	TCP／IP 設定	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto**／Static／RARP／BOOTP／DHCP
		IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255].
		サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255].
		ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255].
		ノード名	ノード名を設定します。	BRN_xxxxxx=（イーサネットアドレスの最後 6 文字、最大 15 文字）
		WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
		WINS サーバ	WINS サーバを設定します。	プライマリ／セカンダリ
		DNS サーバ	DNS サーバを設定します。	プライマリ／セカンダリ
		APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
	その他設定	イーサネット	LAN のリンクモードを設定します。	**Auto** ／ 100B-FD ／ 100B-HD ／ 10B-FD ／ 10B-HD
		タイム　ゾーン	お住まいの国のタイムゾーンを設定します。	UTC ＋ XX:XX
	LAN 設定リセット		ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	

＜レポート印刷＞

機能	設定項目	機能説明	参照ページ
レポート印刷	送信レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	101 ページ
	機能案内	本機の機能一覧を印刷します。	156 ページ
	電話帳リスト	短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている内容を印刷します。	108 ページ
	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 通分の結果を印刷します。	100 ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	156 ページ
	LAN 設定内容リスト	ネットワークの設定内容を印刷します。	ユーザーズガイド （HTML 版） 「ネットワーク設定」
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	72 ページ
	ご注文シート	インクカートリッジなどの消耗品をファクスで注文するときのご注文シートを印刷します。	155 ページ

＜初期設定＞

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照ページ
初期設定	時計セット		液晶ディスプレイに表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。			27 ページ
	発信元登録		ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	ファクス／名前		28 ページ
	回線種別設定		お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ回線／ダイヤル 10PPS ／ダイヤル 20PPS ／**自動設定**		27 ページ
	ダイヤルトーン設定		ダイヤルトーンの検出をするかしないかを設定します。	検知する／**検知しない**		171 ページ
	特別回線対応		特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	**一般**／ ISDN ／ PBX		170 ページ
	ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ	ナンバー・ディスプレイサービスを使用する／しないを設定します。	**あり**／なし		67 ページ
		着信鳴り分け設定	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信先や着信音を設定します。	着信先：ファクス／迷惑指定／全て／親機／子機 1 〜 4	着信音:ベル 1 〜 4／メロディ 1〜 30	69 ページ
		非通知着信拒否	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	する／**しない**		70 ページ
		公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否します。	する／**しない**		
		着信拒否モニター	着信拒否メッセージを再生するとき、スピーカーから聞こえる／聞こえないを設定します。	する／**しない**		71 ページ
		キャッチ ディスプレイ	キャッチホン・ディスプレイサービスを使用する／しないを設定します。	あり／**なし**		75 ページ
	音質調整		親機での通話中やファクス通信時の回線状況に応じて調整します。	**レベル 1** ／レベル 2…		170 ページ
	個人情報クリア		電話帳や着信履歴、メモリーなどをすべて消去します。			172 ページ
	機能設定リセット		本機の設定を、お買い上げ時の状態に戻します。			173 ページ

■ コピー設定画面で設定する機能

コピーを押して、で項目を選びます。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照ページ
コピー画質	印刷品質に合わせて設定します。	高速／**標準**／高画質	125 ページ
拡大／縮小	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	46% A4 ⇒ハガキ 50% 69% A4 ⇒ A5 77% L 判ヨコ⇒ハガキ 86% A4 ⇒ B5 **100% 等倍** 113% L 判タテ⇒ハガキ 115% B5 ⇒ A4 142% A5 ⇒ A4 200% 204%　ハガキ⇒ A4 カスタム（25 - 400%）	
記録紙タイプ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／光沢紙／OHP フィルム	
記録紙サイズ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**A4**／ A5 ／ B5 ／ハガキ	
明るさ	原稿に合わせて設定します。	暗く　明るく	
コントラスト	コントラスト（色の濃度）を調整します。	弱く　強く	
カラー調整　レッド	色のバランスを調整します。	レッド：　－　＋	
カラー調整　グリーン		グリーン：　－　＋	
カラー調整　ブルー		ブルー：　－　＋	
レイアウトコピー	原稿をレイアウトしてコピーするとき設定します。	**オフ（1 in 1）**／ 2 in 1（タテ長）／ 2 in 1（ヨコ長）／ 4 in 1（タテ長）／ 4 in 1（ヨコ長）／ポスター（3X3）	128 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。		126 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。		

■ メモリーカードをセットした状態で［デジカメプリント］から操作する機能

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照ページ
写真プリント	メモリーカード内の写真をプリントします。		132 ページ
インデックスプリント	インデックスプリントを印刷します。	**速い／ 1 行 6 個印刷** きれい／ 1 行 5 個印刷	133 ページ
すべてプリント	メモリーカード内のすべての写真をプリントします。		135 ページ
番号指定プリント	番号を指定してプリントします。		134 ページ

また、「写真プリント」「すべてプリント」「番号指定プリント」を選んだ後で［OK］を押すと、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照ページ
プリント画質	プリント時の画質を設定します。	標準／**きれい**	136 ページ
記録紙＆プリントサイズ	記録紙の種類とプリントするサイズを設定します。	**L 判タテ 光沢紙**／ 2L 判タテ 光沢紙／ハガキタテ 光沢紙／ハガキタテ インクジェット紙／ハガキタテ 普通紙／A4 光沢紙／ A4 インクジェット紙／A4 普通紙	
明るさ	プリントの明るさを調整します。	0 ◀ ├─┼─┼─┼─┤ ▶ 暗く　明るく	
コントラスト	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	0 ◀ ├─┼─┼─┼─┤ ▶ 弱く　強く	
画質強調	<ホワイトバランス> 画像の白色部分の色合いを調整します。 <シャープネス> 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。 <カラー調整> 画像のカラー全体の濃度を調整します。	する： 1. ホワイトバランス 0 ◀ ├─┼─┼─┼─┤ ▶ －　＋ 2. シャープネス 0 ◀ ├─┼─┼─┼─┤ ▶ －　＋ 3. カラー調整 0 ◀ ├─┼─┼─┼─┤ ▶ －　＋ **しない**：	
画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかしないかを設定します。	**する**／しない	
ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかしないかを設定します。	する／**しない**	
設定を保持する	変更した設定を保持します。		137 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。		

■ ファクス から操作する機能

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照ページ
ファクス画質	送信時の画質を設定します。 ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	**標準**／ファイン／スーパーファイン／写真	87 ページ
原稿濃度	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	**自動**／薄く／濃く	87 ページ
電話帳	電話帳の内容を検索します。		82 ページ
発信履歴	発信履歴を表示します。		81 ページ
着信履歴	着信履歴を表示します。 ※ ナンバー・ディスプレイをご契約されていない場合は、着信履歴は表示されません。		81 ページ
同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。		93 ページ
タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	する（00:00）／しない	88 ページ
とりまとめ送信	タイマー送信で同じ相手に同じ時刻に送信する原稿がある場合、まとめて送信するように設定します。	する／**しない**	89 ページ
リアルタイム送信	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	する／**しない**	90 ページ
ポーリング送信	ポーリング通信でファクスを送信するときに設定します。	**標準**／機密／しない	91 ページ
ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときに設定します。	標準／機密／タイマー／しない	96 ページ
海外送信モード	海外にファクスを送るときに設定します。	する／**しない**	92 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。		90 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。		

■ スキャン から操作する機能

設定項目	機能説明	参照ページ
スキャン　E メール	スキャンしたデータを添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	ユーザーズガイド（HTML 版）「スキャン」
スキャン　イメージ	スキャンしたデータをパソコンに保存します。	
スキャン　OCR	スキャンしたデータをテキストに変換してパソコンに保存します。	
スキャン　ファイル	スキャンしたデータをパソコンの指定したフォルダに保存します。	
スキャン TO カード	スキャンしたデータをメモリーカードに保存します。	139 ページ

また、「スキャン TO カード」を選び、OK をクリックすると、以下の設定を順に確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照ページ
スキャン画質	スキャン TO カード時の画質を設定します。	150dpi カラー／ 300dpi カラー／ 600dpi カラー／ 200x100dpi カラー／ 200dpi モノクロ／	139 ページ
ファイル形式	スキャンするときのファイル形式を設定します。	JPEG ／ PDF ／ TIFF	
ファイル名	ファイル名を設定します。		

■ みるだけ受信 から操作する機能

設定項目	機能説明	参照ページ
すべてプリント	メモリー内のすべてのファクスを印刷します。	85 ページ
すべて消去	メモリー内のすべてのファクスを削除します。	

子　機

■ 機能/確定 から操作する機能

設定項目	機能説明	設定内容 （太字：初期設定値）	参照ページ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾄｳﾛｸ	子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。	**時報（117）・天気予報（177）・電話番号案内（104）**	109 ページ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾍﾝｺｳ	電話帳に登録した内容を変更・削除します。	―	109 ページ
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳﾃﾝｿｳ	子機の電話帳に登録した電話番号を、親機へ転送できます。	―	111 ページ
ﾁｬｸｼﾝｵﾝｾﾝﾀｸ	着信音を選択します。 ※ 曲名は親機から読み込んだメロディです。	**ﾍﾞﾙ**／ﾒﾛﾃﾞｨ１～３／曲名（＊）	44 ページ
ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信音を設定します。	―	69 ページ
ﾒﾛﾃﾞｨ ﾖﾐｺﾐ	親機に登録されているメロディを子機に読み込みます。	―	45 ページ
ﾊｯｼﾝﾘﾚｷｸﾘｱ	発信履歴の内容をすべて消去します。	―	53 ページ
ﾁｬｸｼﾝﾘﾚｷｸﾘｱ	着信履歴の内容をすべて消去します。	―	73 ページ
ｶﾞﾒﾝﾉｺﾝﾄﾗｽﾄ	ディスプレイの明るさを設定します。	１～７段階（**4**）	48 ページ
ﾎﾞﾀﾝｶｸﾆﾝｵﾝ	ボタンを押したときの音を鳴らす／鳴らさないを設定します。	**ON**／OFF	42 ページ
ﾄｹｲｾｯﾃｲ	現在の曜日と時刻を登録します。	―	28 ページ
ｱﾗｰﾑｾｯﾃｲ	モーニングアラームの鳴りかたと時刻を設定します。	OFF／ｱﾗｰﾑ１／ｱﾗｰﾑ２／ｱﾗｰﾑ３	46 ページ

（＊）

設定内容	曲名
ﾒﾛﾃﾞｨ１	ｲﾌｳﾄﾞｳﾄﾞｳ（威風堂々）
ﾒﾛﾃﾞｨ２	ｼｷﾖﾘ［ﾊﾙ］（四季より「春」）
ﾒﾛﾃﾞｨ３	ﾊﾅﾉﾜﾙﾂ（クルミ割り人形より「花のワルツ」）
曲名	親機から読み込んだメロディがあるときは、曲名が表示されます。

仕様

親　機

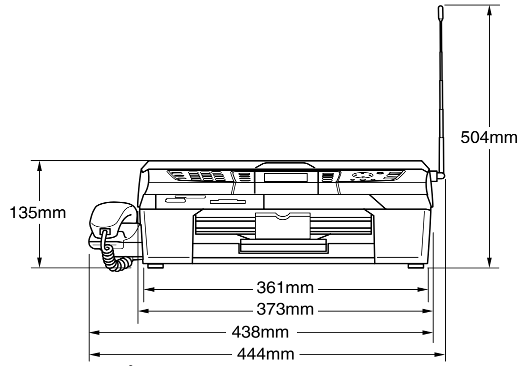
■ 電話＆ファクス

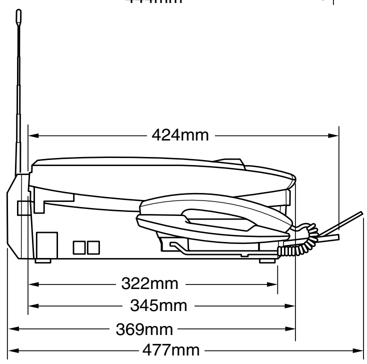
形式	MFC-830CLN、MFC-830CLWN：ITU-T Group 3（G3） MFC-840CLN：ITU-T SuperGroup 3（Super G3）
圧縮方式	MH/MR/MMR/JPEG
電送時間 *1	MFC-830CLN、MFC-830CLWN：約 6 秒 MFC-840CLN：約 3 秒
通信速度	MFC-830CLN、MFC-830CLWN：14400/12000/9600/7200/4800/2400bps MFC-840CLN：33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/14400/12000/9600/7200/4800/2400bps （自動フォールバッグ付き）
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時： 最大　幅 216mm ×長さ 297mm ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大　幅 216mm ×長さ 356mm
記録紙サイズ	A4（幅 210mm ×長さ 297mm）
最大有効読取幅 *2	208mm
最大有効記録幅	205mm
記録方式	インクジェット式
読取方式	CIS 方式
ハーフトーン	256 階調
走査線密度	主走査：8 ドット /mm 副走査（モノクロ時） ・標準：3.85 本 /mm ・ファイン / 写真：7.7 本 /mm ・S. ファイン：15.4 本 /mm 副走査（カラー時） ・標準：7.7 本 /mm ・ファイン：7.7 本 /mm ※「写真」「S. ファイン」なし
総録音可能時間 *4	1 回の最大録音時間 3 分× 99 件
適用回線	一般電話回線、2 線式専用回線、ファクシミリ通信網（16Hz のみ対応）
メモリー記憶枚数 *3*4	約 400 枚

*1：A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／mm）で高速モード（MFC-830CLN、MFC-830CLWN の場合は 14400bps、MFC-840CLN の場合は 33600bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。
*2：B4 記録が可能な相手機種の場合の最大有効読取幅です。
*3：A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本／mm）で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。
*4：録音可能時間やメモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。（例えば、ファクスメッセージがメモリーに記憶されているときは録音可能時間が短くなります。）

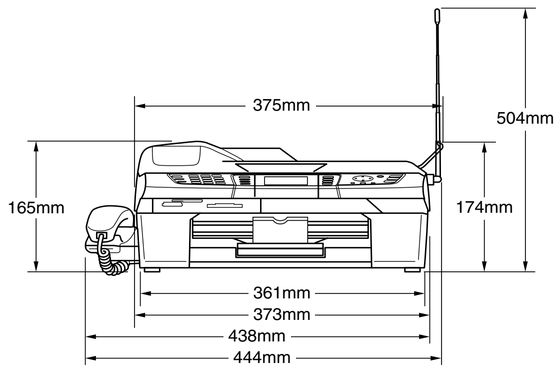
■ 外形寸法

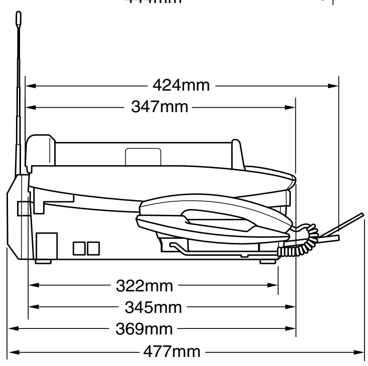
MFC-830CLN, MFC-830CLWN





MFC-840CLN





■ プリンタ&スキャナ

対応パソコン	PC/AT 互換機 Apple 社製 Macintosh® の USB ポート搭載機
対応 OS	Windows®98/98SE/Me Windows®2000Professional/XP Mac OS 9.1 ～ 9.2 Mac OS X 10.2.4 以降
インターフェース	USB インターフェース対応
プリント方式	インクジェット式
プリント解像度	1200 × 6000dpi
プリント速度	カラー 15 枚 / 分　モノクロ 20 枚 / 分 (ドラフトモード、普通紙、当社基準 A4 原稿給紙時間除く)
スキャナ解像度	光学解像度 600（主走査）dpi x 2400（副走査）dpi

■ フォトメディアキャプチャ

対応メディア	●スマートメディア®（3.3V） ※ ID 付きスマートメディアの ID 機能には対応していません。 ●メモリースティック® ※ メモリースティック PRO、マジックゲート TM メモリースティック、メモリースティック Duo、メモリースティック Pro デュオも使用できます。 ※ メモリースティック Duo、メモリースティック Pro デュオを本機にセットするときは、アダプターが必要です。 ※ マジックゲート機能（著作権保護機能）はご利用いただけません。 ●コンパクトフラッシュ®（TYPE1） ※ マイクロドライブ、TYPE2 には対応していません。 ※ 無線　LAN　カードなどのデバイス系のカードには対応していません。 ● SD メモリーカード TM ※ miniSD メモリーカード TM を本機にセットするときは、アダプターが必要です。 ● xD- ピクチャーカード TM ※ TypeM（高容量対応）シリーズに対応しています。 ●マルチメディアカード TM
メディアファイルフォーマット	DPOF 形式、EXIF 形式、DCF 形式
対応画ファイルフォーマット	●デジカメプリント JPEG 形式 ※ 拡張子が「.jpg」のファイルに限ります。 ※ プログレッシブ　JPEG　には対応していません。 ※ ファイルとフォルダをあわせて 999 個までの対応です。 ※　4 階層以上のフォルダには対応していません。 ●スキャン TO カード カラー：JPEG 形式、PDF 形式 モノクロ： TIFF 形式、PDF 形式

■ コピー

コピースピード	モノクロ： 17 ページ / 分 （A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード） カラー： 11 ページ / 分 （A4 サイズ / 普通紙 / 高速モード） ※給紙時間を除きます。
拡大縮小	25 ～ 400（%）
プリント解像度	普通紙・インクジェット紙・光沢紙： 最大 600（主走査）X1200（副走査）dpi OHP フィルム：最大 1200 X 1200 dpi

■ 電源その他

使用環境	温度：10 ～ 35 ℃、湿度：20 ～ 80%
電源	AC100V ± 10V　50 ／ 60Hz
消費電力	MFC-840CLN： 動作時：平均 25W 以下 待機時：平均 10W 以下 MFC-830CLN、MFC-830CLWN： 動作時：平均 20W 以下 待機時：平均 9W 以下
稼働音	動作時：42.5 ～ 51dBA ※お使いの機能により数値は変わります。
メモリ容量	16MB
本体重量	MFC-830CLN、MFC-830CLWN：5.7kg MFC-840CL：6.2kg （インクカートリッジ／付属品を除く）

※ 外観･仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

子　機

■ コードレス子機

使用可能距離	見通し距離約 100m
充電完了時間	約 15 時間
使用可能時間（充電完了後）	待機状態：約 110 時間、 連続通話：約 6 時間
使用環境	温度：5 ～ 35 ℃、湿度：45 ～ 80%
電源	BCL-BT （専用ニッケルカドミニウム蓄電池）
消費電力	－
外形寸法	42.8（横幅）× 37.1（奥行き）× 182.1（高さ）mm
質量	約 150g（子機用バッテリー含む）

■ 充電器

使用環境	温度：5 ～ 35 ℃、湿度：45 ～ 80%
電源	AC100 ± 10V　50 ／ 60Hz
消費電力	約 2W（AC アダプタ含む）
外形寸法	66.2（横幅）× 89.4（奥行き）× 74.8（高さ）mm
質量	約 75g

使用環境

本機とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。

Windows® の場合

本機とパソコン（Windows®）を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS ／ CPU ／メモリ
Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional Intel Pentium® Ⅱプロセッサ 300MHz（Intel Pentium® 互換CPU 含む）以上 /64MB （推奨 128MB ）以上 Windows® XP/ Intel Pentium® Ⅱプロセッサ 300MHz（Intel Pentium® 互換CPU 含む）以上 /128MB （推奨 256MB ）以上 Windows® XP Professional x64 Edition AMD Opteron™ プロセッサ AMD Athlon™ 64 プロセッサ Intel® EM64T に対応した Intel® Xeon™ Intel® EM64T に対応した Intel® Pentium4 256MB （推奨 512MB ）以上
ディスク容量
300MB 以上の空き容量
CD-ROM ドライブ
2 倍速以上必須
Web ブラウザ
Microsoft Internet Explorer 5 以上が必要です。 ※ Microsoft Internet Explorer 6 以上を推奨します。
インターフェース
● USB 2.0 フルスピード ● ネットワーク（10Base-T）/（100Base-TX） ※ USB ケーブル、ネットワークケーブル（LAN ケーブル）は、市販品をご利用ください。 ※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。 ※ USB2.0 ハイスピード対応のパソコンでもご使用いただけますが、12M ビット / 秒のフルスピードモードでの接続になります。 ※ USB1.1 対応のパソコンとも接続できます。

- メモリの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Windows® 2000 Professional/XP を使用している場合は、「アドミニストレータ（Administrator）権限」でログオンする必要があります。
- Windows® XP Professional x64 Edition をお使いの場合は、ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp）からドライバをダウンロードしてください。

Macintosh® の場合

本機と Macintosh® を接続する場合、以下の動作環境が必要となります。

OS
MacOS 9.1 ～ 9.2 MacOS X 10.2.4 以降
ディスク容量
280MB 以上の空き容量
CD-ROM ドライブ
2 倍速以上必須
インターフェース
● USB 2.0 フルスピード ● ネットワーク（10Base-T）/（100Base-TX） ※ USB ケーブル、ネットワークケーブル（LAN ケーブル）は、市販品をご利用ください。 ※ USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。

- メモリの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS X への対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しております。以下のアドレスを参照してください。
http://solutions.brother.co.jp

注意

■ **Mac OS 10.2 をお使いの場合は、Mac OS 10.2.4 以降へのアップグレードが必要となります。**

用語解説

=あ=

● **アース端子**

アース（接地）を行う場合に使用します。使用環境によっては、アースを行うと通信性能や耐ノイズ性能が改善します。

● **アプリケーションソフトウェア**

ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。

● **インクジェット**

専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。

● **インターフェース**

パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

● **ウィザード**

Windows® などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● **オプション機能**

標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

=か=

● **回線種別**

電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。

● **画質強調**

解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。

● **機密ポーリング**

受信側と送信側が同じパスワードを使用することによって、パスワードを知っている人だけがファクスを受け取れる機能です。

● **原稿台ガラス**

コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

=さ=

● **親切受信**

ファクスを着信したときに間違えて電話を取ってしまったときでも自動的に本機がファクス受信を行う機能です。

● **スプリッタ**

ADSL 環境で必要な機器の 1 つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

=た=

● **ターミナルアダプタ**

ISDN 回線で必要な機器の 1 つです。パソコンや電話機を ISDN 回線に接続するために必要な信号の変換を行います。

● **タスクバー**

Windowsの画面上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● **デバイス**

ハードディスクやプリンタのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● **デュアルアクセス**

1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● **同報送信**

同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

● **取りまとめ送信**

メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめて送る機能です。

=な=

● **ナンバー・ディスプレイ（ND）**

電話がかかってきたときに相手の電話番号を液晶ディスプレイに表示するサービスです。このサービスを利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）

=は=

● **ファクス転送**

受信したファクスメッセージを、指定したファクシミリに転送する機能です。

● **プリンタドライバ**

パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● **ポーリング通信**

受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

● **ポスターコピー**

1 枚の原稿を 9 分割して拡大し、それぞれを 9 枚の記録紙にコピーします。

=ま=

● **メモリー送信**

ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● **メモリー受信**

受信したファクスを印刷するとともに本機のメモリーに記憶する機能です。

● **メモリー代行受信**

記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

=ら=

● **リアルタイム送信**

メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

● **リモートセットアップ**

本機に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● **リモコンアクセス**

外出先から本機をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● **留守録転送**

音声メッセージがメモリーに蓄えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

● **ログオン（ログイン）**

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

=数字=

● **2 in 1**

2枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

● **4 in 1**

4枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

= A to Z =

● **ADF（自動原稿送り装置）**

複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● **ADSL**

通常の電話回線（アナログ回線）で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● **CMYK**

Cyan、Magenta、Yellow、BlacK の 4 文字を示しています。光の三原色、赤、青、緑（RGB）による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青（シアン）、赤紫（マゼンタ）、黄を用いた減法混色のことを指します。印刷には CMY に加え黒インクを併用します。

● **CSV 形式**

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ（,）を区切りとして列挙したデータ形式です。Microsoft Excel などの表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● **DPI**

Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● **ECM 通信**

Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

● **EM64T**

Intel Extended Memory 64 Technology の略。IA-32 アーキテクチャを拡張したもので、より大容量のメモリにアクセスできるようになります。ソフトウェアも EM64T に最適化する必要があります。

● **IP フォン**

インターネットで使用されている IP（インターネット・プロトコル）技術を利用した電話のことです。

● **ISDN**

デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● **OCR 機能**

Optical Character Recognition（光学的文字認識）の略で、スキャナで画像データとして読み込んだ文字を、文字認識技術によって編集可能なテキストデータに変換する機能です。

● **OS**

Operating System（オペレーティングシステム）の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● **PBX（構内交換機）**

企業の構内などで利用する交換機です。内線電話同士の接続や、一般回線への接続などを行います。

● **PC**

Personal Computer（パーソナルコンピュータ）の略で、個人仕様の一般的なコンピュータです。

● **PC/AT 互換機**

IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/V パソコンとも言われます。

● **PC-FAX**

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定することができます。また、送付書を添付して送信することもできます。

● **PC-FAX 受信**

受信したファクスを本機と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● **TWAIN**

Technology Without Any InterestedName の略でスキャナなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto!PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● **USB ケーブル**

Universal Serial Bus（ユニバーサルシリアルバス）の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● **Vcards(vcf 形式)**

電子メールで個人情報をやり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されます。

● **WIA**

Windows Imaging Acquisition の略で、スキャナなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto!PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® Me/XP で標準サポートされています。

索　引

数字

2 in 1 コピー 128
4 in 1 コピー 128

A

ADF（自動原稿送り装置） 18
ADF（自動原稿送り装置）からコピー 124
ADF（自動原稿送り装置）からファクス 80

C

CPU 196

M

Macintosh 196

O

OHP フィルム 29
OS 196

P

PC-FAX 16

U

USB ケーブル接続端子 19

W

Windows 196

X

xD- ピクチャーカード 130

あ

アース端子 18
アフターサービス 208
暗証番号 118
安心通信モード 170
アンテナ 18

い

インクカートリッジを交換 148
インク残量チェック 150
インクジェット紙 29
インク挿入口 19
印刷テスト 152
印刷範囲 30
インデックスカード 29

え

液晶ディスプレイ 20
液晶ディスプレイの設定 48
エラーメッセージ 157

お

応答メッセージ 114
お客様相談窓口（コールセンター） 208
お手入れ 142
音声メッセージ 117
オンフック 51
音量 41

か

カードスロット 18
海外送信 92
外出先からの操作 119
解除 102
回線接続端子 18
紙づまり 144
カラーコピー 123
簡易子機間通話 58

き

機能案内リスト 156
機能一覧 185
機能設定を元に戻す 173
キャッチホンサービス 64
キャッチホン・ディスプレイサービス 75
記録紙 29
記録紙タイプ 34
記録紙トレイ 18
記録紙のセット 29

く

グループダイヤル 107

け

原稿 35
原稿ガイド 19
原稿台カバー 19
原稿台ガラス 19

こ

光沢紙 29
子機 23
子機間通話 58
子機の着信音 44
子機ライトを設定する 48
故障 160
ご注文シート 155, 207
コピーに関するご注意 122
コンパクトフラッシュ 130

さ

再ダイヤル（親機） 50
再ダイヤル（子機） 53
再呼出の設定 40

し

自動受信 84
自動縮小受信 95
受信設定 37
手動受信 84
手動送信 83
受話器 18
受話器コード 18
仕様 194
使用環境 196
消耗品 155
初期状態に戻す 172
親切受信 95

す

推奨紙 29
スキャナ 15
スキャン TO カード 139
スタートボタン 20
スピーカーホン通話 54
スマートメディア 130

せ

清掃 142
設定内容リスト 156
専用紙 29

そ

操作パネル 20
送信待ちファクス 102
送信レポート 101

た

タイマー送信 88
ダイレクトクラブ 155

ち

着信拒否モニター 71
着信鳴り分け 69
着信履歴（親機） 72, 106
着信履歴（子機） 73
注文 155

つ

通信管理レポート 100

て

定期メンテナンス 151
停電 176
停電用電話機接続端子 18
デジカメプリント 130
電源ボタン 26
電話帳 104
電話帳検索（親機） 52
電話帳検索（子機） 54
電話帳に登録（子機） 109
電話帳リスト 108
電話帳を転送 111
電話帳を利用する（親機） 104

と

同報送信 93
トールセーバー 39
特別回線対応 170
取り次ぎ 60
とりまとめ送信 89

な

内線通話 57
内線番号 57
ナビゲーションキー 20
ナンバー・ディスプレイサービス 66

ね

ネットワーク (LAN) ポート 19

は

はがき 29
発信履歴 53
バッテリー 154

ひ

非通知着信拒否 70

ふ

封筒 29
ふちなし印刷 15
普通紙 29
プッシュホンサービス 63
プリンタ 15
プリントヘッド 151

へ

ヘッドクリーニング 151

ほ

傍受 9
ポーリング受信 96
ポーリング送信 91
ポスターコピー 128
ポストカード 29
保留 56
本体カバー 19

み

みるだけ受信 85

め

迷惑電話 70
メモリ 196
メモリーカード 130
メモリー受信 99
メモリー代行受信 84
メロディ一覧 43
メンテナンス 151

も

モード 25
モードタイマー 25
文字の入れ方 182

よ

用語解説 197
呼出回数 39

り

リアルタイム送信 90
リムーバブルディスク 14
リモートセットアップ 112
リモコンアクセス 119
リモコンアクセスカード 203
リモコンコード 119

る

留守応答メッセージ 116
留守番機能 114
留守録転送 120
留守録モニター 114

れ

レイアウトコピー 128

ろ

録音 63
録音時間 114

リモコンアクセスカード

外出先から本機を操作する場合（⇒ 119 ページ「外出先から本機を操作する」）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

＜キリトリ線＞

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

○○○ ＊

あなたの暗証番号を記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、# 、＊ を押します。
3. 暗証番号を入力します。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、もう 1 度やり直してください。

＜キリトリ線＞

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

○○○ ＊

あなたの暗証番号を記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、# 、＊ を押します。
3. 暗証番号を入力します。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、もう 1 度やり直してください。

＜キリトリ線＞

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

○○○ ＊

あなたの暗証番号を記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. 応答メッセージが再生されたら、# 、＊ を押します。
3. 暗証番号を入力します。
4. リモコンコードを入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンコードは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、もう 1 度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91+1）
送り（再生中から送り）	912（91+2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファックス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：留守録転送やファクス転送の設定も解除されます。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91+1）
送り（再生中から送り）	912（91+2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファックス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：留守録転送やファクス転送の設定も解除されます。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91+1）
送り（再生中から送り）	912（91+2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファックス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況のチェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：留守録転送やファクス転送の設定も解除されます。

特許、規制

国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を開発・普及させることを目的としています。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

VCCI 規格

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

商標について

本文中では、OS 名称を略記しています。

Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。
（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP operating system です。

Microsoft 、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Photoshop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Presto! PageManager は、NewSoft Technology Corp. の登録商標です。
Pentium、Xeon は、Intel Corporation の登録商標です。
AMD Athlon 64、AMD Opteron は、Advanced Micro Devices,Inc. の登録商標です。
スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標です。
コンパクトフラッシュは、サンディスク社の登録商標です。
Memory Stick、メモリースティック、MagicGate Memory Stick、マジックゲートメモリースティックはソニー株式会社の商標または登録商標です。
SD メモリーカードは松下電器産業株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
xD- ピクチャーカードは富士写真フイルム株式会社の商標です。
マルチメディアカードは独 Infineon Technologies AG の商標です。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

使用済み電池の届け出：
(1)家庭で使用した二次電池：　最寄りのリサイクル協力店へ
問い合わせ先：　小型二次電池再資源化推進センター（電話：03-3434-0261）（ホームページ：http://www.jbrc.com）
ブラザー工業（株）環境推進部　環境推進グループ（電話：052-824-2407）
(2)事業所で使用した二次電池：弊社回収拠点へ
ブラザー販売（株）東京事業所　情報機器事業部　104-0031　東京都中央区京橋 3-3-8（電話：03-3274-6911）
ブラザー販売（株）関西事業所　情報機器事業部　550-0012　大阪市西区立売堀 4-4-2（電話：06-6543-9120）
問い合わせ先：　小型二次電池再資源化推進センター（電話：03-3434-0261）（ホームページ：http://www.jbrc.com）
ブラザー工業（株）環境推進部　環境推進グループ（電話：052-824-2407）

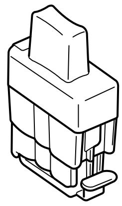
関連製品のご案内

消耗品

■ インクカートリッジ

インクが残り少なくなったら、以下のインクカートリッジをお買い求めください。

種類	型番	印字可能枚数＊
ブラック	LC09BK	500 枚
マゼンタ	LC09M	400 枚
イエロー	LC09Y	400 枚
シアン	LC09C	400 枚
4 色セット （ブラック / マゼンタ / イエロー / シアン）	LC094PK	ブラック：500 枚 マゼンタ／イエロー／ シアン：各色 400 枚



＊ A4 サイズで 5%印刷密度、標準モードでの印刷可能枚数です。

インクカートリッジは、ご注文シートを使ってダイレクトクラブでご購入いただけます。⇒ 155 ページ「消耗品を注文したいときは」

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP60GLA（A4）、 BP60GLLJ（L 判）	20 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

また、OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。

・ Transparency 3M Transparency Film（型番：CG3410）

専用紙は、ご注文シートを使ってダイレクトクラブでご購入いただけます。⇒ 155 ページ「消耗品を注文したいときは」

最新の専用紙・推奨紙については、以下のホームページをご覧ください。
http://solutions.brother.co.jp

ご注文シート

ご注文シート

・消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、当社にてｲﾝﾀｰﾈｯﾄ、電話、ﾌｧｸｽによるご注文も承っております。

・ﾌｧｸｽにてご注文される場合はご注文シートにご記入の上、お申し込みください。

・配送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上の場合は全国無料です。
5,000円未満の場合は500円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）

・納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。

・配送地域は日本国内に限らせていただきます。

＜代引き＞　・・・・ご注文後2～3営業日後の商品発送

※　配送先が離島の場合は代引きによるお支払いは利用できません。

＜お振込（銀行・郵便）＞　・・・・ご入金確認後2～3営業日後の商品発送

※　代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振込下さい。）

※　振込手数料はお客様負担となります。

＜クレジットカード＞　・・・・カード番号確認後2～3営業日後の商品発送

※　カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせていただきます。

【ご注文先】　ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ：http://direct.brother.co.jp
FAX：052−825−0311
TEL：0120−118−825
（土・日・祝日、長期休暇を除く9：00～12：00　13：00～17：00）

振込先　口座名義：ブラザー販売株式会社
銀行：三井住友銀行　上前津(カミマエヅ)支店　普通　6428357
郵便：振り込み番号　00860-1-27600

お客様ご住所　〒

お名前　　　TEL　　　FAX

お支払い方法　　銀行前振込・郵便前振込・代引き・カード

カード種類　　①VISA ②JCB ③UC ④DINERS ⑤CF ⑥Master ⑦JACCS

カードNO

カード名義人名　　　有効期限　　年　　月

商品名	単価(税込)	ご注文数	金額
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ(黒)　LC09BK	2,310円		
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ(ｼｱﾝ)　LC09C	1,365円		
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ(ﾏｾﾞﾝﾀ)　LC09M	1,365円		
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ(ｲｴﾛｰ)　LC09Y	1,365円		
ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ4色ｾｯﾄ　LC094PK	ｵｰﾌﾟﾝ価格※1		
上質普通紙　＜A4＞ BP60PA	683円		
写真光沢紙　＜A4＞ BP60GLA	1,470円		
写真光沢紙　＜L判＞ BP60GLLJ	420円		
ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ紙（ﾏｯﾄ仕上げ）＜A4＞BP60MA	504円		
増設子機　BCL-900	16,800円		
子機用ﾊﾞｯﾃﾘｰ　BCL-BT	1,680円		
		送料	
		合計	

※1：単価については、ダイレクトクラブにお問い合わせください。

配送料および消費税は変更の可能性があります。
(消費税：2005 年 11 月現在)

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）】 MFC 製品のご質問と障害に関するご相談 TEL：ナビダイヤル® 0570-031523 （052-824-5149） 受付時間： 月～金　9：00 ～20：00 土　9：00 ～ 17：00 日・祝日および当社（ブラザー販売（株））休日は休みとさせていただきます。 サービス＆サポートページ（ブラザーソリューションセンター）： http://solutions.brother.co.jp	**【消耗品ご注文窓口】** ブラザー販売（株）情報機器事業部　ダイレクトクラブ 〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町 15-1 TEL ：0120-118-825 （土・日・祝日、長期休暇を除く　9：00　～　12：00　13：00～ 17：00） FAX ：052-825-0311 ホームページ：http://direct.brother.co.jp ・消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。 ・万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。なお、FAX にてご注文いただく場合は、ユーザーズガイドの「ご注文シート」を印刷してご活用ください。
brother	〒467-8561 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1 ブラザー工業株式会社

※ ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「お客様相談窓口 （ブラザーコールセンター）0570-031523」にご連絡ください。

※ Presto!®PageManager® については、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
TEL : 03-5472-7008　FAX : 03-5472-7009 10:00 ～ 12:00 13:00 ～ 17:00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

● お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
● 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。